

\*\*\*\*\*  
**会 告 ・ 通 知**  
\*\*\*\*\*

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます  
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>  
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

————— 平成 24 年 10 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 10 月 4 日～11 月 2 日）	2
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	34
◇支部大会	
・平成 24 年電気関係学会関西連合大会	40
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・東京支部 講演会「情報圧縮符号化技術の歴史と最新動向を探る」	41
・関西支部 電気四学会関西支部専門講習会「LED と照明—その生体への影響—」	41
電気四学会関西支部一般見学会	41
・九州支部 平成 24 年度九州支部専門講習会「酸化物半導体の最前線—基礎と応用—」	42
アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ（WSR16）	
—OFDM 伝送と受信用アレー信号処理の基礎—	42
・本会が協賛等のもの	42
◇国際会議	45
◇受賞候補者募集等	
・平成 24 年度論文賞候補論文推薦について（通信ソサイエティ）	46
・情報・システムソサイエティ論文賞 候補論文推薦依頼	48
・平成 24 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙	49
◇求人欄	51
◇お知らせ	
・シニア会員申請登録は 10 月 1 日から開始しています！	54
・「平成 25 年度代議員選挙」の立候補申請について	54
・御登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい	54
・平成 24 年 10 月号及び 11 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	54
◇論文特集原稿募集	
・情報理論とその応用小特集（英文論文誌 A）	55
・VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集（英文論文誌 A）	55
・ISAP2012 関連最先端アンテナ・伝搬技術小特集（英文論文誌 B）	56
・機構デバイスの最新動向（IS-EMD2012）小特集（英文論文誌 C）	57
・画像符号化・映像メディア処理レター特集（和文論文誌 D）	57
・ソフトウェア基礎・応用特集（和文論文誌 D）	58
・ソフトウェアエージェントとその応用特集（和文論文誌 D）	59
◇IEICE Electronics Express 投稿案内	60
♣複写される方へ	45
♣各種証明、閲覧の手数料について	50
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	53

## 電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 10 月 4 日～11 月 2 日

### ◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
技 術 と 社 会 ・ 倫 理	10 日(水)	14 : 00～17 : 30	東京電機大学・東京千住キャンパス	5
思 考 と 言 語 言 語 理 解 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	27 日(土)	10 : 30～17 : 05	公立ほこだて未来大学	11
V L S I 設 計 技 術 信 号 処 理 集 積 回 路 画 像 工 学	18 日(木) 19 日(金)	13 : 00～17 : 00 9 : 00～16 : 50	ホテルルイズ (盛岡)	11
回 路 と シ ス テ ム シ ス テ ム 数 理 と 応 用	11 月 1 日(木) 2 日(金)	13 : 30～17 : 20 9 : 30～14 : 45	岩手大学・工学部・一祐会館	15
超 音 波	22 日(月)	14 : 00～16 : 45	金沢工業大学・扇が丘キャンパス	17
応 用 音 響	27 日(土) 28 日(日)	13 : 30～17 : 45 9 : 30～11 : 30	牛岳温泉リゾート (富山)	17
イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ	12 日(金)	13 : 00～17 : 25	京都工芸繊維大学・工織会館	19
ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム	26 日(金)	10 : 30～16 : 30	京都大学・吉田キャンパス	20
信 頼 性	19 日(金)	13 : 30～16 : 40	九州工業大学・サテライトキャンパス・Kyutech プラザ	27
10 月 休 会 の 研 究 会 ; 回 路 と シ ス テ ム , 情 報 理 論 , 非 線 形 問 題 , 情 報 セ キ ュ リ テ ィ , シ ス テ ム 数 理 と 応 用 , 安 全 性 , ITS , ス マ ー ト イ ン フ ォ メ デ ィ ア シ ス テ ム				

### ◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	10 日(水) 11 日(木) 12 日(金)	13 : 20～17 : 10 9 : 00～19 : 00 9 : 30～16 : 00	ベルサール八重洲 (10 日) 東京大学・本郷キャンパス・山上会館	5
電 子 通 信 エ ネ ル ギ ー 技 術	12 日(金)	10 : 00～15 : 00	機械振興会館	6
イ ン タ ー ネ ッ ト ア ー キ テ ク チ ャ	12 日(金)	9 : 55～16 : 25	東京大学・武田先端知ビル	7
環 境 電 磁 工 学 エ レ ク ト ロ ニ ュ シ ミ ュ レ ー シ ョ ン	25 日(木) 26 日(金)	9 : 50～17 : 00 9 : 00～15 : 50	東北学院大学・多賀城キャンパス	13
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム	11 日(木) 12 日(金)	9 : 10～18 : 40 9 : 00～12 : 30	京都大学・宇治キャンパス	18
光 フ ァ イ バ 応 用 技 術	25 日(木) 26 日(金)	14 : 30～18 : 05 9 : 00～11 : 45	海峡メッセ下関	21
無 線 通 信 シ ス テ ム ソ フ ト ウ ェ ア 無 線 ア ド ホ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク ユ ビ キ タ ス ・ セ ン サ ネ ッ ト ワ ー ク	17 日(水) 18 日(木) 19 日(金)	9 : 00～18 : 10 9 : 00～18 : 00 9 : 00～17 : 35	福岡大学・文系センター棟	24
光 通 信 シ ス テ ム 光 エ レ ク ト ロ ニ ュ ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ュ ス	25 日(木) 26 日(金)	9 : 00～17 : 50 9 : 00～17 : 25	ホテルメリージュ (宮崎)	27
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ュ ス	10 日(水) 11 日(木) 12 日(金)	13 : 00～18 : 20 9 : 00～18 : 20 9 : 00～10 : 20	Songdo ConvensiA (韓国)	29
イ ン タ ー ネ ッ ト ア ー キ テ ク チ ャ	18 日(木) 19 日(金)	13 : 15～17 : 30 9 : 30～17 : 45	Prince of Songkla University (プーケット)	31
衛 星 通 信	24 日(水) 25 日(木)	9 : 30～17 : 40 9 : 00～12 : 00	韓国中央企業中央会	32
10 月 休 会 の 研 究 会 ; ア ン テ ナ ・ 伝 播 , 通 信 方 式 , コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ク オ リ テ ィ , フ ォ ト ニ ュ ク ネ ッ ト ワ ー ク , 情 報 通 信 マ ネ ジ メ ン ト , モ バ イ ル マ ル チ メ デ ィ ア 通 信				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
電子ディスプレイ	17日(水)	13:00~17:15	機械振興会館	8
有機エレクトロニクス	17日(水)	13:00~17:00	機械振興会館	8
マイクロ波	18日(木) 19日(金)	9:00~17:20 9:00~16:40	宇都宮大学・陽東キャンパス・工学部	8
機構デバイス	19日(金)	14:00~15:40	富士電機機器制御・本社	10
超伝導エレクトロニクス	25日(木)	13:00~16:55	機械振興会館	10
集積回路 VLSI設計技術 信号処理 画像工学	18日(木) 19日(金)	13:00~17:00 9:00~16:50	ホテルルイズ(盛岡)	11
磁気記録・情報ストレージ	18日(木) 19日(金)	13:30~17:30 8:55~11:40	秋田県産業技術センター	12
エレクトロニクスシミュレーション 環境電磁工学	25日(木) 26日(金)	9:50~17:00 9:00~15:50	東北学院大学・多賀城キャンパス	13
シリコン材料・デバイス	25日(木) 26日(金)	15:20~17:00 9:30~14:15	東北大学・未来情報産業研究館	14
電子部品・材料	26日(金) 27日(土)	13:00~18:20 9:10~12:40	まちなかキャンパス長岡	15
光エレクトロニクス レーザー・量子エレクトロニクス 光通信システム	25日(木) 26日(金)	9:00~17:50 9:00~17:25	ホテルメリージュ(宮崎)	27
10月休会の研究会;電子デバイス,電磁界理論,マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	4日(木)	13:00~17:00	幕張メッセ・国際会議場	前号
パターン認識・メディア理解	4日(木) 5日(金)	9:00~17:20 9:00~17:20	幕張メッセ・国際会議場	前号
ディペンダブルコンピューティング	29日(月)	14:00~16:50	機械振興会館	10
言語理解とコミュニケーション 思考と言語	27日(土)	10:30~17:05	公立ほこだて未来大学	11
画像工学 VLSI設計技術 信号処理 集積回路	18日(木) 19日(金)	13:00~17:00 9:00~16:50	ホテルルイズ(盛岡)	11
コンピューション	31日(水)	9:30~17:20	東北大学・青葉山キャンパス	14
教育工学	27日(土)	9:55~17:15	信州大学・長野(工学)キャンパス	16
MEとバイオサイバネティクス	11日(木)	9:55~15:05	大阪電気通信大学・四条畷キャンパス	18
コンピュータシステム	12日(金)	9:00~18:10	広島大学・東広島キャンパス・学士会館	20
医用画像	29日(月)	9:15~15:45	山口大学・工学部	22
ニューロコンピューティング	4日(木) 5日(金)	10:20~18:10 10:00~17:00	九州工業大学・大学院・生命体工学研究科	22
クラウドネットワークロボット	11日(木) 12日(金)	14:00~18:00 9:30~12:10	沖縄科学技術大学院大学・シーサイドハウス	23
今後の予定;パターン認識・メディア理解(33ページ)				
10月休会の研究会;ライフインテリジェンスとオフィス情報システム,人工知能と知識処理,ソフトウェアサイエンス,データ工学,知能ソフトウェア工学,音声,ソフトウェアインタプライズモデリング,リコンフィギャラブルシステム,情報通信システムセキュリティ,情報論的学習理論と機械学習,サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日	時	会 場	告頁
ヒューマンコミュニケーション基礎	13日(土)	13:10~14:40	東京電機大学・東京千住キャンパス	7
10月休会の研究会; ヒューマン情報処理, マルチメディア・仮想環境基礎, 福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

平成 24 年度第 2 回医療情報通信技術研究会	10 月 11 日(木)	名古屋工業大学	34
再生可能集積システム時限研究会	10 月 13 日(土)	山形大学・工学部・米沢キャンパス	34
短距離無線通信研究会 (SRW)	10 月 15 日(月)	情報通信研究機構・本部	34
高信頼制御通信研究会 (RRRC)	10 月 18 日(木), 19 日(金)	福岡大学・文系センター棟	24
第 49 回機能集積情報システム研究会	10 月 19 日(金)	東洋大学・川越キャンパス	34
第 3 回通信行動工学研究会	10 月 20 日(土)	大阪大学・吹田キャンパス	35
第 24 回電気・電子機器の EMC ワークショップ	11 月 1 日(木), 2 日(金)	ホテル双葉	35
第 10 回 QoS ワークショップ	11 月 2 日(金)	東京工業大学・大岡山キャンパス・東工大蔵前会館	36
第 25 回情報伝送と信号処理ワークショップ	11 月 20 日(火)~22 日(木)	湯元名水亭 (北海道・北湯沢温泉)	37
アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (第 45 回)	12 月 12 日(水)	東京工業大学・田町キャンパス	37
第 26 回光通信システムシンポジウム	12 月 13 日(木), 14 日(金)	東レ総合研修センター	38

◇第二種研究会発表募集

テラヘルツ応用システム研究会	1 月 17 日(木)	NTT 武蔵野研究開発センタ	39
----------------	-------------	----------------	----

### ★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志  
幹事 鈴木一弘・杉山典正 幹事補佐 山肩大祐・宮田純子

日時 10月10日(水) 14:00~17:30

会場 東京電機大学東京千住キャンパス1号館2階1224セミナー室(足立区千住旭町5。JR常磐線,東京メトロ日比谷線/千代田線,東武伊勢崎線,つくばエクスプレス:北千住駅下車。東口から徒歩1分。京成本線:関屋駅からは徒歩7分。東武伊勢崎線:牛田駅から徒歩7分。http://atom.dendai.ac.jp/info/access/senju\_map.html 佐々木良一)

#### 議題 個人情報とプライバシー, 一般

1. データ分析の事業性の評価を行うプラットフォームの提案と考察 小栗秀暢 (ニフティ)
2. 政策評価理論の一提案—デジタルコンテンツ流通を例にして— 〇野川裕記 (JAMINA)・加藤尚徳 (総研大)
3. 家族的類似によって集まるふるまいの群れを前提とする倫理に関して 森住哲也 (ネットエイズ東洋)
4. プライバシーの文脈的インテグリティ理論—日本の法制・ガイドラインへの含意— 〇大谷卓史 (吉備国際大)・村上祐子 (東北大)・川口由起子 (植草学園大)
5. [招待講演] プライバシー影響サービスの倫理—問題サービスの近年の動向と課題— 高木浩光 (産総研)

◎研究会終了後,懇親会を予定しておりますので是非御参加下さい。

☆SITE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月 大阪 [10月15日(月)]

3月 14日(木), 15日(金) 奈良県 [未定] テーマ:インターネットと情報倫理教育, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html

#### [問合先]

鈴木一弘 E-mail: kazuhiro@tutetuti.jp

◎公式 Web サイト http://www.ieice.org/ess/site/

### ★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承  
幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

日時 10月10日(水) 13:20~17:10

11日(木) 9:00~19:00

12日(金) 9:30~16:00

会場 10日:ベルサール八重洲, 11日・12日:東京大学本郷キャンパス山上会館(10日:http://www.tokyoipo.com/event/map/yaesu.htm 11日・12日:http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp/sanjo/contact/)

議題 Resilient Network, ディザスタ・リカバリ, BCP (Business Continuity Plan), 臨時ネットワーク構築, 省電力ネットワーク技術, TCP/IP, プロトコル, ルーチング, ネットワーク管理, 認証/ID管理及び一般

10日 NICT 新世代 NW フォーラム

1. 統合管理型ネットワーク仮想化基盤技術 山田一久 (NTT)
2. サービス合成可能なネットワークプラットフォームの提案 〇長谷川 亨・福嶋正機・北辻佳憲・岡本修一 (KDDI 研)・

第一種研究会開催案内

3. サービス指向ルータ・インフラストラクチャ

西 宏章・松谷宏紀・久保亮吾・石田慎一 (慶大)・岩崎慶介・下條敏男 (日立 JTE)・川島英之 (筑波大)・〇鯉淵道紘・藤原一毅 (NII)・田所将志 (NTT)

4. 関係性メトリックに基づく新世代ネットワークアプリケーション 〇新熊亮一 (京大)・笠井裕之 (電通大)・

山口和泰 (神戸デジタル・ラボ)

5. 消費エネルギー最適化を目指す E3-DCN ネットワークアーキテクチャの提案 〇張 善明・渋谷直彦・竹下秀俊・

岡本 聡・山中直明 (慶大)

6. ネットワーク誘導を利用した新世代コンテンツ配信アプリケーション 〇山本 幹 (関西大)・戸出英樹 (阪府大)・

太田 能 (神戸大)・柳生智彦 (NEC)

7. DYPOP: Datacenter beside Your POP の紹介—アクセス網に直結された分散ネットワークサービス基盤にむけて—

〇小林克志 (AICS)・首藤一幸 (東工大)・石田 潔・山本 茂・曾我部 崇 (IIJ)

8. パレート最適ネットワーク実現のためのユーザ・資源管理アプリケーション 〇太田 能 (神戸大)・

長谷川 剛 (阪大)・新熊亮一 (京大)・矢守恭子 (朝日大)・

小口正人 (お茶の水女子大)・村瀬 勉 (NEC)

9. 超分散分割保存された大容量コンテンツの即時配信システムの研究 〇小倉 毅 (NTT)・金子晋丈 (慶大)・

君山博之・藤井竜也・高原 厚 (NTT)

10. ヒトやモノをエンパワーする実世界情報アプリケーションとバーチャル・ネットワークド・センシング技術

〇徳田英幸・中澤 仁・米澤拓郎・間 博人・伊藤友隆 (慶大)

11日午前

1. [招待講演] 30年を顧みて 秋山 稔 (IN 研初代委員長)

2. [招待講演] NICT による新世代ネットワークの取組状況

西永 望 (NICT)

将来に向けた情報ネットワークの弾力的構成技術

3. [招待講演] 将来網に向けたフレキシブルネットワーク技術について 〇川村龍太郎・平松 淳 (NTT)

4. [招待講演] 将来網に向けたフレキシブル仮想光トランスポート制御技術 〇植松芳彦・増田暁生・宮村 崇・

平松 淳 (NTT)

将来に向けた情報ネットワークの制御・測定技術

5. [招待講演] 将来のネットワーク制御ノード実現に向けた取り組み 〇福元 健・上田清志・片山悦子 (NTT)

6. [招待講演] プログラマブル高機能ネットワークを支える測定技術 〇明石 修・桑原輝輝 (NTT)

11日午後 将来に向けた情報ネットワークの管理技術

(12:45~)

7. [招待講演] 将来網に向けたネットワーク・情報処理統合マネジメント技術 〇山田一久・田中裕之・高橋紀之・

川村龍太郎 (NTT)

8. [招待講演] フェデレーションならびに新世代サービスに対応する新たなネットワーク資源管理技術 〇岡本修一・

松本延孝・黒木圭介・宮本崇弘・大垣健一・

林 通秋 (KDDI 研)

将来の情報ネットワークに向けた各種技術開発の動向

9. [招待講演] 並列処理とネットワークアーキテクチャ再考

小林克志 (AICS)

10. [招待講演] SDNに基づくソーシャルクラウド基盤の構築に向けて  
桐葉佳明 (NEC)
11. [招待講演] ネットワーク仮想化基盤のためのVNode間接続機能・ネットワーク収容機能の開発と評価  
○金田 泰・白石 圭 (日立)・中尾彰宏 (東大)
12. [招待講演] 新世代ネットワークのエッジにおけるSDN技術の活用に関する一検討  
中平佳裕 (OKI)
13. [招待講演] OpenFlow/SDNとネットワーク仮想化  
進藤資訓 (ニテ)
14. [招待講演] クラウド時代のネットワーク仮想化の可能性とMidokuraのソリューション“MidoNet”  
○加藤隆哉・Dan Dumitriu (ミドゥラ)
15. 未定  
翁永 (総務省)

パネルディスカッション

16. 新しい情報ネットワークビジョンと研究戦略

12日午前

1. Routing architecture that suppresses size of routing tables in large scale network (1)—Smart embodiment of ID/locator Separation—  
Hisao Furukawa (DSRI)・  
○Shoji Miyaguchi (formerly NTT)
2. Large-scale network that provides overlay networks for communication services—En-/de-capsulation, New routing architecture and an IIP packet with 48-bit address—  
Hisao Furukawa (DSRI)・  
○Shoji Miyaguchi (formerly NTT)
3. WAN 仮想専用回線向け広帯域通信 TCP  
○磯部隆史・伊藤大輔・明石 大・堤 聡 (日立)
4. 言語情報の前方誤り訂正手法—ウェブ上の知のゲノムとどうつき合うか—  
得丸公明 (システムエンジニア)
5. 研究会投稿データを活用した分析に関する一検討  
○外山将司・野村啓仁・村山純一 (NTT)

12日午後 (12:50~)

6. ミドルレイヤ型ネットワークアーキテクチャにおける多様なサービスプロバイダのための動的資源抽象化機能の検討  
○嶋村昌義 (東工大)・山中広明 (NICT)・浦谷芳幸 (東工大)・永田 晃 (九工大)・石井秀治 (NICT)・飯田勝吉 (東工大)・河合栄治 (NICT)・鶴 正人 (九工大)
7. Software Defined Access Networkにおける経路制御手法  
○今中規景・中平佳裕・鹿嶋正幸 (OKI)
8. OpenFlow を利用した呼制御メッセージの経路制御方式に関する提案  
○北辻佳憲・伊藤 学・小森田賢史・横田英俊 (KDDI 研)
9. 移動体間 RTT 推定に基づく海中音響通信のチャンネル利用効率最大化手法とその評価  
○邑橋一輝・川原主博・浅見 徹 (東大)
10. VANET を利用した都市交通における渋滞軽減手法とその効果  
○太尾田洋介・井上伸二・角田良明 (広島市大)
11. 移動性と最大複製回数を考慮したDTNルーティングプロトコル  
○逸見健太・小山明夫 (山形大)
12. 無線LANにおけるピース分割とオーバヒアリングを用いた冗長トラフィック削減方式のピース送信スケジューリング方式の評価  
○横瀬広明・大坐島 智・加藤聰彦 (電通大)

☆IN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

- 11月21日(水), 22日(木) 福岡工大 [締切済] テーマ: ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストアウェア, 位置情報サービ

ス, e-コマース及び一般

- 12月13日(木), 14日(金) 広島市大 [10月15日(月)]  
テーマ: インターネットやイントラネットの信頼性, 品質, 計測, 監視, セキュリティ, トラフィック理論及び一般 (調整中)
- 1月24日(木), 25日(金) 鹿児島県産業会館 [11月9日(金)] テーマ: ソーシャルネットワーク, セキュリティ管理, 災害時情報流通, オーバレイネットワーク, P2P ネットワーク, 自律分散制御及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in\_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利

日時 10月12日(金) 10:00~15:00

会場 機械振興会館地下3階2号室 (港区芝公園3-5-8, 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分。 [http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm) TEL [03] 3434-8211)

議題 部品・照明・デバイス・材料技術関連, 一般

1. スイッチング電源の電磁妨害波発生要因  
○村田仁一・二宮 保 (長崎大)
2. ループコイルを用いた電磁界共鳴型複共振形ZVSワイヤレス給電システムの設計  
○大林雄一郎 (同志社大)・細谷達也 (村田製作所)・藤原耕二 (同志社大)

午後 (13:30~)

3. 新低待機PWM-ICを用いたスイッチング電源の特性  
○西島健一・藪崎 純・山根博樹・菅原敬人・小林義則・森本敏光・城山博伸・杉本雅俊・大和 誠 (富士電機)
4. 高速応答可能な絶縁型コンバータ用デジタル制御回路  
○浜口亮太・三井健司・竹浪史晃・石塚洋一・二宮 保 (長崎大)
5. PWM 制御電流共振DC-DCコンバータの動作特性に関する考察  
○針屋昭典 (長崎大)・松浦 研・柳 洋成・富岡 聡 (TDKラムダ)・石塚洋一・二宮 保 (長崎大)

◆照明学会; 光源・照明システム分科会併催, IEEE Power Electronics Society Japan Chapter 共催

◎11:00~12:00 に可視光通信2件, 13:00~13:30 にLED照明1件の発表が照明学会からあります。

☆EE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

- 11月8日(木), 9日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ:

回路・制御技術関連, 無線電力伝送, 一般

1月24日(木), 25日(金) 阿蘇ファームランド [11月10日(土)] テーマ: エネルギー変換技術, 電池関連技術, 一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

馬場崎忠利 (NTT 環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-4872, FAX [0422] 59-5682

E-mail : babasaki.tadatoshi@lab.ntt.co.jp

**★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)**

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・中村 豊

幹事 衛藤将史・北辻佳憲

幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹・山本 寛

日時 10月12日(金) 9:55~16:25

会場 東京大学武田先端知ビル (文京区本郷7-3-1. 地下鉄丸の内線:本郷三丁目駅, 徒歩8分. 地下鉄大江戸線:本郷三丁目駅, 徒歩6分. 地下鉄千代田線:湯島駅または根津駅, 徒歩8分. 地下鉄南北線:東大前駅, 徒歩1分, 地下鉄三田線:春日駅, 徒歩10分. [http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_16\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html) 中村素典)

議題 ネットワーク研究開発テストベッド運用・利用, 一般

1. SINET4 update 森島晃年 (NII)
2. JGN-X (仮) 河合栄治 (NICT)
3. 広域分散 IaaS クラウドの設計と構築 関谷勇司 (東大)
4. APAN-JP (仮) 小西和憲 (APAN-JP)

午後 (13:15~)

5. NICT Science Cloud (仮) 村田健史・渡邊英伸 (NICT)
6. 履歴情報に基づくジョブスケジューリングによる広域ベクトルコンピュータ連携の実現 ○村田善智・江川隆輔・小林広明 (東北大)
7. 国際電波望遠鏡プロジェクト「アルマ」の概要とそこで用いられるネットワーク ○立松健一・小杉城治・中村光志・芦田川京子 (国立天文台)・魚瀬尚郎 (NTT-AT)
8. WLCG における国際ネットワークの重要性—LHC-ATLAS 実験のための ICEPP 地域解析センターの運用実績—

○中村智昭・真下哲郎・松井長隆・坂本 宏・上田郁夫 (東大)

9. X線自由電子レーザー施設 SACLA とスーパーコンピューター「京」の連携 ○杉本 崇・城地保昌・間山 皇・大端 通・坂本達亮・田中良太郎・山鹿光裕 (JASRI)・初井宇記 (理研 SPring-8/JASRI)・石川 裕 (東大/理研 AICS)・亀山豊久・黒川原佳・庄司文由・横川三津夫 (理研 AICS)・西川武志 (FOCUS)
10. 複数学術ネットワークを用いた国際映像伝送における高精度ネットワークモニタシステムの適用事例 桑原世輝 (NTT)
11. スマートフォン端末による動的な通信品質計測方法の検討 ○披田野千絵・阿野茂浩 (KDDI 研)・山崎克之 (長岡技科大)

◆ADVNET 共催

◎プログラムにつきましては, 今後一部変更になる可能性がありますので, 御注意下さい。なお, 16:25~16:35 に学生研究奨励賞贈呈式, 研究会終了後に懇親会を開催する予定です。是非御参加下さい。

第一種研究会開催案内

☆IA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月18日(木), 19日(金) ブーケット [締切済] テーマ: Future Internet, Internet Applications, Internet for Disasters, etc.

11月19日(月) かんぽの宿いわき [締切済] テーマ: 学生セッション, 一般 (日本学術振興会 インターネット技術第163委員会共催)

12月13日(木), 14日(金) 広島市大 [10月15日(月)] テーマ: インターネットやイントラネットの信頼性, 品質, 計測, 監視, セキュリティ, トラヒック理論及び一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

IA 研究会事務局 (京大学術情報メディアセンター-岡部研究室内)

TEL [075] 753-7417, FAX [075] 753-7440

E-mail : ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

**★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)**

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史

幹事 井上智雄・渡邊伸行

幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

日時 10月13日(土) 13:10~14:40

会場 東京電機大学東京千住キャンパス (足立区千住旭町5. JR・東武スカイツリーライン (東武伊勢崎線—東京メトロ半蔵門線乗入)・千代田線・日比谷線・つくばエクスプレス:北千住駅, 東口 (電大口) 徒歩1分. <http://atom.dendai.ac.jp/info/access/index.html> TEL [03] 5284-5333 村上伸一)

議題 顔とコミュニケーション

フォーラム顔学+HCS ジョイントセッション

1. [ポスター講演] ユーザと目を合わせるロボットのしぐさに関する実験と考察 ○上田博唯・鈴木 優・小吹健太郎 (京都産大)
2. [ポスター講演] 逆相関法を用いた顔検出アルゴリズムの機能差の検討 ○山岡めぐみ (パナソニック)・渡邊克己 (東大)
3. [ポスター講演] 眼裂変化による基本表情の判別 ○相澤侑斗・片桐恭弘 (公立はこだて未来大)
4. [ポスター講演] 順応課題を用いた絵画「オフィーリア」の表情分析 ○高橋 望・森 拓郎・高橋 仁・貫井隆弘・山田 寛 (日大)
5. [ポスター講演] FACS に基づく表情刺激に対する表情解読 ○小川一美・松尾貴司 (愛知淑徳大)
6. [ポスター講演] 顔の選好形成における選択のフィードバック効果 ○中村航洋・川畑秀明 (慶大)
7. [ポスター講演] 自分の顔のイメージは鏡像か? ○渡邊伸行・齋藤展三 (金沢工大)

◆日本顔学会共催

**【問合先】**

渡邊伸行 (金沢工大)

TEL [076] 274-7848, FAX [076] 274-7549

E-mail : n-watanabe@neptune.kanazawa-it.ac.jp

◎最新情報は, HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/hcs/>

## ★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子  
幹事 伊達宗和・山口雅浩  
幹事補佐 増田善友・山口留美子・山口 一・藤田悦昌・  
新田博幸・小澤史朗・中田 充

日時 10月17日(水) 13:00~17:15

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 画像技術, 視覚・画質関連, その他一般

1. 結膜血管端を用いた眼球回旋計測 ○中込広幸・  
星野 聖 (筑波大)
2. MPEG-7 アノテーションの一部としての映像中の登場人物の  
人間関係記述技法の研究 深井信吾 (藤木新鋭科学研)・  
○藤木文彦 (東京工芸大)
3. 空間的相互関係を考慮した単眼視画像からの直方体ブロッ  
クシーンの認識に関する基礎的検討 ○谷井大地・  
滝沢穂高 (筑波大)
4. Barber Pole 効果の時空間周波数スペクトルからの考察—視知  
覚信号処理工学に関連して— 吹抜敬彦 (イトビ研)
5. 動体視力と動画質評価の相関 江本正喜 (NHK)
6. ノイズ特性の空間不均一性を考慮したノイズレベル推定法  
○天野雄介・大橋剛介・下平美文 (静岡大)
- EID-7. 過渡電流測定による有機 TFT バックプレーン寄生容量  
の評価 ○吉原和貴・服部励治・金 丞謙 (九大)
- EID-8. 走査型レーザープロジェクトを用いた光沢を持つ物体の  
高ダイナミックレンジ画像表示 ○鈴木啓悟・山口雅浩・  
村上百合 (東工大)

◆電気学会: 光・量子デバイス技術委員会, 映像情報メディア学  
会; 情報ディスプレイ研究会/ヒューマンインフォメーション  
研究会/立体映像技術研究会連催. SID 日本支部共催

☆EID 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 静岡大 [10月27日(土)] テー  
マ: 発光型/非発光型ディスプレイ合同研究会 (照明学会固  
体光源分科会, SID 日本支部共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

## ★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三  
幹事 松田直樹・中村二郎

日時 10月17日(水) 13:00~17:00

会場 機械振興会館地下1階3号室

議題 有機デバイス全般・一般

デバイス・評価

1. 有機 FET 内の電界評価に対するグレインサイズの影響  
松原幸平・○間中孝彰・田口 大・岩本光正 (東工大)
2. CTAB/Si ヘテロ接合試料の電気特性  
○出口陽子 (日本女子大)・田口真理 (日立)・大塚英理子,  
小澤あつみ・今井 元 (日本女子大)
3. 有機薄膜太陽電池におけるバルクヘテロ構造の研究  
○馬場俊輔・小林秀平・前久保裕太・坂本哲夫 (工学院大)
4. Response mechanism of quartz crystal microbalance gas/  
vapor sensors coated with tricresyl phosphate  
○Bartosz Wyszynski・

Takamichi Nakamoto (Tokyo Inst. of Tech.)

5. 有機物・ポリマーのための質量顕微鏡の開発  
坂本哲夫 (工学院大)
6. 導電性高分子薄膜を用いた透過型表面プラズモン共鳴特性制  
御 ○深谷樹斗・馬場 暁・新保一成・加藤景三・  
金子双男 (新潟大)

作製・材料

7. 放射線を利用したアニオン交換型電解質膜の作製とその電池  
特性 ○越川 博・八巻徹也・浅野雅春・吉村公男・  
前川康成 (原子力研)・山本和矢・三瓶文寛・猪谷秀幸・  
朝澤浩一郎・山口 進・田中裕久 (ダイワ)
8. 準熱平衡条件下でのペンタセン結晶成長における外部電界の  
効果 ○鶴澤裕彰・神谷真司・酒井正俊・國吉繁一・  
山内 博・工藤一浩 (千葉大)
9. オール印刷プロセスによるポリアルキルフルオレンを用いた  
電子・光デバイス ○大森 裕・寺島大樹・楠本悠介・  
小島世誠・梶井博武 (阪大)
10. 高有機溶媒親和性グラフェン誘導体の開発 ○坂口幸一・  
藤戸昭徳・内野聖子・大竹亜紗美 (佐賀大)・  
明渡邦夫 (豊田中研)・江良正直 (佐賀大)
11. 静電塗布法を用いたフラーレン誘導体薄膜の成膜  
○高木健次・武志一正・福田武司・鎌田憲彦 (埼玉大)・  
朱 正明・山形 豊・田島右副 (理研)

☆OME 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月16日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 光機性能  
有機材料・デバイス, 光非線形現象, 一般

11月19日(月) 阪大中之島センター [締切済] テーマ: 有  
機材料・一般

【問合先】

松田直樹 (産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

白井博明 (東京農工大)

E-mail: h\_usui@cc.tuat.ac.jp

## ★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

日時 10月18日(木) 9:00~17:20

19日(金) 9:00~16:40

会場 宇都宮大学陽東キャンパス工学部 (宇都宮市陽東7-1-2.  
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/map01.html> TEL  
[028] 689-6132 古神義則)

議題 学生研究会/マイクロ波一般

18日午前 学生研究発表会

1. InGaP/GaAs HBT を用いた高効率低ひずみ独立バイアス形カ  
スコード電力増幅器 ○高木裕貴・高山洋一郎・石川 亮・  
本城和彦 (電通大)
2. 四分の一波長インピーダンス変換回路を用いない広帯域ドハ  
ティ電力増幅器の設計及び試作 ○渡邊真太郎・  
高山洋一郎・石川 亮・本城和彦 (電通大)
3. タップ結合型—1次 CRLH 共振器 BPF を用いた有極形



- LTCC 基板ダイプレクサに関する一検討 ○岩本健太郎・和田光司 (電通大)
4. 結合線路とグラウンド付き伝送線路による広帯域BPFとそれを用いた広帯域ダイプレクサへの応用 ○谷井宏成・和田光司 (電通大)
5. スタブ装荷共振器を用いた疑似楕円関数型準ミリ波バンドパスフィルタに関する一検討 ○高橋祐介・和田光司 (電通大)
6. スイッチ装荷を想定した各種リング共振器BPFの周波数移動量に関する一検討 ○福永貴徳・和田光司 (電通大)
7. 両端リング型共振器を用いたミリ波CMOSバンドパスフィルタに関する一検討 ○山岸史弥・和田光司 (電通大)
8. マイクロストリップ伝送線路及び結合線路を組み合わせた高域通過フィルタの設計 ○秋元亮祐・馬 哲旺・大平昌敬 (埼玉大)

18 日午後 学生研究発表会 (13:05~)

9. Si CMOS 基板上ミリ波帯スパイラルインダクタとキャパシタの電磁界解析及び実測評価 ○住田崇史・平野拓一・岡田健一・広川二郎・安藤 真 (東工大)
10. グランド面に構成した短絡スロットラインスタブを利用した広帯域ブランチラインカップラ ○中島宣雄・河合 正・太田 勲・榎原 晃 (兵庫県立大)
11. ハイパス特性を持ったUWB-IRトランスミッタ用バランの開発 ○橋村亮介・ドン ルイビン・ボカレル ラメシュ・兼本大輔・金谷晴一・吉田啓二 (九大)
12. H面導波管型縦列多重電力分配/合成回路 ○池内裕章・太田 勲・表西洲行・河合 正 (兵庫県立大)・岸原充佳 (岡山県立大)

TJMW2012 タイ学生受賞者 特別講演

13. [特別講演] Fingerprint Technique for Indoor Localization in RFID Passive Tag Using Dot Product  
○Sisongkham Phimmasean・Dwi Joko Suroso・Panarat Cherntanomwong (KMITL)
14. [特別講演] Bandwidth and Gain Amelioration of a Circularly Polarized Microstrip Fed L-Slot Antenna by Using Metamaterial Reflective Surface ○Chawalit Raklua・Sarawuth Chaimool・Prayoot Akkaraekthalin (KMUTNB)
15. [特別講演] Analysis and Design of a 4 ports TE/TM Mode and Frequency Splitter in Anisotropic  
○Piyanat Limjunyawong・Malinda Hongthong・Tuptim Angkaew (Chulalongkorn Univ.)

東京支部共催特別講演

16. [特別講演] 変換電磁気学とその応用—透明マントの設計法—  
○真田篤志・永山 務 (山口大)

19 日午前 学生研究発表会

1. サファイア円柱共振器を用いた銅張誘電体基板の比導電率測定  
○常光理志 (埼玉大)・小林禧夫 (サムテック)・馬 哲旺 (埼玉大)
2. 銅張り誘電体基板のマイクロ波表面抵抗に関する実験的検討  
○霜田雄佑・菊池幸一・清水隆志・古神義則 (宇都宮大)
3. 円筒空洞共振器を用いた気体の比誘電率の高精度測定に関する検討  
○下山田貴生・清水隆志・古神義則 (宇都宮大)
4. CPW 共振器を用いたMZ型光変調器の変調度及び半波長電圧測定  
○川上哲郎・清水隆志・古神義則 (宇都宮大)
5. 球面に沿って曲げた導電性繊維キャピティ付きスロットアンテナ  
○米屋壮史・島崎仁司 (京都工繊大)
6. マイクロストリップアレイアンテナと二散乱体を用いた

5.8 GHz 帯無線電力伝送用空間変調モジュール

- 井上泰平・長谷川光平・斉藤 昭・石川 亮・本城和彦 (電通大)
7. 無線秘密鍵共有方式において両端末ともにエスバアンテナを用いることによる盗聴耐性向上 ○大森陽介・吉田齊史・坂井尚貴・上原秀幸・大平 孝 (豊橋技科大)
8. 3-D SiP 構造を用いた60 GHz帯2×4素子アレイアンテナモジュール  
○鈴木祐也・吉田賢史・谷藤正一・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)

19 日午後 学生研究発表会 (13:05~)

9. Antenna Pattern Reconstruction Using Spherical Harmonics For Spherical Antenna Measurement  
○Yang Miao・Jun-ichi Takada (Tokyo Inst. of Tech.)
10. MMIC6ポートコリレータを用いた微小変位測定装置の製作・検討  
○岩城伸明・矢加部利幸 (電通大)
11. 木質バイオマス糖化前処理のための簡易型マイクロ波照射装置の設計  
○長谷川直輝・三谷友彦・篠原真毅 (京大)・大代正和・瀬郷久幸・桂 陽子 (日本化学機械)・渡辺隆司 (京大)
12. Development of a DC Power-supply Circuit for a Low Power Rectenna  
○Yong Huang・Naoki Shinohara・Tomohiko Mitani (Kyoto Univ.)
13. 磁気共鳴型無線電力伝送に対する人体数値ドシメトリ手法に関する検討  
○土田昌吾・ラクソ イルッカ・平田晃正 (名工大)
14. ボディエリアネットワークにおけるFDTDを用いたパソシミュレーション  
○長縄潤一・金 ミンソク・高田潤一 (東工大)
15. UWBによるボディエリアネットワーク測定装置の開発  
○小林 翔・金 ミンソク・高田潤一 (東工大)
16. 前腕負荷時のマイクロ波CT画像と生理学データの関係  
○佐藤裕介・宮川道夫 (新潟大)
- 一般
17. ハーモニック共振器摂動法による透磁率の周波数特性評価  
○三浦太郎 (ザ・ミュー)・田原 健 (関東電子応用開発)

◆IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎18日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

◎19日16:50~17:20に学生発表研究会表彰式を行います。

☆MW研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月21日(水), 22日(木) 石垣島 [締切済] テーマ: マイクロ波一般

12月13日(木), 14日(金) 山梨大 [10月15日(月)]  
テーマ: マイクロ波一般

1月16日(水)~18日(金) 機械振興会館 [11月9日(金)]  
テーマ: 化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

鴨田浩和 (NHK)  
TEL [03] 5494-3460, FAX [03] 5494-3208  
E-mail: kamoda.h-ci@nhk.or.jp  
加屋野博幸 (東芝)  
TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801  
E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

## ★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕  
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 10月19日(金) 14:00~15:40

会場 富士電機機器制御本社会議室(中央区日本橋大伝馬町5番7号 三井住友銀行人形町ビル)

議題 トライボロジ, 一般

1. 電磁圧接による導電接続用アルミニウム及び銅薄板の並列シーム溶接(第2報) ○相沢友勝・松澤和夫・岡川啓悟(都立産技高専)
2. 抵抗溶接CAEを用いた電気接点の熱解析—(1)モデリングと加熱条件— ○高見幸二・土田 誠(オムロン)
3. PCF 接続部の軸ずれに伴うAF変化 ○飯久保忠久・長瀬 亮(千葉工大)
4. Ag及びAgSnO<sub>2</sub>接点表面のアーケ損傷形状の3次元の評価 ○高橋佳祐・長谷川 誠(千歳科技大)

◆継電器・コンタクトテクノロジー研究会共催

☆EMD研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

11月30日(金), 12月1日(土) 千葉工大[締切済] テーマ:国際セッションIS-EMD2012(継電器・コンタクトテクノロジー研究会共催)

12月21日(金) 機械振興会館[10月15日(月)] テーマ:一般

1月25日(金) 日立(横浜)[11月15日(木)] テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

長谷川 誠(千歳科技大)

TEL & FAX [0123] 27-6059

E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp

関川純哉(静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

服部康弘(住友電装)

TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

◎EMD研究会に関する最新の情報は、<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

## ★超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

専門委員長 日高睦夫

幹事 山田隆宏・丸山道隆 幹事補佐 赤池宏之

日時 10月25日(木) 13:00~16:55

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 超伝導エレクトロニクス基盤技術, 一般

1. 高温超伝導体Bi-2212を用いたテラヘルツ発振器周波数のモード同定 ○堅田 寛・立木 隆・内田貴司(防衛大)
2. 集積型極低温電流比較器の改良 ○山田隆宏・前澤正明・丸山道隆・大江武彦・浦野千春・金子晋久(産総研)・日高睦夫・佐藤哲朗・永沢秀一・日野出憲治(超電導工学研)
3. 磁性ナノ粒子薄膜を形成したSQUIDの共振ステップと閾値特性 ○伊藤 大・奥村崇之・谷口壮耶・赤池宏之・藤巻 朗(名大)

4. X線科学衛星DIOS搭載に向けた低発熱型多入力SQUIDの開発 ○酒井和広・竹井 洋・満田和久・山崎典子・山本 亮(JAXA)・日高睦夫・永沢秀一(国際超電導産技研センター)・宮崎利行(理研)・前澤正明・神代 暁(産総研)

5. 極低温検出器アレイ読み出しのためのマイクロ波SQUIDマルチプレクサ ○平山文紀・神代 暁・福田大治・山森弘毅・佐藤 泰・山田隆宏(産総研)・永沢秀一・日高睦夫(超電導工学研)
6. 正方超伝導ネットワークにおける異方的磁束侵入の磁気光学観察 ○土屋雄司・仲島康行・為ヶ井 強(東大)・永沢秀一・日高睦夫(国際超電導産技研センター)
7. モートにおける磁束排除効果の形状依存性の数値解析 ○溝口翔太・伊藤 大・井上真澄・藤巻 朗(名大)
8. 磁束量子パルス信号によるレベル論理方式に関する研究 辻 祐也(東北大)
9. 6-bit可変型SFQパルス数増倍回路の設計と動作検証 ○高橋義隆・守屋雅隆・島田 宏・水柿義直(電通大)・前澤正明(産総研)

【問合先】

山田隆宏(産総研)

TEL [029] 861-2859, FAX [029] 861-5530

E-mail: yamada-takahiro@aist.go.jp

## ★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 10月29日(月) 14:00~16:50

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 ネットワーク環境でのディペンダビリティ

1. パラメータ値に関する制約を考慮したランダムテストのためのテストケース生成手法 ○田中真吾・小島英春・土屋達弘(阪大)
  2. 分散データレプリケーションシステムにおける評価尺度に関する一考察 ○上竹嘉史・新井雅之・福本 聡(首都大東京)
  3. Advances in HTML5 and P2P Video Streaming from the Viewpoint of Network Dependability and Availability ○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)
  4. 無線センサネットワークにおける分散データ転送のための重複を低減する複数経路の構築とノードの経路分岐数通知によるパラメータ設定方式 ○木村安里・河野英太郎・角田良明(広島市大)
  5. [招待講演] Dependability Caseの紹介 松野 裕(名大)
- ☆DC研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日  
11月26日(月)~28日(水) 九大百年講堂[締切済] テーマ:デザインガイア2012—VLSI設計の新しい大地—

【問合先】

土屋達弘(阪大大学院情報科学研究科)

E-mail: t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は、DC研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 近藤公久・佐良木 昌  
幹事 黒田 航・久保村千明 幹事補佐 横野 光・乾 孝司

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 増市 博・竹内孔一  
幹事 柳原 正・西崎博光 幹事補佐 金山 博・大塚裕子

日時 10月27日(土) 10:30~17:05  
会場 公立はこだて未来大学研究棟 R791 (函館市亀田中野町  
116-2. <http://www.fun.ac.jp/acces/index.html>)

議題 感情・評価・態度

1. 意味を理解するとはどういうことか?—大脳新皮質における意味理解機構の神経科学的解釈— 清野躬行 (清野情報)
2. ファシリテーターの有無に着目したグループディスカッションの談話分析 ○杉本 航・大塚裕子 (公立はこだて未来大)
3. 読み手の視点からの Heart Warming Story を含む tweets の自動検出 ○鈴木順友・大塚裕子 (公立はこだて未来大)・奥村 学・山口洋平 (東工大)

午後 (13:25~)

4. インタフェースエージェントの印象変化による記憶への影響 ○久保田剛司・大澤英一 (公立はこだて未来大)
5. 聞き手の感情を喚起する発話の分類と生成 ○長谷川貴之・鍛冶伸裕・吉永直樹・豊田正史 (東大)
6. 文字情報と顔文字からの話者感情推定 ○奥村紀之・大西智佳 (香川高専)
7. 言語流暢性検査における内在語彙生成の質的検討—英語、日本語、アラビア語、タイ語における比較言語による分析— 浅野恵子 (順天堂大)
8. 障がい者と健常者のコミュニケーション支援に向けた談話分析 ○工藤瑞香・大塚裕子 (公立はこだて未来大)
9. 言説分析へ向けた政治争点の述べ方の類型化—国会会議録と新聞記事を対象に— 小橋洋平 (筑波大)

◎注意:土曜日開催のため、昼食をご自分で用意する必要があります。お弁当など、御持参下さい。10月27日の東京→函館のフライトが埋まっている模様です。前泊、後泊をお勧めします。

☆TL 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
12月8日(土) 早大 [10月15日(月)] テーマ:言語と学習、場の共創

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

☆NLC 研究会今後の予定  
12月19日(水)、20日(木) 東工大大岡山キャンパス テーマ:第4回集合知シンポジウム

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 山田晃久 副委員長 池田 誠  
幹事 竹中 崇・中武繁寿

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 大田恭士 副委員長 澤田 宏・梶川嘉延  
幹事 大谷 猛・木下慶介 幹事補佐 西浦敬信

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅  
幹事 松岡俊匡・竹内 健  
幹事補佐 渡辺 理・大内真一・土谷 亮

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久  
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

日時 10月18日(木) 13:00~17:00  
19日(金) 9:00~16:50

会場 ホテルルイズ (盛岡市盛岡駅前通7-15. JR盛岡駅より徒歩2分. 亀田昌志)

議題 システム LSI の応用と要素技術, プロセッサ, DSP, 画像処理技術及び一般

18日

1. 移動方向変化に対応した立体高次自己局所相関特徴を用いた人物動作判別 ○石井健幸・村上仁己・小池 淳 (成蹊大)
2. 復号時の誤差増幅を回避する重み付きメディアンカット量子化—疎ヒストグラム画像の高画質なデータ圧縮—

○五十嵐 徹・岩橋政宏 (長岡技科大)・貴家仁志 (首都大東京)

3. 誤差基準に L1 ノルムを用いたヒルベルト変換器の設計 ○村上郁矢・相川直幸 (東京理科大)
4. 光再構成型ビジョンチップによる 16 階調グレーレベル画像認識 ○上窪勇貴・渡邊 実・川人祥二 (静岡大)
5. Kinect を用いた赤外線距離画像と RGB 画像の比較による光源推定の手法に関する考察 林田智樹 (早大)
6. タブレット型 PC を用いた対話的な統合アッサン学習支援システムの開発における陰影学習の検討 ○澤田明宏・亀田昌志 (岩手県立大)

7. [招待講演] 人間中心のリアルワールド知能システムのための計算技術 張山昌論 (東北大)

19日午前

1. モノインストラクションセットコンピュータ (MISC) の消費電力解析 ○伊藤宏幸・渡邊 実 (静岡大)
2. コンフィグレーションメモリサイズの減少を指向したパケット転送に基づく動的再構成 VLSI プロセッサの構成 ○藤岡与周 (八戸工大)・亀山充隆 (東北大)
3. 非線形成分補正機能を有した確率的並列型 A/D 変換器の設計 ○矢野新也・ハム ヒュンジュ・松岡俊匡・王 軍・チョウ イキユン (阪大)

4. A 9-bit 10 MSps SAR ADC with Double Input Range for Supply Voltage ○Gong Chen・Qing Dong・Shigetoshi Nakatake (Univ. of Kitakyushu)・Bo Yang・Jing Li (DAL)

5. [招待講演] 画像認識向けの非対称型マルチコア SoC Visconti2 の開発 宮森 高 (東芝)

19 日午後

6. マルチスケールフィルタ向けアクセラレータ・アーキテクチャの提案 ○上野伸也・ゴーチェ ロヴィック エリック・井上弘士・村上和彰 (九大)

7. タイル・ライン変換機能を備えた動き探索用ロードバッファの提案 ○猪俣 匠・佐々木敬泰・大野和彦・近藤利夫 (三重大)

8. 動的電圧・周波数スケールリングに向けた動きベクトル検出アルゴリズムとこれを適用した低電力動きベクトル検出プロセスの開発 ○榎本忠儀・小林伸彰 (中大)

9. SRAM Macro Synthesis by Geometric Programming  
○Yu Zhang・Qing Dong・Shigetoshi Nakatake (Univ. of Kitakyushu)・Bo Yang・Jing Li (DAL)

10. 動的遅延分布の高速な見積もり手法 ○秋田 大・安藤健太 (阪大)・高橋篤司 (東工大)

11. WAR 依存を持つ配列アクセスの削減手法 ○大川貴之・瀬戸兼修 (東京都市大)

12. 鍵ベース構成の State Dependent Scan Flip-Flop を用いたセキュアスキャンアーキテクチャの RSA 暗号回路への実装  
○跡部悠太・史 又華・柳澤政生・戸川 望 (早大)

13. 最大フロー最小カット定理を用いた不揮発レジスタの書き込み削減 ○糸井優大・木村晋二 (早大)

◆情報処理学会; システム LSI 設計技術研究会連催。IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 共催

◎18 日研究会終了後、盛岡駅周辺で懇親会を予定しております。

☆VLD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11 月 26 日 (月)~28 日 (水) 九大百年講堂 [締切済] テーマ: デザインガイア 2012—VLSI 設計の新しい大地—

#### [問合先]

竹中 崇 (NEC)

TEL [044] 431-7194

E-mail: takenaka@aj.jp.nec.com

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~vld/>

☆SIP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1 月 31 日 (木), 2 月 1 日 (金) ビューポートくれ (呉) [11 月 8 日 (木)] テーマ: 無線通信のための信号処理及び一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

☆ICD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11 月 26 日 (月)~28 日 (水) 九大百年講堂 [締切済] テーマ: デザインガイア 2012—VLSI 設計の新しい大地—

☆IE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11 月 15 日 (木), 16 日 (金) 鹿児島大郡元キャンパス [締切済] テーマ: 高精細度画像処理・表示, 一般

12 月 6 日 (木), 7 日 (金) 東海 [未定] テーマ: 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### [問合先]

久保田 彰 (中大)

E-mail: ie-kanji2012@mail.ieice.org

## ★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二

幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 10 月 18 日 (木) 13:30~17:30

19 日 (金) 8:55~11:40

会場 秋田県産業技術センター高度技術研究館 (秋田市新屋町字砂奴寄 4-21, JR 秋田駅からバス 28 分, <http://www.rdc.pref.akita.jp/> TEL [018] 866-5800 山川清志)

議題 ヘッド・スピントロニクス, 一般

18 日

MR-1. [チュートリアル招待講演] SSD の現状と将来動向

竹内 健 (中大)

2. 球面参照波を用いたホログラムメモリの記録密度に関するシミュレーション及び実験評価

○荒井敦志・小澤尚平・吉田周平・山本 学 (東京理科大)

MR-3. [招待講演] 5 Tb/in<sup>2</sup> 超エネルギーアシスト記録—超高密度ナノビット磁気記録技術—

○宮本治一・赤城文子・向尾将樹・武井久子・牛山純子 (日立)

MR-4. 2.5 Tbit/in<sup>2</sup> 級熱アシスト記録用ヘッドの記録磁極構造に関する検討

○山川清志・伊勢和幸 (秋田県産技センター)・赤城文子・渡邊克郎・五十嵐万壽和・宮本治一 (日立)

MR-5. シールドプレーナー型ヘッドによる高転送レート記録の検討—主磁極先端形状とシールド構造—

○田村英和・金井 靖 (新潟工科大)・山川清志 (秋田県産技センター)・吉田和悦 (工学院大)・グループズ サイモン・村岡裕明 (東北大)

MR-6. レーザー加熱機構を有する局所磁気光学カー効果計測技術の開発

○中村勇希 (秋田大)・近藤祐治・山川清志・有明 順 (秋田県産技センター)・石尾俊二 (秋田大)

MR-7. 窒化物キャップ層を用いた MgO (001)/CoFeB 構造における磁気的特性評価

○杉原 敦・大崎創一郎・中谷亮一 (阪大)

19 日

MR-1. [招待講演] 自己組織化ポリマーを用いた 5 Tb/in<sup>2</sup> ビットパターンメディアの作製

○鎌田芳幸・前田知幸・稗田泰之・山本亮介・木原尚子・喜々津 哲 (東芝)

MR-2. フラット・パターンニング法を用いて作製した L10 FePtRh 強磁性-反強磁性パターンにおける原子拡散幅の評価

○長谷川 崇・石尾俊二 (秋田大)

MR-3. 周波数変調型磁気力顕微鏡を用いた磁気記録ヘッドの交流磁場観察—円錐形状 FePt 系高保磁力探針による像歪みの抑制—

○吉村 哲・安居慎也・江川元太・木下幸則・齊藤 準 (秋田大)

MR-4. [招待講演] 放射光を用いた鉄隕石の界面磁性解析とその応用研究

○小嗣真人 (SPring-8/JASRI)・三保千春 (物質・材料研究機構)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催。日本磁気学会; ナノマグネティクス研究会, IEEE CE Soc. Japan Chapter 併催

◎18 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆MR 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11 月 16 日 (金) 早大 [締切済] テーマ: ハードディスクドライブ, 一般

12 月 13 日 (木), 14 日 (金) 愛媛大 [10 月 15 日 (月)] テーマ: 信号処理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

○最新情報は、MR 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

## ★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生

幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

## ★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田 道

副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明

幹事 平田晃正・大貫進一郎 幹事補佐 平野拓一・陳 春平

日時 10月25日(木) 9:50~17:00

26日(金) 9:00~15:50

会場 東北学院大学多賀城キャンパス (多賀城市中央1-13-1.

JR 仙石線:多賀城駅から徒歩10分。JR 東北本線:国府多賀

城駅から徒歩15分。 <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/access/tagajo.html> 嶺岸茂樹)

議題 シミュレーション技術, EMC, 一般

25日午前

EST-1. GPUによる1次元LOD-FDTD法の高速度化の検討  
○尾形洋樹・鈴木敬久(首都大東京)

EST-2. GPGPUを用いたFDTDに関する基礎検討  
○塩見英久・岡村康行(阪大)

EST-3. 数値分散誤差を考慮した有限差分法を用いた数値波動解析のための問題解決環境に関する一検討  
○鈴木敬久・高島 敬(首都大東京)

EST-4. MW-FDTD法を用いた数値地図と傾斜放電路による雷放電電磁界解析  
及川貴瑛・○園田 潤(仙台高専)・本間規泰(東北電力)・佐藤源之(東北大)

EST-5. 無線システムシミュレーションにおけるフレームワーク技術の適用  
○北條貴大・塩見英久・岡村康行(阪大)

25日午後(13:10~)

EMCJ-6. 放射損失を考慮したマイクロストリップ線路とスロット間の結合解析  
○戸花照雄・笹森崇行・磯田陽次(秋田県立大)

EMCJ-7. 電源系高周波電流による給電電圧変動を反映させたLECCS-coreモデルの検討  
○出原 歩・山崎輝宣・松嶋 徹・久門尚史・和田修己(京大)

EMCJ-8. 単導体伝送線路モデルとその外部電磁界による励振  
○久門尚史・清水康平・和田修己(京大)

EST-9. 線路間の平衡度不整合に起因するモード変換の回路表現に対する電磁界シミュレーションを用いた初期検討  
○豊田啓孝・若槻友里・五百旗頭健吾(岡山大)

EST-10. 人体頭部近傍に置かれた有限EBG基板上ダイポールアンテナの特性解析  
○池内 涼・陳 國雄・平田晃正(名工大)

EST-11. Si CMOS基板上ミリ波帯オンチップダイポール, ループ, パッチアンテナの放射効率の電磁界シミュレーション  
○平野拓一・岡田健一・広川二郎・安藤 真(東工大)

EMCJ-12. [特別講演] 電波の放射メカニズムと可視化  
澤谷邦男(東北大)

26日午前

第一種研究会開催案内

EMCJ-1. A Study on Imbalance Component and EM Radiation from Asymmetrical Differential-Paired Lines with U-Shape Bend Routing  
○Yoshiki Kayano・Hiroshi Inoue (Akita Univ.)

EMCJ-2. TTLを使用した半導体の劣化と放射妨害波の關係の検討  
○上田 翼・奥村 拓・桑原伸夫(九工大)・秋山佳春(NTT)

EMCJ-3. 高速シリアル伝送における符号化及びクロック伝送方式の信号スペクトルとクロックジッタへの影響  
○生島 剛・新保努武・柴田 修・加藤秀二・白木直司(パナソニック)

4. 雑音分散の取束性に着目した電磁情報漏えい伝搬範囲推定の高速度に関する検討  
林 優一・本間尚文・水木敬明・青木孝文・曾根秀昭(東北大)

EST-5. FDTD ダイアコプティクスによる回路構造モデリング—分割のインターフェース—  
柴田道(NTT)

EST-6. 深いポロイオン注入による自己バイアスチャネルゲイオードの耐圧改善  
○工藤嗣友(神奈川工科大)・菅原文彦・大沼孝一(東北学院大)

EST-7. タブ結合マイクロストリップスタブ付きリング共振器の解析及びその特性に関する再検討  
○保高拓哉・馬 哲旺・大平昌敬(埼玉大)

26日午後

EST-8. Multiphysics simulation of a nanoplate in laser fields  
Shinichiro Ohnuki・○Takashi Takeuchi・Tokuei Sako・Yoshito Ashizawa・Katsuji Nakagawa (Nihon Univ.)・Masahiro Tanaka (Gifu Univ.)・Weng Cho Chew (Univ. of Illinois)

EMCJ-9. 基準アンテナを用いたEMI測定用ループアンテナの校正  
○藤井勝巳(NICT)・石居正典(産総研)

10. 水平偏波遠方界ばく露による妊婦と3歳児に対するボクセルSARと全身平均SARの定量関係  
浅山遼太・王 建青・藤原 修(名工大)

EMCJ-11. 接触電流に伴う非接地人体内誘導電界のFDTD解析  
○服部潤哉・ラークソ イルッカ・平田晃正(名工大)・鈴木敬久・多氣昌生(首都大東京)

EMCJ-12. 損失を含む誘電体円柱で短絡された平行平板線路内での平面波散乱現象  
○越後 宏(東北学院大)・相澤和夫

EMCJ-13. コネクタの高周波応答に基づく接触状態推定に関する基礎的検討  
○上原和也・林 優一・水木敬明・曾根秀昭(東北大)

◆電気学会;電磁環境技術委員会連催, IEEE EMC Society Sendai Chapter, IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会共催

☆EMCJ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月14日(金) 岐阜大 [10月15日(月)] テーマ:電力, 生体, EMC, 一般

1月10日(木), 11日(金) 長崎大 [11月9日(金)] テーマ:通信, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】  
青柳貴洋(東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)  
〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-W9-110  
TEL & FAX [03] 5734-2992  
E-mail: emcj@mail.ieice.org

☆EST 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス〔未定〕  
テーマ: フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶,  
ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチ  
ング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

陳 春平 (神奈川大)

E-mail: est-entry@mail.ieice.org

## ★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 10月25日(木) 15:20~17:00

26日(金) 9:30~14:15

会場 東北大学未来情報産業研究館5F (仙台市青葉区荒巻字青  
葉6-6-10. <http://www.fff.niche.tohoku.ac.jp/index.html>  
TEL [022] 795-3977 後藤哲也)

議題 プロセス科学と新プロセス技術

25日

1. SiO<sub>2</sub>/Si(100)界面における組成遷移層の化学構造に関する研  
究 ○諏訪智之・寺本章伸 (東北大)・室 隆桂之・  
木下豊彦 (高輝度光科学研究センター)・須川成利・服部健雄・  
大見忠弘 (東北大)
2. 角度分解光電子分光法によるSiO<sub>2</sub>/4H-SiC構造の炭素関連欠  
陥の検出 ○岡田葉月・小松 新・渡辺将人・  
澤野憲太郎 (東京都市大)・泉 雄大・  
室 隆圭介 (高輝度光科学研究センター)・野平博司 (東京都市大)
3. 微小角入射 X線回折法を用いたSiO<sub>2</sub>薄膜中の結晶相の評価  
○永田晃基・山口拓也・小椋厚志 (明大)・小金澤智之・  
廣澤一郎 (JASRI)・諏訪智之・寺本章伸・服部健雄・  
大見忠弘 (東北大)
4. 温度制御型フォトリフレクタンス分光法を用いたプラズマ誘  
起Si基板ダメージの定量化とそのプロファイル解析  
○松田朝彦・中久保義則・鷹尾祥典・江利口浩二・  
斧 高一 (京大)

26日午前

1. Noise Performance of Accumulation MOSFETs  
○Philippe Gaubert・Akinobu Teramoto・  
Shigetoshi Sugawa・Tadahiro Ohmi (Tohoku Univ.)
2. PECVD法を用いたゲートスペーサー用高品質シリコン窒化  
膜の低温形成プロセス ○中尾幸久・寺本章伸・黒田理人・  
諏訪智之・田中宏明・須川成利・大見忠弘 (東北大)
3. [特別講演] シリコンLSI: 微細化に替る高性能化の道  
○大見忠弘・中尾幸久・黒田理人・諏訪智之・田中宏明・  
須川成利 (東北大)

26日午後

4. Fabrication process for pentacene-based vertical OFETs with  
HfO<sub>2</sub> gate insulator ○Min Liao (Tokyo Inst. of Tech.)・  
Hiroshi Ishiwara (Konkuk Univ.)・  
Shun-ichiro Ohmi (Tokyo Inst. of Tech.)
5. Effect of silicon surface roughness on MOSFET performance  
with ultra-thin HfON gate insulator formed by ECR sputtering

- Dae-Hee Han・Shun-ichiro Ohmi (Tokyo Inst. of Tech.)
6. シリコンウェーハプロセスにおける超高速ウェットエッチン  
グ技術 ○酒井 健・吉田達朗・吉川和博・  
大見忠弘 (東北大)

◎25日17:30~懇親会を開催します。

☆SDM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月15日(木), 16日(金) 機械振興会館〔締切済〕テー  
マ: プロセス・デバイス・回路シミュレーション及び一般

## ★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄

幹事 全 眞嬉・河村彰星

日時 10月31日(水) 9:30~17:20

会場 東北大学青葉山キャンパス総合研究棟1F 講義室 (仙台市  
青葉区荒巻字青葉. アクセス [http://www.eng.tohoku.ac.jp/  
map/?menu=access](http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=access) 総合研究棟 [http://www.eng.tohoku.  
ac.jp/map/?menu=campus&area=c&build=10](http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=c&build=10) 内沢 啓)

議題

1. A Unified View to Greedy Routing Algorithms in Ad Hoc  
Networks Jinhee・Akiyoshi Shioura・  
○Minh Tien Truong・Takeshi Tokuyama (Tohoku Univ.)
2. Synchronizing Multi-Dimensional Cellular Automata in Opti-  
mum-Time ○Hiroshi Umeo・Kinuo Nishide・  
Keisuke Kubo (Univ. of Osaka Electro-Comm.)
3. [招待講演] バイオインフォマティクスの話題  
木下賢吾 (東北大)

午後 (13:30~)

4. 圧縮文字列に対する省メモリなパターンマッチアルゴリズム  
○相原高雄・篠原 歩・成澤和志 (東北大)
5. 施設配置ゲームにおける仁・シャープレイ値の計算について  
○並河雄紀 (北陸先端大)・岡本吉央 (電通大)・  
大館陽太 (北陸先端大)
6. On  $1 + \epsilon$  strip graphs Takashi Hayashi (Gunma Univ.)・  
○Hidehiro Shinohara (Tohoku Univ.)・  
Koichi Yamazaki (Gunma Univ.)
7. On the Complexity of Packing Trominoes  
○Takashi Horiyama (Saitama Univ.)・  
Takehiro Ito (Tohoku Univ.)・  
Keita Nakatsuka (Saitama Univ.)・  
Akira Suzuki (Tohoku Univ.)・Ryuhei Uehara (JAIST)
8. A new definition of the shelling property for polytopal  
digraphs and constructions of related structures  
David Avis (Kyoto Univ.)・○Hiroyuki Miyata・  
Sonoko Moriyama (Tohoku Univ.)
9. GPUのための並列計算モデル ○小池 敦・  
定兼邦彦 (NII)

☆COMP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月10日(月) 九大〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

全 眞嬉 (東北大学院情報科学研究科)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09

E-mail: jinhee@dais.is.tohoku.ac.jp

## ★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 中野敬介 副委員長 山路隆文  
幹事 前田義信・三友敏也 幹事補佐 高藤大介・宮北和之

## ★システム数理と応用研究会 (MSS)

専門委員長 平石邦彦 副委員長 中村祐一  
幹事 中村正樹・山口真之介 幹事補佐 西脇大輔

日時 11月1日(木) 13:30~17:20  
2日(金) 9:30~14:45

会場 岩手大学工学部一祐会館(盛岡市上田3-18-8. 盛岡駅からタクシー約2km 約10分. または徒歩約25分. <http://www.iwate-u.ac.jp/campusannai/index.shtml> TEL [019] 621-6006 (会場) 山中克久)

議題 グラフ, ペトリネット, ニューラルネット及び一般

1日

1. 同種関係性ファジィc-平均法に基づくファジィ共クラスタリングについて 神澤雄智(芝浦工大)
2. A Note on the Energy-Aware Mapping for NoCs  
○Satoshi Tayu・Shuichi Ueno (Tokyo Inst. of Tech.)
3. 出力フィードバックによるトランジションシステムの模倣制御  
○Vu Tung Nam・高井重昌(阪大)
4. ANDルールを用いた離散事象システムの分散型オンライン診断  
○山本 聖・高井重昌(阪大)
5. 抽象化を用いた部分観測離散事象システムの検証  
○横谷美怜・高井重昌(阪大)
6. ワイルドカード文字を含むNグラムモデルを用いた確率離散事象システムの故障診断  
○平石邦彦・吉本美和・小林孝一(北陸先端大)
7. [招待講演] 高精度デジタルフィルタ構造合成のための解析的アプローチ 八巻俊輔(東北大)

2日午前

1. RCPSP/ $\pi$ RCにおける発見的モード制限手法  
○大久保広訓・宮本俊幸(阪大)・森 一之・北村聖一・泉井良夫(三菱電機)
2. モデルベース開発におけるモデリングと解析に関する考察  
○千葉裕介・猪股俊光・新井義和・今井信太郎(岩手県立大)
3. 可読性と計算可能性を両立させた医療評価指標のグラフ表現  
○高木 理(北陸先端大)・竹内和泉・高橋孝一・和泉憲明(産総研)・村田晃一郎(北里大)・池田 満(北陸先端大)・橋田浩一(産総研)
4. 攪乱順列の線形時間ランダム生成について  
○三河賢治(新潟大)・田中 賢(神奈川大)
5. 二次元道路網における電気自動車の充電設備配置について  
○早津峻佑・宮北和之・中野敬介(新潟大)
6. 充電器の位置情報の利用による電気自動車の充電待ち時間への影響について  
○宮北和之・中野敬介(新潟大)

2日午後(13:30~)

7. SMT ソルバーを用いた計算機ネットワークにおける周期タスクのリソース割り当てとスケジューリング  
○坂井勇哉・潮 俊光(阪大)
8. Acyclic Well-Structured ワークフローネットの拡張とその健全性について  
○呉 歆・山口真悟(山口大)
9. 2シャフトエレベータにおける需要モードに応じたピーク電力抑制と利便性を両立する制御手法  
○中山健太郎・高橋宏治(東工大)

☆CAS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月28日(月), 29日(火) 別府国際コンベンションセンター [未定] テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

宮北和之(新潟大)  
TEL [025] 262-7581  
E-mail: miyakita@cais.niigata-u.ac.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では、研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は、3月の総合大会にて表彰致しますので、奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格はCAS研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者のIEICE学生会員(申し込み中でも可)の方です。詳しくは幹事までお問合せ下さい。

☆MSS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月22日(火), 23日(水) 大阪国際会議場 [11月10日(土)] テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

中村正樹(富山県立大)  
TEL [0766] 56-7500 (内639)  
E-mail: masaki-n@pu-toyama.ac.jp

## ——信越支部における開催——

## ★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰  
幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

日時 10月26日(金) 13:00~18:20  
27日(土) 9:10~12:40

会場 まちなかキャンパス長岡5階501会議室(長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト. 長岡駅より徒歩5分. <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/machicam/> TEL [0258] 39-3300 (会場) 安井寛治(長岡技科大))

議題 薄膜プロセス・材料, 一般

26日

1. 触媒反応生成高エネルギー H<sub>2</sub>O を用いた CVD 法による ZnO 膜の堆積特性  
○安井寛治・三浦仁嗣・田原将巳・里本宗一(長岡技科大)
2. H<sub>2</sub>-O<sub>2</sub> 触媒反応生成高エネルギー H<sub>2</sub>O を用いてサファイア基板上に堆積した ZnO 薄膜の電気伝導特性の解析  
○永富瑛智・山口直也・里本宗一・加藤孝弘・安井寛治(長岡技科大)
3. 触媒反応生成高エネルギー H<sub>2</sub>O を用いてガラス基板上に成長した ZnO 膜への CVD 低温バッファー層挿入効果  
○小柳寛貴・竹澤和樹・加藤孝宏(長岡技科大)・片桐裕則・神保和夫(長岡高専)・安井寛治(長岡技科大)
4. スパッタ法による AZO 薄膜の抵抗率の検討  
○名越克仁・富口祐輔・清水英彦・岩野春男・川上貴浩・福嶋康夫・永田向太郎・坪井 望・野本隆宏(新潟大)
5. 非真空プロセスによる Cu<sub>2</sub>ZnSnS<sub>4</sub> 薄膜太陽電池の作製一窓層

- 堆積条件検討による効率の改善— ○田中久仁彦・相澤卓実・打木久雄 (長岡技科大)
8.  $\text{Cu}_2\text{ZnSnS}_4$  を用いた三次元構造太陽電池の作製  
○黒川真登・田中久仁彦・加藤 実・長沼萌壮・長橋由樹・打木久雄 (長岡技科大)
7. 塩素フリー溶液を用いたゾルゲル硫化法による  $\text{Cu}_2\text{ZnSnS}_4$  薄膜の作製  
○佐久間広太・田中久仁彦・相澤卓実・中野裕也・打木久雄 (長岡技科大)
8. CZTS 薄膜太陽電池における硫化条件の最適化  
○樋口健人・鷲尾 司・神保和夫・片桐裕則 (長岡高専)
9. Si 基板上への AlN 層の形成及び Si/AlN 上への 3C-SiC 成長  
○中澤日出樹・鈴木大樹・成田次理・山本陽平 (弘前大)
10. MOVPE 法による作製した Si 基板上 GaP の界面形状  
高木達也・宮原 亮・○高野 泰 (静岡大)
11. Ni/Si 系におけるモノシリサイドとジシリサイドのマルチフェーズ形成  
○野矢 厚・武山真弓・佐藤 勝・徳田 奨 (北見工大)
12. Cu/metal/SiO<sub>2</sub>/Si 構造における界面での拡散・反応挙動 (I) —Va 遷移金属の拡散挙動—  
○武山真弓・野矢 厚 (北見工大)

27 日

1. コールドスプレー法により作製した Cu/Al ターゲットを用いた反応性スパッタリング法による  $\text{CuAlO}_2$  薄膜の作製  
○横本拓也・荒井 崇・小坂孝之・山上朋彦・阿部克也 (信州大)
2. 熱処理法による  $\text{SrAl}_2\text{O}_4:\text{Eu}, \text{Dy}$  薄膜用下地膜の検討  
○小林和晃・清水英彦・岩野春男・福嶋康夫・川上貴浩 (新潟大)
3. プラスチック基板上に作製した ITO 膜及び有機 EL 素子の機械的特性  
○松井博章・清水英彦・岩野春男・福嶋康夫・永田向太郎・坪井 望・野本隆宏 (新潟大)
4.  $\text{YVO}_4:\text{Bi}$  黄色蛍光体のエネルギー移動過程  
○阿部泰雅・八木純平・加藤有行 (長岡技科大)
5. グラフェン層間化合物の作製と評価  
○山本 寛・市川博亮・佐藤祥吾・岩田展幸 (日大)
6. 電界遮蔽効果と直列抵抗を同時に考慮した電界電子放出特性の検討  
○浅田裕司・山下将弘・山上朋彦・林部林平・上村喜一 (信州大)
7. パルス電流法による Bi-2212 接合スタックの接合数評価  
○加藤孝弘・西方 翼・小滝侑央・末松久幸・安井寛治 (長岡技科大)・川上 彰 (NICT)
8. ガスソース MBE による Si 上の高密度 Ge ナノドットの作製と発光特性  
○姉崎 豊・佐藤 魁・加藤孝弘・加藤有行・豊田英之 (長岡技科大)・末光真希 (東北大)・中澤日出樹 (弘前大)・成田 克 (山形大)・安井寛治 (長岡技科大)

☆CPM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

- 11 月 26 日 (月)~28 日 (水) 九大百年講堂 [締切済] テーマ: デザインガイア 2012—VLSI 設計の新しい大地—
- 11 月 29 日 (木), 30 日 (金) 阪市大 [締切済] テーマ: 窒化物及び混晶半導体デバイス
- 1 月 24 日 (木), 25 日 (金) 阿蘇ファームランド [11 月 10 日 (土)] テーマ: エネルギー変換技術, 電池関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

【問合先】

阿部克也 (信州大)  
E-mail: [abe@shinshu-u.ac.jp](mailto:abe@shinshu-u.ac.jp)

## ★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 小西達裕  
幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 10 月 27 日 (土) 9:55~17:15

会場 信州大学長野 (工学) キャンパス総合研究棟 1 階大会議室  
(長野市若里 4-17-1, JR 長野駅東口から長電バスで「信大工学部」下車, JR 長野駅善光寺口からアルピコバスで「信大工学部前」下車, JR 長野駅から徒歩 20 分, キャンパスマップ 25 番の建物, <http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map03.html#campus> TEL [026] 269-5502 國宗永佳)

議題 教育・学習支援プラットフォーム/一般

- 計画立てによる課題先延ばし行動への影響調査  
○村松甲介・國宗永佳・新村正明 (信州大)
- 漢字の部首の読みに関する調査  
○岸 和樹・荒田龍朗・渡辺哲也 (新潟大)
- ハンドアウトの内容による書き込み方略の選択に関する検討  
○足立真乙・中山 実 (東工大)・梶井芳明 (学芸大)
- 曲げを考慮したいけばなシミュレータの構築  
○岡本仁美・張 英夏・向井信彦 (東京都市大)
- 臨床工学技士国家試験学習支援システム—出題システムの制作—  
○古山佳祐・中里友子・大久保英一・小林和生 (帝京科学大)
- moodleQmaker 石澤伊矩磨・○西口純代 (東京理科大)
- 午後
- アルゴリズム的思考法の学習における課題の適切性に関する検討  
○佐藤 亮・香山瑞恵・國宗永佳・伊東一典・橋本昌巳・大谷 真 (信州大)
- 視覚障害者による漢字構成読みの評価  
○荒田龍朗・岸 和樹・山口俊光・渡辺哲也 (新潟大)
- 学生所有のノート PC を用いた公開鍵暗号実験ツール  
秋月 治 (宮城大)
- 学校における個人情報流出事故対策のための USB メモリ貸出システム  
○上枝俊太・納富一宏 (神奈川工科大)
- ロボットが見守る初心者のためのプログラミング学習環境の開発  
○野口孝文・千田和範 (釧路高専)
- 漸進的クラス図自動生成ツールによるプログラミング支援の提案  
○廣瀬義実・服部 峻 (室蘭工大)
- 筆記情報と時系列モデルを用いた学習者つまづき検出  
○浅井洋樹・野澤明里・苑田翔吾 (早大)・山名早人 (早大/NII)
- 和声学初学習者のための学習支援システム—基本位置 3 和音の上 3 声配置課題を教材とした基本システム設計—  
○三浦浩平・松原行宏 (広島市大)
- 就職活動における企業研究支援システムの開発  
岡田昌也・○長谷川 忍 (北陸先端大)
- 長野県における支援学校と高専の連携  
藤澤義範・○伊藤祥一 (長野高専)・鈴木しのぶ (長野養護学校)
- 遠隔教育支援プラットフォームによる大学間連携促進の取り組み  
○森下 孟 (信州大)・茅野 基 (高等教育コンソーシアム信州)・矢部正之 (信州大)



☆ET 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
11月17日(土) 佐賀大本庄キャンパス〔締切済〕テーマ：  
e-Learning 運用／一般  
12月 関東〔未定〕テーマ：若手支援企画／一般  
1月12日(土) 東京農工大小金井〔11月5日(月)〕テ  
マ：特別な教育的ニーズへの対応と人にやさしい教育／一般

#### 【問合せ先】

渡辺健次(佐賀大)

TEL [0952] 28-8828

E-mail: watanabe@is.saga-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動  
的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていま  
せんので御注意下さい。

### ——北陸支部における開催——

#### ★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎  
幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 10月22日(月) 14:00~16:45

会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス(野々市市扇が丘7-1。JR  
金沢駅よりバスで約30分。http://www.kanazawa-it.ac.jp/  
about\_kit/ogigaoka.html TEL [076] 248-1100 得永嘉昭)

#### 議題

1. レーザ誘起創発的応力波の圧力特性に関する実験的検討  
○西脇基晃・折坂駿介・屋敷直也・得永嘉昭(金沢工大)
2. レーザ誘起応力波による外来物質の取り込み効果  
○竹内光恵・小木美恵子・會澤康治・西村 駿・木村政尊・  
西脇基晃・得永嘉昭(金沢工大)
3. 高ずりパルス下でのずり・配向モード結合の直接観察  
○平野太一・酒井啓司(東大)
4. 帯域幅を広く調整できるSAW フィルタ ○稲葉真史・  
大森達也・橋本研也(千葉大)
5. レーザと複合構造基板との相互作用によるパルス応力波の創  
発一薄膜黒色ターゲットを用いた閉じ込め構造の検討一  
○會澤康治・中 善弘・富永惇司・得永嘉昭(金沢工大)
6. レーザと複合構造基板との相互作用による正方向性応力波の  
創発モデルの検討 ○得永嘉昭・西脇基晃・  
會澤康治(金沢工大)

◆日本音響学会；超音波研究委員会，IEEE UFFC Society Japan  
Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
11月29日(木) 静岡大〔締切済〕テーマ：非線形音響，一  
般(非線形音響研究会共催)  
12月18日(火) 東工大すずかけ台キャンパス〔10月18日  
(木)〕テーマ：強力超音波，一般(日本塑性加工学会；超音  
波応用加工分科会共催)  
1月24日(木)，25日(金) 同志社大室町キャンパス寒梅館  
〔11月9日(金)〕テーマ：応用(電気)音響，超音波，一  
般(音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

#### 【問合せ先】

美谷周二朗(東大)

第一種研究会開催案内

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

http://www.ieice.org/~us

#### ★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄  
幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

日時 10月27日(土) 13:30~17:45

28日(日) 9:30~11:30

会場 牛岳温泉リゾート「山田交流促進センター」2F 研修室・  
実習室(富山市山田赤目谷145。1日目研究会開始前/2日目  
研究会終了後に、予定している送迎バスを御利用下さい。  
TEL [0766] 56-7500 平原達也(富山県立大)

#### 議題

27日

1. [ポスター講演] デジタル直接駆動型スピーカーにおける指  
向性制御法に関する研究 黒澤亮輔(法政大)
2. [ポスター講演] 自動車安全運転に有効なオーディオシステ  
ムに関する基礎的検討 ○三石真宏・草川彰宏・  
降旗建治(信州大)
3. [ポスター講演] 聴覚障害者自身のホルマント強調フィルタ  
の有用性に関する検討 ○杉本大希・関根允也・  
降旗建治・六浦光一(信州大)
4. [ポスター講演] 頭外音像定位のためのプローブマイクロホ  
ンを用いたバイノーラル録音・再生系補正法 ○原 新・  
降旗建治(信州大)
5. [ポスター講演] 生理的側面から見た楽音の高周波空気振動  
成分の影響 ○百瀬翔太・降旗建治(信州大)
6. [ポスター講演] 外耳道内音響式頭蓋内圧推定法に関する基  
礎的検討 ○中野博斗・降旗建治・多田 剛(信州大)・  
中野 順・安本智志・小池徳男(イカリ)
7. [ポスター講演] 頭蓋骨損傷が聴覚系に及ぼす影響の一例  
○佐藤亮祐・降旗建治(信州大)
8. [ポスター講演] 相反法による頭部伝達関数の測定  
○今井悠貴・森川大輔・平原達也(富山県立大)
9. [ポスター講演] テレヘッドIV号機及びV号機の運動特性と  
音響特性 ○吉崎大輔・塚田孝充・平原達也(富山県立大)
10. [ポスター講演] 聴覚ディスプレイによる視覚障害者のタッ  
チパネル操作性改善 ○西澤達夫(信州大/シナジ)・  
井上裕翔・大谷 真・橋本昌巳・香山瑞恵・  
伊東一典(信州大)
11. [ポスター講演] 歌声の心理的印象と音響特徴量との対応付  
けによる歌唱の習熟度評価に関する基礎的検討  
○山辺大貴・池田京子・香山瑞恵・大谷 真・橋本昌巳・  
伊東一典(信州大)・山下泰樹(長野県工科大)・  
浅沼和志(長野高専)
12. [ポスター講演] 歌唱における裏声と地声を識別するための  
音響特徴の検討 ○小島 俊・齋藤 毅(金沢大)・  
中野倫靖・後藤真孝(産総研)・三好正人(金沢大)
13. [ポスター講演] ミニチュアヘッドシミュレータで取音した

告 17

音の方向感について ○岡崎裕人(金沢大)・  
蘆原 郁(産総研)・齋藤 毅・三好正人(金沢大)  
14. [ポスター講演] 室内インパルス応答のモデル化とMTF/  
STI推定法の検討 ○佐々木恭平・鷗木祐史(北陸先端大)

28日

1. [招待講演] 未定 佐藤雅弘(富山大)
2. [招待講演] 音声・音楽信号の残響除去・制御技術とその応用—  
音声をより聞き取りやすく、音楽をより豊かに—  
○木下慶介・吉岡拓也・中谷智広(NTT)

◆日本音響学会;電気音響研究会共催

◎宿泊会場:同リゾート「ふれあいの里ささみね」

<http://ushidake.com/sasamine/index.html>

宿泊費12,000円(予定)。宿泊希望の方、送迎バス御利用希望の方は10月19日までに、戸上真人 [masahito.togami.fe@hitachi.com](mailto:masahito.togami.fe@hitachi.com) まで、御連絡お願い致します。

☆EA研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

11月16日(金),17日(土) 大分大[締切済] テーマ:一般  
12月13日(木),14日(金) NII[未定] テーマ:ブラインド信号処理,一般

1月24日(木),25日(金) 同志社大室町キャンパス寒梅館  
[11月9日(金)] テーマ:応用(電気)音響,超音波,一般(音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

戸上真人(日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: [masahito.togami.fe@hitachi.com](mailto:masahito.togami.fe@hitachi.com)

○Jimson Ngeo・Tomoya Tamei・  
Tomohiro Shibata (NAIST)

午後

6. MR画像からの心臓形状構築システムの改良と力学シミュレーションへの利用 ○鈴木 亨・郭 清蓮・

瀬戸雅宏(金沢工大)・稲田 慎・

中沢一雄(国立循環器病センター)・秋田利明(金沢医科大)・

山部 昌(金沢工大)

7. イヤホン受聴における空間的仮想音源の定位精度向上

○森岡周平・南部功夫(長岡技科大)・矢野昌平(長岡高専)・

穂刈治英・和田安弘(長岡技科大)

8. 疲労予測に基づく電動自転車のアシスト制御設計

○皆川広夢・西片宏一・木竜 徹(新潟大)

9. 新しい血管内視鏡法の開発に向けた3次元収束ビーム制御に関する基礎研究 ○後藤大清・日坂真樹(阪電通大)

10. スマートフォンを用いたPHR管理システムの構築

○堀内 学・南部雅幸(阪電通大)

◆日本生体医工学会;MEとバイオサイバネティクス研究会共催

☆MBE研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

11月16日(金),17日(土) 東北大[締切済] テーマ:  
BCI/BMIとその周辺,一般

12月12日(水) 豊橋技科大[10月15日(月)] テーマ:  
ME,一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

吉村奈津江(東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田町4259-J3-10

TEL [045] 924-5054, FAX [045] 924-5085

E-mail: [yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp](mailto:yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp)

## — 関西支部における開催 —

### ★MEとバイオサイバネティクス研究会(MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

日時 10月11日(木) 9:55~15:05

会場 大阪電気通信大学四條畷キャンパス7号館(四條畷市清滝1130-70。京阪本線:大和田駅下車,京阪バス「四條畷電通大行き」(約20分)。JR学研都市線:四條畷駅下車,近鉄バス「四條畷電通大行き」(約10分)。<http://www.osakac.ac.jp/institution/access.html> TEL [072] 876-5128(内線5188) 中村英夫)

議題 ME,一般

1. 呼吸訓練による心臓自律神経活動への影響の評価  
○齋藤宏志・吉田正樹・中村英夫(阪電通大)
2. 胸部X線画像の自動トリミング手法の提案と評価  
○井村誠孝(阪大)・田畑慶人・石垣陸太(京都医療科学大)・  
黒田嘉宏・大城 理(阪大)
3. 心身状態分類に基づいた情動ストレス刺激下での脳内部位間関連性と情報伝播解析 ○浅川徹也(兵庫県立大)・  
林 拓世(藍野大)・水野(松本)由子(兵庫県立大)
4. 視覚運動学習における2種類の回転変換に特異的な神経表象の検討 ○小川健二(ATR/学振)・今水 寛(ATR/NICT)
5. Continuous Estimation of Finger Joint Angles using Inputs from an EMG-to-Muscle Activation Model

告 18

### ★ネットワークシステム研究会(NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

日時 10月11日(木) 9:10~18:40

12日(金) 9:00~12:30

会場 京都大学宇治キャンパス(宇治市五ヶ庄。京阪宇治線:黄檗駅から徒歩6分。または、JR奈良線:黄檗駅から徒歩5分。<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/access.html> 新熊亮一)

議題 ネットワークアーキテクチャ(オーバーレイ, P2P, ユビキタスNW, スケールフリーNW, アクティブNW, NGN・新世代NW), 次世代パケットトランスポート(高速Ethernet, IP over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グリッド, 一般

11日午前(A会場)

1. [奨励講演] インترنتワーク誘導のためのコンテンツ/ロケーションマッピングに関する性能評価 ○川端弘樹・  
橋本憲祐・稲元 勉・高木由美・太田 能・  
玉置 久(神戸大)
2. ハイブリッド型Peer-to-Peerネットワークにおけるコンテンツ分割と異なるバージョン間の差分を用いた効率的なコンテンツ共有手法 ○林 利信・菅原真司・石橋 豊(名工大)

電子情報通信学会誌 Vol. 95, No. 10, 2012

3. A Many-to-One Content Aggregation Model for Highly Heterogeneous Environments

○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・  
Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

4. 攻撃・離脱に強い階層型 P2P ネットワークトポロジに関する一考察

○須藤克弥・西山大樹・加藤 寧 (東北大)・  
仲地孝之・藤井竜也・高原 厚 (NTT)

5. ネットワークサーバにおける応答時間改善手法に関する一検討

○金子雅志・福元 健・片山悦子 (NTT)

6. SIP Servlet クラスタにおけるダイアログ移動の実現方法

○入江道生・四七秀貴・柴田哲良・上田清志 (NTT)

11 日午後 ポスター講演 (B 会場) (12:50~)

7. 非構造型 Peer-to-Peer ネットワークにおけるコンテンツの転送履歴を用いた効率的な情報探索方式

○富松拓也・  
菅原真司・石橋 豊 (名工大)

8. ハイブリッド型 Peer-to-Peer ネットワークを用いたコンテンツ共有における効率的な一貫性の維持

○杉村一博・  
菅原真司・石橋 豊 (名工大)

9. IEEE 802.16j リレーネットワークにおけるボトルネック解消のためのタイムスロット追加手法の提案と評価

○北山智也・長谷川 剛・谷口義明・中野博隆 (阪大)

10. IEEE 802.16j リレーネットワークにおけるリンク集合選択指標に基づくタイムスロット割当手法

○高木祥一・  
長谷川 剛・谷口義明・中野博隆 (阪大)

技術開発講演 (A 会場)

11. 移動端末制御のためのスケラビリティのある OpenFlow システムの提案

○森田 弦・飯星貴裕・渡邊義和・  
狩野秀一 (NEC)

12. 仮想化技術の通信サービスへの適用

○村合正明・  
降矢龍浩・武智竜一 (富士通)

13. フローベース・通信サービスの可視化技術

○川口金司・  
大橋正彦・窪田好宏 (富士通)

14. Hadoop on Demand による複数 Hadoop クラスタ間でのデータ共有

○趙 晩熙・田中 聡・石井健司 (NTT ドコモ)

15. 多くの AP が近接する場合の通信品質評価

○熊谷菜津美 (お茶の水女子大)・村瀬 勉 (NEC)・  
小口正人 (お茶の水女子大)

招待講演 (A 会場)

16. [招待講演] ネットワークの仮想化 (SDN) 対応イーサネットファブリック

末永正彦 (日立電線)

17. [招待講演] OpenFlow/SDN のキャリアネットワークへの適用について

飯島明夫 (NEC)

18. [招待講演] OpenFlow を用いた SDN の動向

佐藤陽一 (NTT Com)

12 日 (A 会場)

1. IMS ネットワークにおける AS 輻輳制御方式の検討

○野副忠佑・宇多信行 (NTT)

2. IMS AS における分離型加入者 DB 導入に向けた一考察

○大柳浩之・宇多信行 (NTT)

3. マルチファイバ WDM ネットワークにおける四光波混合を考慮したライトパス設定

○平田孝志・村口正弘 (東京理科大)

4. パケットトランスポートによる高品質で公平なネットワークの提案

○星原隼人・坂本健一 (日立)・高橋達郎 (京大)

5. 将来ネットワークにおけるエッジ機能動的配置のための仮想マシン高速移動方式の提案

○望月このみ・山崎裕史・  
三澤 明 (NTT)

6. 非協力的な事業者間での WiFi/WiMAX 周波数共有に関する一検討

○竹本裕明 (奈良先端大)・河野圭太 (岡山大)・  
木下和彦・村上孝三 (阪大)

7. FiWi ネットワークにおける上りトラフィックの送信待ち時間に関する一考察

○鈴木健太・西山大樹・加藤 寧 (東北大)

8. An Extension of Wireless Internet-Access Mesh Network Simulator for Smart Antenna Use and Evaluations Using Simple Topologies

○Shigeto Tajima (Osaka Univ.)・  
Nobuo Funabiki (Okayama Univ.)・  
Teruo Higashino (Osaka Univ.)

◎11 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。会費は以下を予定しております。

3,000 円 (一般), 2,000 円 (学生)

☆NS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11 月 15 日 (木), 16 日 (金) 長浜バイオ大 [締切済] テーマ: ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測, ネットワーク仮想化, 一般

12 月 13 日 (木), 14 日 (金) 愛媛大 [10 月 11 日 (木)]

テーマ: モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・User-NetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

1 月 24 日 (木), 25 日 (金) 熊本大 [未定] テーマ: ネットワークソフトウェア (ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW

及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】 NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org  
武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は、NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂

幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修・前田 充

日時 10 月 12 日 (金) 13:00~17:25

会場 京都工芸繊維大学工織会館 (京都市左京区松ヶ崎、京都駅より市営地下鉄烏丸線: 国際会館行きに乗車 (約 18 分)「松ヶ崎駅」下車、徒歩約 8 分。 [http://www.kit.ac.jp/01/01\\_110000.html](http://www.kit.ac.jp/01/01_110000.html) TEL [075] 724-7482 森本一成)

議題 ヒューマンインタフェースと IMQ 一般

1. [特別講演] イメージメディアと感性検索 宝珍輝尚 (京都工織大)

2. カラー画像の主観的品質と SSIM の関係について ○泉 直孝・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏 (神戸大)

3. 画像品質が視覚誘発電位に及ぼす影響 ○砂原一輝・佐藤雅治・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)

4. 8 視点レンチキュラレンズ方式を用いた 3DCG 画像のある視

- 点に符号化劣化が生じた場合の画質評価 ○河畑則文・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)
5. [特別講演] 京都工芸繊維大学美術工芸資料館収蔵染織関連資料の画像DB化と化学分析から分かること  
○佐々木良子・佐々木 健 (京都工繊大)
6. 高精細な2次元画像によってもたらされる輻輳眼球運動と調節への効果 ○河内祐樹・佐野啓介・山田光穂 (東海大)
7. 画像解析による認知症患者のもの探し支援 ○伊藤弘樹・桑原教彰・森本一成 (京都工繊大)・赤澤圭亮 (関西電力)
8. Object Segmentation Using Graph Cuts Based Edges Features  
○Yuki Matumoto・Weiwei Du・Nobuyuki Nakamori (Kyoto Inst. of Tech.)

☆IMQ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月23日(金) 千葉大西千葉キャンパス [締切済] テーマ: 医用画像とIMQ一般

**[問合せ先]**

杉山賢二 (成蹊大)

E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp

◎IMQ 研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>) も御覧下さい。

**★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)**

専門委員長 佐々木重信 副委員長 眞田幸俊・前原文明  
幹事 小野文枝・藤井雅弘 幹事補佐 松波 勲・石橋功至

日時 10月26日(金) 10:30~16:30

会場 京都大学吉田キャンパス本部構内総合研究8号館(旧工学部8号館)3階Sホール(京都市左京区吉田本町。 [http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_y.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm))

議題 グリーンワイヤレス, 一般

1. A Study on OFDM Clipping and Filtering Method Employing SNDR-Based Transmit Power Control  
○Shoya Takebuchi・Fumiaki Maehara (Waseda Univ.)
2. OFDMを利用したセミブラインド干渉アラインメントの実現性に関する一検討  
○高井真人(静岡大)・石橋功至(電通大)・ウォンヨン シン(檀国大)・ヒョソク イ(ハルバド大)・和田忠浩(静岡大)
3. ホワイトスペース利用のためのOFDM信号の検出法に関する一検討  
○地子 彬・佐々木重信(新潟大)
- 午後
4. 円周上配置アレーアンテナを用いたOFDMシステムのための伝送路推定に関する一検討  
○藤井雅弘・渡辺 裕(宇都宮大)
5. OFDMのパイロット信号を活用した位置検出に関する一検討  
○松山智彦(阪大)・東野武史(奈良先端大)・塚本勝俊(阪工大)・小牧省三(マレーシア工大)
6. 交差点環境における走行車両の状態推定 松波 勲(長崎大)
7. マルチユーザMIMO伝送に用いるキャリア周波数オフセット補償法に関する一検討  
○佐藤弘基・村田英一・吉田 進(京大)
8. マルチユーザMIMO伝送におけるユーザ選択手法に関する一検討  
○齋藤 俊・村田英一・吉田 進(京大)
9. [招待講演] 車載通信ネットワークの省線化への取り組み  
梅原大祐(京都工繊大)

☆WBS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月26日(月), 27日(火) 熊本大 [締切済] テーマ: 一般, ポスター講演

**[問合せ先]**

松波 勲(長崎大)

TEL & FAX [095] 819-2709

E-mail: matunami@nagasaki-u.ac.jp

**——中国支部における開催——**

**★コンピュータシステム研究会 (CPSY)**

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努  
幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

日時 10月12日(金) 9:00~18:10

会場 広島大学東広島キャンパス内広島大学学士会館レセプションホール(東広島市鏡山1-3-2. JR西条駅からバス20分, JR広島駅からバス75分。 [http://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo/p\\_3e2399.html](http://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo/p_3e2399.html) TEL [082] 424-5363 中野浩嗣)

議題 クラウド, ネットワーク及び一般

ハードウェア

1. An implementation of Hough Transform Using DSP blocks and block RAMs on the FPGA  
○Xin Zhou・Yasuaki Ito・Koji Nakano (Hiroshima Univ.)
2. SIMD型マトリックスプロセッサを用いた Haar 特徴ベースオブジェクト検出  
○大森睦己・小出哲士・平本寛和(広島大)
3. 大腸 NBI 拡大内視鏡画像診断支援システムにおける特徴量抽出部のハードウェア設計  
○三島 翼・重見 悟・小出哲士・玉木 徹・Raytchev Bisser・金田和文・小南陽子・宮木理恵・松尾泰治・吉田成人・田中信治(広島大)
4. 大腸 NBI 拡大内視鏡画像診断支援システムにおけるタイプ識別部のハードウェア設計  
○重見 悟・三島 翼・小出哲士・玉木 徹・Raytchev Bisser・金田和文・小南陽子・宮木理恵・松尾泰治・吉田成人・田中信治(広島大)

GPU・マルチコア

5. A GPU Implementation of Conflict-Free Offline Permutation  
○Akihiko Kasagi・Koji Nakano・Yasuaki Ito (Hiroshima Univ.)
6. An Efficient Implementation of Ant Colony Optimization for the Traveling Salesman Problem on the GPU  
○Akihiro Uchida・Yasuaki Ito・Koji Nakano (Hiroshima Univ.)
7. OpenCV と GPU を対象としたラインタイムバイナリアクセラレーションの試作と評価  
○宮島敬明(慶大)・デビッド トーマス(インペリアル)・天野英晴(慶大)
8. マルチコア上での再帰プログラムの階層統合型粗粒度タスク並列処理  
○遠藤佑太・吉田明正(東邦大)

午後 パネル討論

9. [パネルディスカッション] 国産クラウドプラットフォームは世界で勝てるか?—BigData/Cyber Physical Systems を軸に—  
・事業戦略: 事業の狙いと, 現在/未来における応用例  
・世界展開: 世界で勝つための要件とは? (現状とその対策)

・技術革新：技術的な他社優位性と、今後の研究課題  
モデレータ：相原玲二（広島大）  
講演者：喜田弘司（NEC）・西川 徹（フワードインフラストラクチャー）・  
堀川桂太郎（NTT）・三木良雄（日立）・  
吉田 浩（富士通）

#### ソフトウェア最適化

10. Java 階層統合型粗粒度タスク並列処理のための共有データ管理手法 ○越智佑樹・吉田明正（東邦大）
11. PrefixSpan 法の MapReduce 実装の改良  
中田秀基（産総研）・井上辰彦（産総研／創夢）・  
○小川宏高・工藤知宏（産総研）
12. 確率推論の事前計算化に関する検討 川島英之（筑波大）
- メモリ・ストレージ
13. グラフ解析ワークロードのキャッシュ適合性  
○田邊 昇（東芝）・富森苑子・高田雅美・  
城 和貴（奈良女子大）
14. Flash SSD における記憶管理方式の評価 ○高下巧磨・  
北村俊明（広島市大）
15. ディスクエリアネットワークを用いたフラッシュストレージ  
の性能改善手法の検討 ○小野貴継・谷本輝夫・  
三吉貴史・堀江健志（富士通研）

#### クラウド

16. VM 環境における省電力化の検討 ○土肥実久・  
福井恵右（富士通研）
17. クラウドデータセンターにおける VM ワークロードの周期性  
を利用したオーバーコミット VM 配置設計  
○山島弘之・吉田武俊・繁田聡一・福井恵右（富士通研）

◎研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。  
☆CPSY 研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日  
11月26日（月）～28日（水） 九大百年講堂〔締切済〕 テー  
マ：デザインガイア 2012—VLSI 設計の新しい大地—

#### 【問合先】

安里 彰（富士通）  
TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214  
E-mail: asato@jp.fujitsu.com

### ★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂  
幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

日時 10月25日（木） 14:30～18:05  
26日（金） 9:00～11:45

会場 海峡メッセ下関（下関市豊前田町 3-3-1. JR 下関駅から  
徒歩 7 分。http://www.kaikyomesse.jp/access.html TEL  
[083] 231-5600）

#### 議題

##### 25 日

1. 正弦波状ひずみ分布によるブリルアンゲインスペクトルの変形  
○早瀬義喜・成瀬 央（三重大）
2. パッシブ光アクセス網におけるポンプ光反射器を用いたラマン  
増幅の検討 加島宜雄（芝浦工大）
3. 高い集光特性を有し樹脂中でも動作するフェルル化レンズ  
ドファイバ ○鈴木雅皓・堀内 勝・依田秀彦・  
白石和男（宇都宮大）
4. オールソリッドフォトバンドギャップファイバのラージモー

第一種研究会開催案内

ドエリア化に関する検討 ○齊藤翔太・千葉将貴・  
齊藤晋聖・小柴正則（北大）・柏木正浩・松尾昌一郎（フジラ）

5. トレンチ型マルチコアファイバの伝送特性  
○張 ロウ・大橋正治・三好悠司（阪府大）
6. マルチコアファイバとファンアウトのコネクタ接続  
○島川 修・佐野知巳・井上 享（住友電工）
7. “3M” を同時に実現する大 Aeff 7 コア 2 モードファイバ  
武笠和則・今村勝徳・○安田正隆・杉崎隆一・  
八木 健（古河電工）
8. ファイバケーブルを用いた 2 モード多重伝送  
○半澤信智（NTT）・齊藤晋聖（北大）・坂本泰志・  
松井 隆・富田 茂（NTT）・小柴正則（北大）

##### 26 日

1. ローカル光入出力技術を用いた光線路二重化の基本検討  
○本田奈月・廣田栄伸・真保 誠・川野友裕・真鍋哲也・  
東 裕司（NTT）
2. 光スイッチによるサービス無瞬断代替技術の検討  
○納戸一貴・井上雅晶・本田奈月・片山和典・真鍋哲也・  
東 裕司（NTT）
3. パルス光ブリルアン利得解析による 32 分岐スプリット下部個  
別損失分布測定法 ○高橋 央・ファン シンユウ・  
伊藤文彦（NTT）
4. 可視光の高次モードを用いた低曲げ損失光ファイバの心線対  
照技術 ○馬 麟・辻川恭三・青笹真一・東 裕司（NTT）
5. 既設集合住宅へフレキシブルに対応可能な光配線技術  
○井田政裕・倉本圭太・南 隼人・清水智弥・大堂淳司・  
青柳雄二・高見沢和俊（NTT）
6. 間欠接着型光ファイバテープを用いた超細径高密度光ケーブ  
ルの開発 ○田邊賢吾・金子貴皇・吉原龍夫・野呂 互・  
瀬戸昭博・清武耕三（昭和電線ケーブルシステム）

◎25日の研究会終了後、懇親会を予定しています。

☆OFT 研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

11月21日（水）、22日（木） 市民会館崇城大学ホール〔締切  
済〕 テーマ：光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛  
星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム,  
イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コー  
ド, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファ  
イバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備,  
家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光  
ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有  
効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション  
技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファ  
イバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・  
可視光伝送, 一般  
1月24日（木）、25日（金） 淡路島〔11月2日（金）〕 テー  
マ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

#### 【問合先】

今村勝徳（古河電工）  
TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340  
E-mail: imamura.katsunori@furukawa.co.jp

## ★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 佐藤嘉伸 副委員長 清水昭伸・森 健策  
幹事 河田佳樹・菅 幹生 幹事補佐 原口 亮・北坂孝幸

日時 10月29日(月) 9:15~15:45

会場 山口大学工学部D講義棟(宇部市常盤台2-16-1, 宇部空港からタクシーで15分, 新幹線新山口駅からタクシーで30分. <http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/10info/access.html>  
TEL [0836] 85-9512 (知識情報処理学研究室), TEL [0836] 85-9500 (知能情報工学科事務室) 木戸尚治)

議題 生体医工学と医用画像処理, 医用画像一般

医用画像一般

1. A study to Classify benign and malignant musculoskeletal tumors on PET images by textural features ○Rui Xu・Yasushi Hirano (Yamaguchi Univ.)・Rie Tachibana (Oshima Nat. Col. of Maritime Tech.)・Shoji Kido (Yamaguchi Univ.)・Kazuyoshi Suga (St. Hill Hosp.)
2. COPD 診断のための気管支壁厚測定の精度評価に関する検討 ○川瀬悠介・徐 睿・平野 靖・木戸尚治(山口大)
3. Free From Deformation による3次元非剛体変形を用いた胸部 MDCT 画像の経時差分法 ○時佐拓弥・前田真也・金 亨燮・タン ジュークイ・石川聖二(九工大)・村上誠一(九工大/産業医科大)・青木隆敏(産業医科大)・平野 靖・木戸尚治(山口大)・橋 理恵(大島商船高専)
4. 4次元CT画像を用いた呼吸動態の解析 ○中尾俊哉・鈴木秀宣・野間和夫・河田佳樹・仁木 登(徳島大)・宮崎正義(阪府成人病センター)・中野恭幸(滋賀医科大)
5. 余剰時間画像を利用した冠動脈CT画像のノイズ低減手法 ○檜垣 徹・立神史稔・粟井和夫(広島大)
6. A Computer-aided Diagnosis Method for Classification of Pneumoconiosis Patterns on HRCT Images ○Wei Zhao・Rui Xu・Yasushi Hirano (Yamaguchi Univ.)・Rie Tachibana (Oshima Nat. Col. of Maritime Tech.)・Shoji Kido (Yamaguchi Univ.)・Narufumi Sukanuma (Kochi Univ.)
7. Transductive Support Vector Machine を用いたびまん性肺疾患画像の認識 ○早川友梨・庄野 逸(電通大)・木戸尚治(山口大)
8. CUDA のための並列画像処理プログラム作成支援環境を用いた肺血管抽出手法の高速化 ○秋山亮太・徐 睿・平野 靖・木戸尚治(山口大)

特別講演

9. [特別講演] 320列面検出器CTの進化 猪川弘康(東芝メディカルシステムズ)

午後 特別講演(13:30~)

10. [特別講演] 医用画像に基づく骨関節3次元動態計測技術と臨床展開 ○山崎隆治・佐藤嘉伸・菅本一臣・吉川秀樹(阪大)・田村進一(NBL研)

テーマセッション「生体医工学と医用画像処理」

11. 2D/3D レジストレーションによる人工膝関節の動態解析自動化を目的とした動作モデルの利用 ○亀井亮吾(立命館大)・山崎隆治・福田紀生・岡田俊之・菅本一臣・吉川秀樹(阪大)・陳 延偉(立命館大)・富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)
12. 二肢強制選択法によるステレオシンチグラムにおける集積位

置の距離弁別能の測定 ○原 武史・山崎雄章(岐阜大)・片渕哲朗(岐阜医療大)・小林龍徳(純真学園大)・松迫正樹(聖路加国際病院)・村松千左子・周 向榮・藤田広志(岐阜大)

13. A Study of Automatic Fetal Face and Mouth Detection From 3D Ultrasound Images for Navigating FETO Surgeries ○Rong Xu・Jun Ohya・Bo Zhang (Waseda Univ.)・Yoshinobu Sato (Osaka Univ.)・Masakatsu G. Fujie (Waseda Univ.)
14. 兎の耳の濃淡画像からの血管構造抽出の検討 ○鷺海祐希・永山勝也(九工大)
15. 毛細血管に対する2波長分光分析を用いた網膜領域酸素飽和度の計測 ○吉永幸靖・中村大輔・岡田龍雄・江内田 寛・石橋達朗(九大)

◆特別講演ならびにテーマセッションは日本生体医工学会; 中国・四国地方会共催

◎16:00~17:30に日本生体医工学会の講演があります。

◎研究会終了後(17:30), 懇親会を予定していますので御参加下さい。

【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸(愛知工大情報科学部)

TEL [0565] 48-8121 (内線2423), FAX [0565] 48-0509

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

——九州支部における開催——

## ★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

日時 10月4日(木) 10:20~18:10

5日(金) 10:00~17:00

会場 九州工業大学大学院生命体工学研究科(北九州市若松区ひびきの2-4, 北九州学術研究都市, JR折尾駅西口から学研都市行きバス, 20分, 「学研都市ひびきの」下車. [http://www.lsse.kyutech.ac.jp/lsse\\_j/access/](http://www.lsse.kyutech.ac.jp/lsse_j/access/) TEL [093] 695-6159 我妻広明)

議題 ニューロコンピューティングの実装及び人間科学のための解析・モデル化, 一般

4日午前

1. 形状特徴による画像中の人物検出における特徴量の正規化手法の検討 ○岩元翔平・花沢明俊(九工大)
2. 深度画像を用いた高齢者の危険行動検知 ○立場将太・花沢明俊(九工大)
3. 局所的色相関分布に対する勾配方向ヒストグラムによる人物検出 ○松村 遼・花沢明俊(九工大)
4. 頭部領域の動き情報の相関を用いた非言語コミュニケーションの定量評価 ○瓜生幸太郎・花沢明俊(九工大)

4日午後 招待講演(13:10~)

5. [招待講演] 神経振動子によるロボットの運動制御 松岡清利(九工大)
6. ファン・デル・ポール振動子を用いた車両周回軌道生成にお

- ける理論値—実機計測の比較 ○小野耕輔・我妻広明 (九工大)
7. 神経振動子を用いた視運動性反応制御モデル  
○瀬戸口聖也 (九工大)・三浦健一郎 (京大)・花沢明俊 (九工大)
8. 認知症老人の笑顔画像計測による情動機能回復評価  
○花沢明俊 (九工大)・中村克樹 (京大)
9. 相関構造を持つ記憶パターンを学習した連想記憶モデル—記憶パターンを平面上に配置した場合— ○佐保雄太・木本智幸 (大分高専)
10. 積多様体による形状空間表現法—高階 SOM による実装—  
○薬師寺 翔・古川徹生 (九工大)
11. テンソル分解型自己組織化マップの応用—欠損データ補完方法の提案— ○岩崎 亘・古川徹生 (九工大)
12. グラフ距離に基づく自己組織化マップの高階化によるジェスチャ識別の改善 ○藤田典宏・堀尾恵一 (九工大)
13. 仮想磁場漸弱法の組み合わせ最適化問題への適用—分業を自律的に決定する仕組みの構築を目指して—  
○和久屋 寛・井上太一・伊藤秀昭・福本尚生・古川達也 (佐賀大)

#### 5 日午前

1. 長期抑圧の調節によるリカレントネットワークに生じる距離に依存する結合強度分布と指向性興奮伝播への影響  
○佐村俊和・杉崎えり子・酒井 裕 (玉川大)・林 初男 (九工大)・相原 威 (玉川大)
2. ヒトの「飽き」と脳波コヒーレンスとの関係  
○片山冬馬・夏目季代久 (九工大)
3. 動的バイナリニューラルネットの学習と応用  
○上月良太・中山雄太・斎藤利通 (法政大)
4. 複数解探索のための粒子群最適化アルゴリズムにおける鈍感さの衝突の効果 ○丸山一紀・斎藤利通 (法政大)

#### 5 日午後 (13:10~)

5. マルチエージェント学習に基づくモバイルアドホックネットワークにおけるルーティングアルゴリズム ○藤城 透・中野秀洋・宮内 新 (東京都市大)
6. 局所情報をもつスパイキングニューラルネットワークを用いた無線センサネットワークにおける情報収集機構  
○藤田一輝・中野秀洋・宮内 新 (東京都市大)
7. Coarse to Fine 構造を持つ曲率情報表現を用いた形状認識手法 ○松田雄馬・小川雅嗣 (NEC)・矢野雅文 (東北大)
8. テオ・ヤンセン機構におけるヤコビ行列を用いた変位解析に関する研究 ○古茂田和馬・我妻広明 (九工大)
9. 実時間ロボティクスに向けた物体認識エッジ検出とその計算負荷軽減についての検討 ○朝長陽介・我妻広明 (九工大)
10. LSI 実装に向けたパルス結合位相振動子系に基づくスパイクベース演算 ○松坂建治・田中秀樹・大久保 悟・東原 敬・森江 隆 (九工大)
11. CUDA-SOM による文字認識の高速化 ○川上真司・亀井圭史 (西日本工大)
12. 位相縮約に基づくシリコンニューロンのダイナミカルシステムデザイン ○中田一紀 (九大)・三浦佳二 (東北大)・浅井哲也 (北大)

◆日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

◎4日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆NC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月16日(金),17日(土) 東北大[締切済] テーマ: BCI/BMIとその周辺,一般

12月12日(水) 豊橋技科大[10月15日(月)] テーマ: ME,一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ】

古川徹生 (九工大)

E-mail: [furukawa@brain.kyutech.ac.jp](mailto:furukawa@brain.kyutech.ac.jp)

### ★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 安西祐一郎 副委員長 萩田紀博・土井美和子  
幹事 今井倫太・宮下敬宏  
幹事補佐 富田仁志・杉山博史・中尾敏康

日時 10月11日(木) 14:00~18:00

12日(金) 9:30~12:10

会場 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス(国頭郡恩納村 字恩納7542(旧白雲荘),那覇空港からリムジンバスで90分。  
<http://www.oist.jp/ja/> アクセスマップ #seaside 内部英二)

議題 ビッグデータで変わる環境知能とロボット,及びその他一般  
11日

1. [招待講演] 未定 講演者調整中
2. インタラクション機能を持つ掃除ロボットを用いた人とロボットの協調作業 ○高砂雄介・神原誠之(奈良先端大)・萩田紀博(奈良先端大/ATR)
3. マイクロプログを用いたユビキタスデバイス連携基盤に関する一検討 大村 廉(豊橋技科大)
4. 家電のロボット化とインタラクション設計  
○渡邊恵太(JST)・稲見昌彦(慶大)・五十嵐健夫(東大)
5. 移動ロボットと環境カメラを組み合わせた実世界インタラクションの演出とコンテンツ化 ○角 康之・松村耕平(公立はこだて未来大)
6. Hakoniwa: ミニチュアモデルを用いた実仮想空間の相互強化  
○松村耕平・角 康之(公立はこだて未来大)
7. 人物行動解析のための複数 Kinect を用いた広域三次元計測システム ○中澤 満・満上育久(阪大)・波部 斉(近畿大)・山添大丈・八木康史(阪大)

#### 12日

1. 高齢者の発話機会の増加のためのソーシャルメディア仲介ロボット ○高橋 達・神原誠之(奈良先端大)・萩田紀博(奈良先端大/ATR)
2. 大量チャットデータに基づく人間らしい対話アンドロイドの実現 ○西尾聡朗・吉川雄一郎・中村 泰(阪大)・石黒 浩(阪大/ATR)・Rollo Carpenter
3. ROS (Robot Operating System) を用いた音楽合奏ロボットシステムの構築 ○糸原達彦・奥乃 博(京大)
4. RSNP への高信頼メッセージングの適用 村川賢彦(富士通研)
5. RSNP を利用した非常時サービス実現の試み  
○鈴木昭二・仲尾裕樹(公立はこだて未来大)

◆日本ロボット学会; ネットワークを利用したロボットサービスとサービスロボット研究専門委員会共催

◎11日研究会終了後,懇親会を予定していますので,是非御参加下さい。

## ★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一  
幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス  
幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

## ★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井威生  
幹事 有吉正行・亀田 卓  
幹事補佐 田久 修・石津健太郎・矢野一人

## ★アドホックネットワーク研究会 (AN)

専門委員長 松井 進 副委員長 渡辺 尚・村田英一  
幹事 山野 悟・山本高至 幹事補佐 大和田泰伯・門田和也

## ★ユビキタス・センサネットワーク研究会 (USN)

専門委員長 佐藤良明 副委員長 大槻知明・上原秀幸  
幹事 荒川 豊・中澤 仁 幹事補佐 内田大誠・猿渡俊介

## ★高信頼制御通信研究会 (RRRC) (第二種研究会)

専門委員長 片山正昭 副委員長 原 晋介・三浦 龍  
幹事 阪口 啓・林 和則 幹事補佐 杉本千佳・小林健太郎

◎本研究会は RCS 研究会と SR 研究会, AN 研究会, USN 研究会, RRRC 研究会 (第二種) の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 10月17日(水) 9:00~18:10  
18日(木) 9:00~18:00  
19日(金) 9:00~17:35

会場 福岡大学文系センター棟11階(福岡市城南区七隈8-19-1。福岡市地下鉄:福大前駅(1番出口)または西鉄バス福大正門前・福大薬学部前。http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/ TEL [092] 871-6631 (会場) 太郎丸 真(福岡大))

議題 無線分散ネットワーク, 一般

17日午前 RCS1 (第5会議室) (9:00~10:15)

RCS-1. 移動通信環境における物理層秘匿性を有するカオス MIMO-OFDM 方式の検討 岡本英二(名工大)

RCS-2. 大規模 MIMO 信号検出に関する検討—概念と誤り率特性—  
○福田 航・安孫子卓史・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝(北大)・大渡裕介・岸山祥久(NTTドコモ)

RCS-3. 大規模 MIMO 信号検出に関する検討—繰り返し処理に関する EXIT 解析—  
○安孫子卓史・福田 航・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝(北大)・大渡裕介・岸山祥久(NTTドコモ)

RCS2 (第5会議室) (10:25~12:05)

RCS-4. MIMO-OFDM テストベッドにおける分散パイロットを用いた演算量削減型時間・周波数伝送路推定法の性能評価  
○村 淳太郎・大橋章範・西本 浩・岡崎彰浩・石津文雄(三菱電機)

RCS-5. LTE-Advanced ヘテロロジーニアネットワークにおける Cell Range Expansion を適用したときの上下リンクスループット特性評価  
○森本彰人・三木信彦・奥村幸彦(NTTドコモ)

RCS-6. 高密度スモールセル環境における階層型同期チャネルを用いたセルサーチ法のセル認識性能評価  
○原田浩樹・森本彰人・大渡裕介・永田 聡(NTTドコモ)

石井啓之(ドコモイノベーションズ)・奥村幸彦(NTTドコモ)

RCS-7. LTE/LTE-Advanced 下りリンク L1/L2 制御チャネルにおけるセル間干渉キャンセラの検討  
○宮下真行・三上 学・吉野 仁(ソフトバンクモバイル)

17日午前 SR1 (第6会議室) (9:00~10:15)

SR-8. 屋内環境における非連続サンプルフレームを用いたオーバーラップ FFT による信号検出特性  
○内田翔也・佐藤顕裕・稲森真美子・眞田幸俊(慶大)・Mohammad Ghavami(ロンドンサウスバンク大)

SR-9. 一次信号の中継を伴う重畳周波数共用における通信路容量  
○長縄 潤・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭(名大)

SR-10. 日本における TV ホワイトスペースの見積もり  
○石津健太郎・村上 誉・原田博司(NICT)

SR2 (第6会議室) (10:25~12:05)

SR-11. Dynamic behavior of the IEEE 802.19.1 white space coexistence system in the heterogeneous environment  
○Stanislav Filin・Hiroshi Harada(NICT)

SR-12. Throughput analysis of the IEEE 802.19.1 white space coexistence system in the heterogeneous environment  
○Stanislav Filin・Hiroshi Harada(NICT)

SR-13. Distributed sensing system for TVWS—Part 1: System design and performance of each sensor—  
○Ha-Nguyen Tran・Yohannes D. Alemseged・Hiroshi Harada(NICT)

SR-14. Distributed sensing system for TVWS—Part 2: Performance of different cooperative sensing algorithms—  
Yohannes D. Alemseged・○Ha-Nguyen Tran・Hiroshi Harada(NICT)

SR-15. Study of Designing Path Metrics for Wireless and Wired Networks  
○Chen Zuan・Tan Yasuo・Lim Azman Osman(JAIST)

SR-16. アドホックネットワークにおける通信状態を考慮したルーティング手法の提案  
○三嶋勇太・旭 健作・鈴木秀和・渡邊 晃(名城大)

SR-17. 非常時用アドホックネットワークにおける輻輳問題と消費電力を考慮したルーティングに関する検討  
○古賀雄一郎・杉本千佳・河野隆二(横浜国大)

SR3: Workshop on QoS & Mobility in Cognitive Communications (第5会議室) (13:05~14:45)

SR-18. QoS Overview and Scenarios Michael Fitch・○Richard MacKenzie(BT)・Per Hjalmar Lehne(Telenor)

SR-19. QoS System Architecture and Reference Model  
Ulrico Celentano(Univ. of Oulu)

SR-20. Improved CR Spectrum Sensing Performance with Lower ACLR GFDM Signals  
○Rohit Datta・Gerhard Fettweis(TU Dresden)

SR-21. Novel multicarrier modulation for cognitive radio systems  
○Zsolt Kollar・Janos Bito・Lajos Varga・Peter Horvath(BME)

SR4: Workshop on QoS & Mobility in Cognitive Communications (第5会議室) (14:55~16:35)

SR-22. Mobile exploitation of TVWS  
Laszlo Csurgai Horvath・○Janos Bito(BME)

SR-23. Distributed Self-Learning SON Spectrum Management  
Ingo Karla(Alcatel-Lucent)



SR-24. Multi-Antenna LTE detection for Dynamic Spectrum Access: A Proof of Concept

○Nicola Michailow (TU Dresden)・  
David Depierre (THALES)・  
Gerhard Fettweis (TU Dresden)

SR-25. T-Flex: A mobile SDR platform for TVWS flexible operation  
○Dominique Noguet・Vincent Berg (CEA)・  
Mario Schuler・Mengistu Tessema (Fraunhofer IIS)

**特集セッション：無線分散ネットワーク1 (第5会議室)**  
(16:45~18:10)

共通-26. A Fundamental Study of Prolonging the Network Lifetime with Route Switching in Energy Constrained Mesh Networks  
○Rui Teng・HuanBang Li・Ryu Miura (NICT)

共通-27. Experiments and Analysis of the Multi-hop Data Deliver Performance in Real Road Environments by Using IEEE 802.11 Wireless LAN  
○Jing Gao・  
Kenichi Mase (Niigata Univ.)

共通-28. [招待講演] スマートセル向け無線バックホール技術の実用化  
古川 浩 (九大)

**18日午前 特集セッション：無線分散ネットワーク2 (第5会議室)**  
(9:00~11:05)

共通-1. 電気自動車と電気ヘリコプターが連携する災害地モニタリング・システムの提案  
○斎藤卓也・間瀬憲一 (新潟大)

共通-2. 衛星/地上共用携帯電話システムにおける干渉電力を考慮した重み付け手法によるスループット特性評価  
○田中皓久・岡本英二 (名工大)・辻 宏之・  
藤野義之 (NICT)

共通-3. 分散MIMOシステムにおけるシャドウイングの空間相関を考慮したチャネル容量に関する一検討  
○趙 欧・村田英一・吉田 進 (京大)

共通-4. LTE-Advanced上りCoMPにおける干渉抑圧合成受信器の性能評価  
○岩井 敬 (パナソニックモバイル開発研)・  
武田一樹・西尾昭彦 (パナソニック)・松元淳志・  
二木貞樹 (パナソニックモバイル開発研)

共通-5. IEEE 802.15.4g/4e 準拠 SUN 無線機を用いるスマートメータネットワークの検討と実証  
○児島史秀・  
原田博司 (NICT)

**特集セッション：無線分散ネットワーク3 (第5会議室)**  
(11:15~12:25)

RRRC-6. [招待講演] 高信頼制御通信研究の学術的・産業的意義  
片山正昭 (名大)

共通-7. [招待講演] センサネットワーク向けIPv6ネットワーク技術の最新動向  
佐藤弘起 (日立)

**18日午後 特集セッション：無線分散ネットワーク4 (第5会議室)**  
(13:25~15:05)

RRRC-8. 無線センサネットワークにおける分散型時刻同期  
○門脇有希・石井秀明 (東工大)

RRRC-9. ホームゲートウェイを活用した分散型電力制御ネットワーク  
○グエン ヴァンキー (東工大)・  
九鬼祐介 (阪大)・ユ タオ・タン ザカン・  
荒木純道 (東工大)・阪口 啓・三瓶政一 (阪大)

RRRC-10. マルチホップ無線LANにおける伝送遅延抑圧について  
○宮下充史 (電中研)・高田潤一 (東工大)

共通-11. A Study on Full-Duplex Multi-Relay Multiuser MIMO System Based on Zero-Forcing  
○Tetsuki Taniguchi・  
Yoshio Karasawa (Univ. of Electro-Comm.)

**18日午後 特集セッション：無線分散ネットワーク5 (第5会議室)**  
(15:15~16:40)

共通-12. 公正なQoE充足を実現する動的マルチレイヤ制御型自律分散無線システムのコンセプト提案  
○宇野雅博・  
矢野一人・宮坂朋宏・大島浩嗣 (ATR)・山本剛史・  
田中義三・岡田洋侍 (住友電工)・小林 聖 (ATR)

共通-13. フィードフォワード型歪補償によるバンドパス $\Delta\Sigma$ 変調器の開発  
○前島 貴・戸谷一幸 (住友電工)・  
亀田 卓・末松憲治 (東北大)

共通-14. [招待講演] LTE-Advancedの標準化状況及びbeyond LTE-Advancedへの動向  
鹿倉義一 (NEC)

**特集セッション：無線分散ネットワーク6 (第5会議室)**  
(16:50~18:00)

共通-15. [招待講演] Applications of Compressed Sensing in Wireless Communication Systems  
Doohwan Lee (Univ. of Tokyo)

共通-16. [特別招待講演] 無線通信技術の発展とアマチュア無線—これまでの技術的貢献の歴史と今後の役割—  
太郎丸 真 (福岡大)

**19日午前 SR5 (第5会議室)**  
(9:00~10:15)

SR-1. 周波数共用における干渉電力制限の評価指標が与えるスケジューリングへの影響評価  
○稲毛 契・  
藤井威生 (電通大)

SR-2. トラフィッククロス環境における周波数共用のための干渉予測を用いた効率的リソース割り当て手法の検討  
○加固秀太 (電通大)・田久 修 (信州大)・  
藤井威生 (電通大)

SR-3. リアルタイム無線制御ネットワークの実現に向けたブリアンブルレスOFDM通信システムのUSRPを用いた実装評価  
○奥井寛樹・鈴木 誠・李 斗煥・森川博之 (東大)

**RCS3 (第5会議室)**  
(10:25~12:05)

RCS-4. OFDMAの周波数選択性フェージングチャネルにおける符号化ブロックサイズ及び周波数ダイバーシチのブロック誤り率への影響の検討  
○山口達也 (東京都市大)・  
三木信彦・川村輝雄 (NTTドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-5. DFT-Precoded OFDMAにおける繰り返し判定帰還チャネル推定を用いたときのLocalized送信とDistributed送信の特性比較  
○美和啓太 (東京都市大)・川村輝雄・  
三木信彦 (NTTドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-6. DFT-Precoded OFDMAにおける周波数領域等化器を用いたときの32APSKの平均ブロック誤り率特性  
○森 千尋 (東京都市大)・川村輝雄・三木信彦 (NTTドコモ)・  
佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-7. DFT-Precoded OFDMAにおける選択ダイバーシチを用いる4アンテナの開ループ型送信ダイバーシチの特性比較  
○中山直也 (東京都市大)・川村輝雄 (NTTドコモ)・  
田岡秀和 (ドコモ欧州研)・佐和橋 衛 (東京都市大)

**19日午前 AN/USN2 (第6会議室)**  
(9:00~10:15)

USN-8. 二次元通信システムにおけるシャドウイングを考慮した給電方式の検討  
○門 洋一・松田隆志・張 兵・  
三浦 龍 (NICT)

USN-9. 二次元通信システムにおける電極アレイを用いた位置推定方式のロバスト性の評価  
○松田隆志・門 洋一・  
張 兵・三浦 龍 (NICT)

USN-10. 二次元通信システムにおける定在波を考慮した入力点選択型給電方式の検討  
○手嶋宏介 (神戸大)・

- 松田隆志・張 兵 (NICT)・稲本 勉・高木由美・太田 能・玉置 久 (神戸大)
- AN/USN3 (第6会議室) (10:25~12:05)
- USN-11. パッシブ型 RFID タグ位置推定のための再検知型通信境界法の提案 ○藤本まなと・稲田充希・和田友孝 (関西大)・六浦光一 (信州大)・岡田博美 (関西大)
- AN-12. Performance Evaluation of a Hybrid RSS-SOM Localization Algorithm for Wireless Ad-Hoc Networks ○Nyein Aye Maung Maung・Makoto Kawai (Ritsumeikan Univ.)
- USN-13. 半導体赤外線センサを用いた人間の動線トラッキングシステム構成法の研究 ○河内山和則・川島 信 (中部大)・永瀬和宏 (旭化成エレクトロニクス)
- USN-14. WSN 端末を用いた船舶衝突警報システムの提案 ○岡村俊亮・椋本介士・和田忠浩 (静岡大)
- 19 日午後 RCS4 (第5会議室) (13:05~13:55)
- RCS-15. チャネル棲み分けに基づく動的チャネル配置を用いた無線 LAN における送信電力制御の効果に関する一検討 ○松村祐輝・天間克宏・小原辰徳・山本哲矢 (東北大)・石原浩一・ヒランタ アペーセーカラ・熊谷智明 (NTT)・安達文幸 (東北大)
- RCS-16. Radio-On-Demand WLAN 用 Wake-up 受信機に対する Duty-Cycling の影響に関する一検討 ○木村貴寿・長谷川晃朗 (ATR)・四方博之 (関西大)・湯 素華 (ATR)・伊藤哲也 (NEC 通信システム)・大橋正良 (ATR)
- RCS5 (第5会議室) (14:05~15:45)
- RCS-17. 既知のトレーニング系列を挿入したシングルキャリアブロック伝送における RLS アルゴリズムを用いるチャネル推定 ○山本哲矢・安達文幸 (東北大)
- RCS-18. マルチキャリア重畳伝送における残留電力に基づく未知干渉波検出法 ○林 玄史・大槻知明 (慶大)・増野 淳・杉山隆利 (NTT)
- RCS-19. A Fuzzy Q-Learning Based Sensing Policy for Cognitive Radio Systems ○Fereidoun H. Panahi・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)
- RCS-20. On Improvement of the ICI Canceller for OFDM Mobile DTV Receiver ○Tran Minh Hai・Tomohisa Wada (Univ. of Ryukyus)
- RCS6 (第5会議室) (15:55~17:35)
- RCS-21. 拡散符号に M 系列を用いた狭帯域化 DS-CDMA 伝送の一検討 ○大山修毅・太郎丸 真 (福岡大)
- RCS-22. 空間フィルタリング重みが vector perturbation を用いたマルチユーザ MIMO 伝送の性能に与える影響 ○矢野一人・藪部聡司・侯 亜飛・塚本悟司・宇野雅博・小林 聖 (ATR)
- RCS-23. Precoding Weight Interpolation Method to Mitigate Spectrum Efficiency Loss of Vector Perturbation Based Multiuser MIMO with limited CSI feedback ○Yafei HOU・Satoshi Sonobe・Satoshi Tsukamoto・Kazuto Yano・Masahiro Uno・Kiyoshi Kobayashi (ATR)
- RCS-24. Improving the Secrecy Performance of Cooperative Networks via Adaptive Transmission and Multiuser Diversity ○Hao Niu・Masayuki Iwai・Kaoru Sezaki (Univ. of Tokyo)
- 19 日午後 SR6 (第6会議室) (13:05~13:55)
- SR-25. ホワイトスペースを用いた自律分散マルチホップ車車間通信システム (Part1) —チャネル選択手法— ○安藤圭佑・吉村 力・塚本和也・鶴 正人・尾家祐二 (九工大)・大竹賢明・北村優行・藤井威生 (電通大)・井原 隆・アルトゥンタシュ オヌル・クレモ ハリス・田中英明 (トヨタIT 開発センター)
- SR-26. ホワイトスペースを用いた自律分散マルチホップ車車間通信システム (Part2) —スペクトラムセンシング及びホップ間干渉低減— ○井原 隆・アルトゥンタシュ オヌル・クレモ ハリス・田中英明 (トヨタIT 開発センター)・安藤圭佑・吉村 力・塚本和也・鶴 正人・尾家祐二 (九工大)・大竹賢明・北村優行・藤井威生 (電通大)
- AN/USN4 (第6会議室) (14:05~15:45)
- USN-27. 音波を使った直感的操作による端末指定方式の提案と評価 ○西村康孝・吉原貴仁 (KDDI 研)
- USN-28. Lyapunov Stability Analysis for Intelligent Home Energy Management System ○Umer Saheer・Yasuo Tan・Lim Azman Osman (JAIST)
- USN-29. イベントによって変化する対人感情の基本次元に関する因子分析を用いた評価 ○吉田 学・今田美幸 (NTT)・廣瀬 慧 (阪大)・金 順暎・松尾真人 (NTT)
- USN-30. 構造方程式モデリングによる対人認知構造モデルの構築 ○廣瀬 慧 (阪大)・金 順暎 (NTT)・狩野 裕 (阪大)・吉田 学・今田美幸・松尾真人 (NTT)
- AN/USN5 (第6会議室) (15:55~17:35)
- USN-31. 不完全センサデータの重回帰における変数選択手法 ○倉沢 央・佐藤浩史・山本 淳・川崎仁史 (NTT)
- USN-32. Optimal Precoding Design and Power Allocation for Distributed Estimation of Correlated Data in WSN MIMO System ○Ajib S. Arifin・T. Ohtsuki (Keio Univ.)
- AN-33. アドホックネットワークにおけるストロングビジー tone の導入とその拡張方式の検討と評価 ○伊藤智洋・旭 健作・鈴木秀和・渡邊 晃 (名城大)
- AN-34. モバイルアドホックネットワークにおけるモビリティとデンシティを変化させるネットワークモデル ○松金宏樹・角田良明 (広島市大)
- RRRC1 (第7会議室) (14:05~16:10)
- RRRC-35. 無線フィードバック制御系の安定性を重要度の尺度とした知的誤り制御法の研究 ○二ツ木友彦・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)
- RRRC-36. 倒立振子を用いた無線フィードバック制御するための TDMA/CDMA ハイブリッドプロトコルの一検討 ○高橋良介・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)
- RRRC-37. 複数制御機器の協調動作のためのダイバーシチ利得による高信頼無線制御に関する研究 ○渡邊勇太・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)
- RRRC-38. マルチキャリア伝送による無線区間を設けた制御システムに関する一検討 ○後藤昂博・井家上哲史 (明大)
- RRRC-39. 複数機器制御における予測制御を用いた伝送情報量削減に関する一検討 ○水谷亮太・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)
- ◎18 日研究会終了後に懇親会を予定していますので是非御参加下さい。
- ☆RCS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日
- 11 月 15 日 (木), 16 日 (金) 東京電機大東京千住キャンパス [締切済] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般
- 12 月 13 日 (木), 14 日 (金) 愛媛大 [10 月 11 日 (木)]

テーマ：モバイル，アドホック，ユビキタス，無線，セキュリティ，マルチアクセス，アクセスネットワーク・User-NetworkInterface，Home ネットワーク，一般

1月31日(木)，2月1日(金) ビューポートくれ(呉) [11月8日(木)] テーマ：無線通信のための信号処理及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

森田基樹 (NEC)

E-mail : rcs\_ac-entry@mail.ieice.org

◎最新情報は RCS 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/rcs/jpn/>

☆SR 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木)，25日(金) 信州大 [11月10日(土)] テーマ：コグニティブ無線ネットワーク，クロスレイヤ技術 (国際ワークショップ)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

矢野一人 (ATR)

TEL [0774] 95-1578, FAX [0774] 95-1508

E-mail : yano@m.ieice.org

◎最新情報は SR 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

☆AN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木)，25日(金) 仙台市 [未定] テーマ：モバイルユビキタス/センサ技術，アドホックネットワーク，RFID，一般及び技術展示

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

大和田泰伯 (NICT)，門田和也 (日立)

E-mail : an-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は AN 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~an/>

☆USN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木)，25日(金) 仙台市 [未定] テーマ：モバイルユビキタス/センサ技術，アドホックネットワーク，RFID，一般及び技術展示

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

荒川 豊 (NTT)，中澤 仁 (慶大)

E-mail : usn-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は，USN 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~usn/index.html>

☆RRRC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月11日(金) 横浜国大みなとみらいサテライトラボ [10月15日(月)] テーマ：通信方式，アクセス方式，制御理論，ネットワーク制御，セキュリティ，遠隔制御，制御応用，システム紹介，その他制御通信に関する全てのトピックス

【問合先】

阪口 啓 (阪大)，林 和則 (京大)

E-mail : rrrc-sec@mail.ieice.org

◎最新情報は，RRRC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~rrrc/>

第一種研究会開催案内

## ★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏

幹事 馬渡宏泰・田村信幸

幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニクエフ

日時 10月19日(金) 13:30~16:40

会場 九州工業大学サテライトキャンパス kyutech プラザ (福岡市中央区天神 1-7-11 イムズ 11 階。 <http://www.kyutech.ac.jp/facilities/satellite-campus/> TEL [050] 3650-6665 廣瀬英雄)

議題

1. 中波放送用アイソレータの開発 若井一顕 (第一工大)
2. 鋼構造物の応力集中解析に関するケーススタディ  
○中村真理子・澤田 孝 (NTT)
3. 鋼管柱の劣化曲線に関する考察 ○外間正浩・澤田 孝 (NTT)
4. Seasonal Prediction of Climate in Malaysia using the Artificial Neural Networks ○Junaida Sulaiman・Hideo Hirose (Kyushu Inst. of Tech.)
5. SIR 確率微分方程式によるパンデミック感染拡大予測  
○牧 允皓・廣瀬英雄 (九工大)
6. 拡張蓄積疲労モデルにおけるシミュレーション  
○作村建紀・廣瀬英雄 (九工大)
7. 早期観測データによる故障パラメータの推定値に関する考察  
○河野 翼・廣瀬英雄 (九工大)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催，日本信頼性学会協賛

☆R 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月15日(木) 中央電気倶楽部 [締切済] テーマ：半導体と電子デバイスの信頼性，信頼性一般

12月14日(金) 機械振興会館 [10月17日(水)] テーマ：信頼性国際規格，保全性，信頼性一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

田村信幸 (法政大)

TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126

E-mail : tamura@hosei.ac.jp

## ★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司

幹事 平野 章・斎藤恒聡

## ★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁

幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

## ★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治

幹事 篠田和典・田中 有

日時 10月25日(木) 9:00~17:50

26日(金) 9:00~17:25

会場 ホテルメリージュ (宮崎市橘通東 3-1-11. 宮崎駅から徒歩約 10 分。 <http://www.merrieges.co.jp/access/>)

議題 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)

25 日午前

1. 擬位相整合によるファイバ OPA の利得平坦化  
○高坂繁弘・味村 裕・高橋正典・杉崎隆一・大越春喜 (古河電工)
2. Pulsethwidth Tunable and Polarization-Insensitive NRZ-to-RZ Conversion by Using Fiber Nonlinearity Based Circuits  
○Gazi Mohammad Sharif・Quang Nguyen-The・Motoharu Matsuura・Naoto Kishi (Univ. of Electro-Comm.)
3. 光電気変換型 DQPSK 信号再生器  
○松本正行 (和歌山大)・高 祥史・田中修平 (阪大)
4. 2.5 Gb/s 光通信量子暗号 (Y-00) 試作器のランニング特性—屋外光ファイバ伝送路 160 km 時の伝送特性—  
○二見史生・広田 修 (玉川大)
5. フォトニック結晶グレーティングを含んだ誘電体周期構造からの反射特性の数値的検討  
○横田光広・吉鶴喜多郎 (宮崎大)
6. サブ波長グレーティングから成る無反射構造を付加した積層型偏光子  
山内潤治・○山平一也・若林 佑・中野久松 (法政大)
7. 金属周期構造に励起される表面プラズモンを用いた液体濃度測定  
○小田川裕之・松田豊稔・吉永圭介・木場信一郎 (熊本高専)
8. 任意形状を持つナノ金属粒子クラスタにおける局在プラズモンの数値解析  
○松田豊稔・小田川裕之 (熊本高専)・川野光則 (ルネサスソリューションズ)

25 日午後 (13:30~)

9. [招待講演] ECOC2012 報告—光アクセス関連—  
大石将之 (KDDI 研)
  10. [招待講演] ECOC2012 報告—基幹伝送関連—  
小田祥一郎 (富士通研)
  11. [招待講演] ECOC2012 報告—光ネットワーク関連—  
○古川英昭・原井洋明 (NICT)
  12. [招待講演] ECOC2012 報告—アクティブデバイス関連—  
松尾慎治 (NTT)
  13. [招待講演] ECOC2012 報告—光ファイバ関連—  
林 哲也 (住友電工)
  14. [招待講演] ECOC2012 報告—パッシブ及び集積光デバイス—  
山崎裕史 (NTT)
  15. ジャイアントパルスマイクロチップセラミックレーザーの進展—ジャイアントマイクロフォトニクス—  
平等拓範 (分子研)
  16. 半導体光アイソレータを用いたリングレーザーの一方発振化の研究  
○薄葉哲史・阪西祥平・坂東敬広・岡崎大輔・清水大雅 (東京農工大)
  17. 非相反双安定半導体レーザーの発振状態制御に関する研究  
○田澤耕明・上原啓史・石坂大介・清水大雅 (東京農工大)
  18. 二波長ポンプによる半導体位相感応型光増幅器に関する解析的検討  
○齋藤航平・植之原裕行 (東工大)
- 26 日午前
1. 不等間隔アレイ型チューナブル LD の背面出射光を用いた波長モニタ  
○望月敬太・有賀 博 (三菱電機)
  2. ポスト 100G マルチレーン方式向け電界吸収型変調器集積光源  
○藤澤 剛・金澤 慈・高畑清人・大木 明・

上田悠太・小林 亘・伊賀龍三・三条広明・山中孝之・神徳正樹・石井啓之 (NTT)

3. ループバック装荷半導体モノリシック集積 SOA-MZI 型全光フリップ・フロップ回路の動作特性検討  
内藤佑介・清水 智・加藤智行・小林功郎・○植之原裕行 (東工大)
4. Electro-Optic Modulators Based on X-Cut LiNbO<sub>3</sub> Crystals Using Patch-Antenna Embedded a Narrow-Gap  
○Yusuf Nur Wijayanto・Hiroshi Murata (Osaka Univ.)・Tetsuya Kawanishi (NICT)・Yasuyuki Okamura (Osaka Univ.)
5. 10G-EPON 用光モジュール (BOSA, トライプレクサ) の小型・低コスト化技術  
○神田 淳・浅香航太・大木 明・黒崎武志・三条広明・吉村了行・伊藤敏夫・中村 誠・野河正史・大友祐輔・米山幹夫 (NTT)
6. シリコンマッハ-ツェンダ変調器による 10 Gb/s 80 km 光ファイバ伝送  
五井一宏・日下裕幸・小田研二・寺田佳弘・○小川憲介 (フジタ)・Tsung-Yang Liow・Xiaoguang Tu・Guo-Qiang Lo・Dim-Lee Kwong (IME)
7. RSOA に対する瞬時電流印加手法を用いたコヒーレント WDM-PON における 10.3 Gbps QPSK 信号の 80 km 伝送実験  
○佐野貴之・縣 亮・西村公佐 (KDDI 研)

26 日午後 (13:05~)

8. 高集積 Si フォトニクス 8×48 トランスポンダアグリゲータ試作とクロストーク特性評価  
○竹下仁士・樋野知行 (NEC)・石井紀代・来見田淳也・並木 周 (産総研)・高橋重樹・中村 滋・田島章雄 (NEC)
  9. 高 DGD フィールド環境における 100G PDM-QPSK 信号の PDL に対する伝送特性の評価  
○岩城亜弥子・河合武司・坂巻陽平・山本秀人・乾 哲郎・川上広人・山中祥吾・小野 隆・森 邦彦・鈴木昌弘・片岡智由・福德光師・坂野寿和・富沢将人・宮本 裕 (NTT)
  10. デジタルコヒーレント方式における位相シフト補償アルゴリズム  
○濱岡福太郎・関 剛志・松田俊哉・那賀 明 (NTT)
  11. Performance evaluation of multi-format and multi-rate transmitter  
○Hyeon Yeong Choi・Takehiro Tsuritani・Itsuro Morita (KDDI Labs.)
  12. マルチコア EDF のクラッド励起による複数コア一括光増幅  
○味村 裕・土田幸寛・前田幸一 (古河電工)・松浦 寛 (東北学院大)・杉崎隆一 (古河電工)
  13. モノリシック偏波多重送信回路のための InP 偏波変換器の試作と評価  
○財津 優・肥後昭男・種村拓夫・中野義昭 (東大)
  14. 全ポート同時駆動可能かつ低波長依存性光結合方式による 4 アレイ集積 SOA モジュール  
○中川剛二・甲斐雄高・曾根恭介・吉田節生・田中信介・森戸 健・木下 進 (富士通)
  15. ポストアレイ導波路における電磁界の閉じ込めについて  
○篠原拓也・富浦和也・陳 慧麗・前田 洋・安元清俊 (福岡工大)
  16. 石英光導波路を用いた波長選択光スイッチ  
○伊熊雄一郎・水野隆之・高橋 浩 (NTT)・津田裕之 (慶大)
  17. 高密度光配線板に向けたディスプレイによる GI 型ポリマー光導波路の作製及び評価  
○相馬一友・石樽崇明 (慶大)
- ☆OCS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
11月21日(水), 22日(木) 市民会館崇城大学ホール [締切

済] テーマ: 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

1月24日(木), 25日(金) 愛媛大〔11月9日(金)〕  
テーマ: コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では, 2007 年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年9月～翌年8月のOCS研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年12月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくはOCSホームページを御覧下さい。

☆OPE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月16日(金) 機械振興会館〔締切済〕 テーマ: 光機能性有機材料・デバイス, 光非線形現象, 一般

12月21日(金) 機械振興会館〔10月15日(月)〕 テーマ: 光パッシブコンポーネント (フィルタ, コネクタ, MEMS), シリコンフォトリソ, 一般

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス〔未定〕  
テーマ: フォトリソ NW・デバイス, フォトリソ結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和 (NTT フォトリソ研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

第一種研究会開催案内

◎OPE 研究会では, H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので, 積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

☆LQE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月29日(木), 30日(金) 阪市大〔締切済〕 テーマ: 窒化物及び混晶半導体デバイス

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス〔未定〕  
テーマ: フォトリソ NW・デバイス, フォトリソ結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7786

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成18年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の4月1日時点で32歳以下の若手研究者(学生を含む)です。積極的に御投稿下さい。

## —— 海外における開催 ——

### ★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 10月10日(水) 13:00~18:20

11日(木) 9:00~18:20

12日(金) 9:00~10:20

会場 Songdo ConvensiA (206-840 123Central-ro, Yeonsu-Gu, Incheon. Stop at "University of Incheon Station" subway station through exit no. 4 and walk 700 m (10 min.), Take bus no. 8, 6, 780 (Songdo VonvensiA Stop). [http://www.songdoconvensia.com/en\\_sub01/sub04.php](http://www.songdoconvensia.com/en_sub01/sub04.php). Songdo ConvensiA. +82-32-210-1037)

議題 ICSANE 2012 (International Conference on Space, Aeronautical and Navigational Electronics)

10日

1. Development of Synthetic Aperture Radar onboard Unmanned Aerial Vehicle

Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (Chiba Univ.)

2. Maximum Likelihood Track Extraction in High False Density Environments Using Sliding Window

○Masanori Mori・Takashi Matsuzaki・Hiroshi Kameda・Toru Umezawa (Mitsubishi Electric)

3. Error Analysis of Current Vector Estimation using Multi-site HF Ocean Surface Radar System

Akitsugu Nadai (NICT)

4. Development Status of Electrical Power Subsystem for X-ray Astronomy Satellite "ASTRO-H"

○Takanobu Shimada・Kazuyuki Hirose・Akio Kukita・Hirokazu Ikeda・Yoshio Ohgushi・Masanobu Ozaki・Tadayasu Dotani・Tsuyoshi Okazaki・Tadayuki Takahashi (JAXA)・

告 29

- Yukishige Nozaki · Takeshi Muramatsu (NTSpace) · Kazuyo Mizushima (NEC)
5. Evaluation of pseudo full-polarimetric SAR observation in urban area ○Hajime Fukuchi · Yuta Oda · Fumikazu Ogai (Tokyo Metro. Univ.)
  6. [ポスター講演] Architecture Design of Modeling & Simulation Software for Military Search and Rescue System ○Jaehyun Kim · Jeom-hun Lee · Sanguk Lee (ETRI) · Woogeun Ahn (ADD)
  7. [ポスター講演] Estimation method of dielectric constants of snow and ice using electric field vector measurements ○Kohei Osa (WNI) · Josaphat Tetuko Sri Sumantyo · Fumihiko Nishio (Chiba Univ.)
  8. Integrity of ATRCBS reply data under interference environment Shigeru Ozeki (ENRI)
  9. [ポスター講演] First experiment using small passive ranging system ○Tadahiyo Gotoh · Toshihiro Kubo'oka (NICT) · Shohei Taniguchi (SKY Perfect JSAT)
  10. [ポスター講演] Wall-through Radar Modeling with Multi-layered Wall and GTD Near-field Target ○Hirokazu Kobayashi · Yoshio Yamaguchi (Niigata Univ.)
  11. [ポスター講演] Toward microgyroscope development with high sensitivity and reliability ○Keekeun Lee · H. Oh (Ajou Univ.)
  12. [ポスター講演] Current Status and Future Plan of KMA Meteorological Satellite Program ○Dohyeong Kim · Hoseung Lee · Sunmi Na · Sungduck Yoon · Hee-Sang Lee (KMA)
  13. 衛星搭載型 SAR のインターフェロメトリ解析における誤差評価 ○椎名祐吾 · 福地 一 (首都大東京)
  14. Parallel SPECAN Algorithm for SAR Processing on GPU ○Bambang Setiadi · Luhur Bayu Aji · JT Sri Sumantyo · H. Kuze (Chiba Univ.)
  15. Evaluation of Millimeter wave Radar using Stepped Multiple Frequency Complementary Phase Code modulation ○Masato Watanabe · Takayuki Inaba (Univ. of Electro-Comm.)
  16. 多周波数フルポラリメトリック観測による都市特徴の検討 ○小粥史一 · 福地 一 (首都大東京)
  17. Combination of L, C and X-band SAR data for continuous monitoring of land deformation in urban area by using DiNSAR technique ○Luhur Bayuaji · Ratih Fitria Putri · Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (Chiba Univ.)
  18. 超小型衛星高速ダウンリンク用 GaN HPA を用いた非線形チャネルにおける歪み補償ターボ等化器/復号器の特性評価 ○岩切直彦 (東大) · 齋藤宏文 (JAXA) · 中須賀真一 (東大)
  19. Experimental Evaluation of Ultra Wideband Wireless Transmission for Replacing Wired Interface Buses in Spacecrafts ○Shinichiro Hamada (Tokyo Denki Univ.) · Atsushi Tomiki · Tomoaki Toda (JAXA) · Takehiko Kobayashi (Tokyo Denki Univ.)
  20. Report on the Investigation Results of GPS Jamming at Kyong-gi Province Yongseok Choi (ETRI)
- 11 日午前
1. Preliminary Design of X-band High Efficiency Onboard Solid State Power Amplifier for Deep Space Missions Using GaN HEMT ○Yuta Kobayashi · Atsushi Tomiki · Shinichiro Narita · Shigeo Kawasaki (JAXA)
  2. A study on detection of forest damage by SAR and optical data ○Daisuke Nose · Kazuo Ouchi (National Defense Academy)
  3. Major Results of Medical ICT WINDS Experiments by Full Utilization of Open Source Software (OSS) ○Fujinobu Takahashi · Satoshi Kubota · Takuto Shimizu · Tetsuhisa Furumoto · Yusuke Kito (Yokohama National Univ.) · Takashi Takahashi · Mitsugu Ohkawa · Norihiko Katayama · Toshio Asai (NICT)
  4. System of BepiColombo MMO ○Hironori Maejima · Hajime Hayakawa · BepiColombo Project Team (JAXA)
  5. [Invited Talk] Earth Observation Satellite Market—Trends & Perspectives— ○Sungdong Park · Moongyu Kim (SI)
  6. [Invited Talk] Surface Movements during the 2011 Great Tohoku-Oki Earthquake Detected by ALOS/PALSAR ○Manabu Hashimoto · Yo Fukushima · Youichiro Takada (Kyoto Univ.)
  7. [招待講演] Over view of the UNIFORM project ○Tetsuya Fukuhara (Hokkaido Univ.) · Ryosuke Nakamura (AIST) · Soshi Kato (NIES) · Toru Kouyama (AIST) · Koji Nakau · Yukihiro Takahashi (Hokkaido Univ.) · Hiroaki Akiyama (Wakayama Univ.)
- 11 日午後
8. The Design of Synthetic Aperture Radar onboard Minisatellite ○Prilando Rizki Akbar · Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (Chiba Univ.) · Hirobumi Saito (JAXA)
  9. Preliminary Results of ARC External Calibration Experiments for EarthCARE/CPR ○Jun Yamaguchi · Toshiyoshi Kimura · Hirotaka Nakatsuka · Yoshihiro Seki · Gaku Kadosaki (JAXA) · Nobuhiro Takahashi · Yuichi Ohno · Hiroaki Horie · Kenji Satoh (NICT)
  10. Recent R & D status of High Speed Data Transmission System for Satellite in JAXA ○Tomohiro Araki · Kazuya Inaoka · Yoshiyuki Tashima · Masashi Shirakura · Masaaki Shimada (JAXA)
  11. 小型衛星のダウンリンクシステムに用いる高効率 GaN 増幅器とプレディストーション手法の開発 ○渡邊宏弥 · 深見友也 (東大) · 富木淳史 · 齋藤宏文 · 岩切直彦 (JAXA)
  12. Current Status of Japan's Activity for GPM/DPR algorithm development ○Takuji Kubota · Satoshi Kida · Takeshi Masaki · Riko Oki · Yuki Kaneko · Misako Kachi (JAXA) · Toshio Iguchi (NICT) · Masahiro Kojima (JAXA)
  13. X-band interferometric SAR sensor for the Japanese altimetry mission COMPIRA ○Ryoko Nakamura · Akihisa Uematsu · Yasuhiro Nakajima · Yukie Yajima · Ryota Sato · Compira Team (JAXA)
  14. 超小型人工衛星用パネル構造の保持解放機構の開発 ○吉野達也 · 荒木友太 · 宮崎康行 (日大)
  15. Present and future of near earth satellite mission—Application to observation and communication system of small satellites— Korehiro Maeda (Univ. of Tokyo)

16. Feasibility Study on Supercapacitors as Alternative to Secondary Batteries in Spacecraft Power Systems

○Masatoshi Uno・Akio Kukita (JAXA)

17. A Study of Evaluation Method for GPS-L5 Signal Environment during Flight Experiments

○Takuya Otsuyama・Shigeru Ozeki (ENRI)

18. Initial Checkout Results of GCOM-W1 (SHIZUKU)

○Matsuaki Kato・Marehito Kasahara・Toshitaka Sasaki・Norimasa Ito・Masaaki Mokuno・Keizo Nakagawa (JAXA)

19. インフレーション構造物のためのSMAバルブ装置の提案

○村田 亮・荒木友太・山崎政彦・宮崎康行 (日大)・渡辺和樹・及川 裕 (ウエルリサーチ)

20. The Study on the Framework Design of Inner-Satellite Networks

○Kyu-Hwan Lee・Jae-Hyun Kim (Ajou Univ.)

21. Design of Routing Scenarios for Terrestrial Network Interworked with Satellite Network

○Kwang-Chun Go・Kyu-Hwan Lee・Jae-Hyun Kim (Ajou Univ.)

22. Validation of Downlink Aircraft Parameters (DAPs) using Radar-derived Data

○Keisuke Matsunaga・Atsushi Senoguchi・Tadashi Koga (ENRI)

23. Intensity Distribution of Backscattering from Ocean Surface Observed by Pi-SAR

○Akitsugu Nadai・Toshihiko Umehara・Takeshi Matsuoka・Makoto Satake・Tatsuharu Kobayashi・Jyunpei Uemoto・Seiho Uratsuka (NICT)

24. Broadband Satellite Link Design of the Ka-Band Frequency in Indonesia

○Zulfajri Basri Hasanuddin (Hasanuddin Univ.)・Meylanie Olivya (STMIK Handa)

25. Introduction to Real-Time Operation of COMS Normal Operation

○Young-Min Cho・Chul-Min Park・Bang-Yeop Kim (KARI)

26. Successful Launching of KOMPSAT-3 by H2-A Rocket

Haejin Choi (KARI)

27. The next-generation space infrared astronomy mission SPICA

○Takao Nakagawa・Hideo Matsuhara・Ysuhiro Kawakatsu (JAXA)

28. Development and Operation of the Korea-Japan Joint VLBI Correlator (KJJVC) for East-Asia VLBI Network

○Se-Jin Oh・Duk-Gyoo Roh・Jae-Hwan Yeom・ChungSik Oh (KASI)・Noriyuki Kawaguchi・Hideyuki Kobayashi・Tomoaki Oyama (NAOJ)

29. Korean Activities in IR Space Missions

Woong-Seob Jeong (KASI)

12日

1. First SAR satellite in Korea, KOMPSAT-5

○Sang-Ryool Lee・Jin-Hee Kim・Jae-Cheol Yoon (KARI)

2. A plan of constructing of a space observation network in Southeast Asia based on Korea-Japan space cooperation

○Jaehyun Kim・Tuhwan Kim (Ajou Univ.)

3. The study on networks for the space & earth observation based on cooperation between Korea and Japan

○Jae-Hyun Kim・Kyu-Hwan Lee・Tu-Hwan Lee (Ajou Univ.)

4. Integer Ambiguity Resolution of Network Real Time Kinematic using Geometric Constraint

○Eunsung Lee・

Gi Wook Nam・Moon Beom Heo (KARI)

◆This workshop is co-sponsored by Chinese Academy of Science, Chinese Academy of Space Technology (CAST), CSIRO (Australia), ENRI (Japan), ETRI (Korea), Fudan University of China, IEEE AESS (Japan), JAXA (Japan), KARI (Korea), KORDI (Korea), NICT (Japan), National Natural Science Foundation of China, OUC (China), Xidian University (China), UWA (Australia). This workshop is also in cooperation with AIAA JFSC.

◎会場との調整により講演時間が変更される可能性があります。最新情報は、<http://ieice.org/cs/sane/jpn/program.html> を御確認下さい。

☆SANE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月30日(金) 千葉大けやき会館〔締切済〕テーマ：リモートセンシング及び一般

【問合先】

冨木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail : tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail : nandai@nict.go.jp

## ★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・中村 豊

幹事 衛藤将史・北辻佳憲

幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹・山本 寛

日時 10月18日(木) 13:15~17:30

19日(金) 9:30~17:45

会場 Prince of Songkla University (Phuket Campus), Phuket, Thailand (<http://www.ieice.org/~ia/phuket2012/>)

議題 Future Internet, Internet Applications, Internet for Disasters, etc.

18日

Invited Talk

1. [招待講演] Invited/Welcome Talk from Thailand TBA  
Ecology for Internet

2. Smart Services Selection based on Context-aware  
○Seksit Disaro・Sinchai Kamolphiwong (PSU)・Chalermopol Charnsripinyo (NECTEC)

3. SLA Aware AP Power off Operations Based upon User Behaviors for Green WLAN

○Motoyuki Ohmori (Chikushi Jogakuen Univ.)・Koji Okamura (Kyushu Univ.)

Networking Technologies

4. Development of Home IPv6 Gateway using 6rd on Thai UniNet

○Touchai Angchuan・Robert Elz・Napat Chuangchunsong・

Sinchai Kamolphiwong (Prince of Songkla Univ.)

5. Identification of anomalous traffic using dynamic programming

○Keisuke Ishibashi・Tsuyoshi Kondoh (NTT)

6. A lightweight method to discriminate spamming hosts by periodically changing DNS response

○Naoya Kitagawa・

Hiroki Takakura (Nagoya Univ.) ·  
Tsunehiko Suzuki (Chukyo Univ.)

7. LessFU: A Memory Management Strategy

○Kenichi Yoshida · Kazuhiko Tsuda (Univ. of Tsukuba)

19日午前 Special Session-IA on East Japan Disaster of 2011/  
3/11

1. [招待講演] Effect of Earthquake-Resistance Design of  
Campus Information Infrastructure

Hideaki Sone (Tohoku Univ.)

2. [招待講演] Information Communication Technology Issues  
in Disaster Activities Masahiro Hiji (HTO)  
Implementation and Satellite Communication

3. Implementation of ISO/IEC 29110 in government organiza-  
tions—PSU Phuket case study— Veeraporn Siddoo ·

○Noppachai Wongsai ·

Rattana Wetprasit (Prince of Songkla Univ.)

4. Performance investigation of store-carry-forward network  
using bypass of satellite communication

○Teruaki Yokoyama (Cyber Univ.) ·

Shigeru Kashihara (NAIST)

19日午後 Distributed Systems (13:30~)

5. Enhancement of Peers Selection Algorithms for live P2P  
Streaming Services ○Supitchaya Chanpong ·

Sinchai Kamolphiwong · Thossaporn Kamolphiwong (PSU) ·  
Boonchai Ngamwongwattana (Ministry of Science and Tech.)

6. Performance evaluation of the DHT-based HTTP access  
control system ○Satoshi Uemura · Teruyuki Hasegawa ·

Shigehiro Ano (KDDI R & D Labs.)

7. Design and Implementation of File Authentication System  
using Timestamp Mechanism for a Distributed File System

○Tetsuya Ohgaki (Univ. of Electro-Comm./NICT) ·

Hidehiko Watanabe · Tsukasa Iwama · Mitsue Den ·

Takeshi Murata (NICT)

Network Protocols

8. Mobile IP with Multiple Home Agents

○Wuttipon Noopetch · Robert Elz ·

Sinchai Kamolphiwong (PSU)

9. On Parameter Tuning of Transport Layer Protocol Compound  
TCP + in Wireless LANs ○Hiroki Oda ·

Hiroyuki Hisamatsu ·

Hiroshi Noborio (Osaka Electro-Comm. Univ.)

10. Transparent Server Migration between Datacenters by  
Utilizing OpenFlow ○Tatsuya Fukushima ·

Hirofumi Yamaki · Yukiko Yamaguchi ·

Hiroki Takakura (Nagoya Univ.)

11. An Extension of Hierarchical/Automatic Number Allocation  
Protocol HANA for a Hierarchical Routing Protocol

Kenji Fujikawa (NICT)

◎Students Paper Award and Closing

☆IA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月19日(月) かんぼの宿いわき [締切済] テーマ: 学生  
セッション, 一般 (日本学術振興会インターネット技術第  
163委員会共催)

12月13日(木), 14日(金) 広島市大 [10月15日(月)]  
テーマ: インターネットやイントラネットの信頼性, 品質,  
計測, 監視, セキュリティ, トラヒック理論及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (京大大学術情報メディアセンター-岡部研究室内)

TEL (075) 753-7417, FAX (075) 753-7440

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 門脇直人 副委員長 上羽正純・榎木勘四郎

幹事 吉村直子・廣瀬貴史

日時 10月24日(水) 9:30~17:40

25日(木) 9:00~12:00

会場 韓国中央企業中央会 (ソウル特別市永登浦区汝矣島洞 16-

2. 地下鉄9番線: 国会議事堂駅から徒歩5分. <http://map.konest.com/dpoi/100979076>)

konest.com/dpoi/100979076)

議題

24日午前 Current Status and Future Plans

1. Open Remarks-1 from Korea Jong Won Eun (ETRI)

2. Opening Remarks-2 from Japan Naoto Kadowaki (NICT)

3. [基調講演] Satellite Development Programs in Korea  
S. R. Lee (Vice President of Korea Aerospace Research Inst.)

4. [基調講演] Research and development of resilient network  
technology for disaster relief and recovery

Naoto Kadowaki (NICT)

5. The Satellite Communication System for Maritime Safety  
Services ○Jeonghwi Kim · Jongsik Lee (KT)

6. On NICT's Working Group Activity on Future Satellite  
Communication ○Maki Akioka · Morio Toyoshima ·

Working Group on Future Satellite Communication (NICT)

24日午後 Satellite Communication systems and applications

7. Proposal of Blind Frequency Compensation Method for Direct  
Spectrum Division Transmission ○Jun-ichi Abe ·

Katsuya Nakahira · Takatoshi Sugiyama (NTT)

8. Stable operation and prospective application of COMS Ka band  
Payload ○Seong-Pal LEE · Jin-Ho Jo · Moon-Hee You ·

Kyungsoo Choi (ETRI)

9. Performance Evaluation of Polarization Multiplexing Satellite  
System with Realistic Channel Models ○Julian Webber ·

Masanori Yofune · Kazuto Yano · Hiroshi Ban ·

Kiyoshi Kobayashi (ATR)

Satellite Communication Technologies

10. Study of receiver architecture for wideband DVB-S2  
standards ○Pansoo Kim · Deock-Gil Oh (ETRI)

11. Simulations for effects on other communication antennas by  
scattered waves from a ship body for maritime satellite  
communications

○Takahiro Aoyagi (Tokyo Inst. of Tech.) ·

Kouhei Suzuki · Yoshinori Suzuki · Takashi Hirose ·

Takatoshi Sugiyama (NTT)

12. Ka-band 7-Channel Output Multiplexer for Broadcasting  
Service ○Changsoo Kwak · Hongyeol Lee ·

Manseok Uhm · Inbok Yom (ETRI)



13. Report on Contributions in APT Wireless Group on Studies of Satellite/Terrestrial Integrated Mobile Communication System  
○Hiroyuki Tsuji · Yoshiyuki Fujino · Morio Toyoshima (NICT)
14. Energy Balance Analysis of GEO-KOMPSAT-2A  
○Sung Soo Jang · Ja Chun Koo · Jae Dong Choi (KARI)
15. COMS Ka-band Antenna Pointing Variation Analysis  
○Moon Hee You · Jang Sup Choi · Seong Pal Lee · Jae Hoon Kim (ETRI)
16. Wideband Digital Chirp Signal Generator Implementation for LEO Earth Observation Satellite  
○Joong Pyo Kim · Sang Burm Ryu · Won Gyu Lim · Seung Woon Choi · Young Jin Won · Jin Hee Kim · Sang Kon Lee (KARI)
17. EMC Safety Analysis on the Pyrotechnic Circuits for GEO Satellite  
○Ja Chun Koo · Sang Kon Lee · Sung Woong Ra (KARI)
18. Matrix Receiving Structure Design for Versatile Multi-mission LEO Operations  
Durk Jong Park (KARI)
19. Characterization of DBF/channelizer with Deployable Reflector for Satellite/Terrestrial Integrated Mobile Communication System  
○Yoshiyuki Fujino · Hiroyuki Tsuji · Teruaki Orikasa · Norio Komiyama · Morio Toyoshima (NICT)

#### 25日 Disaster Recovery Operations and Utilization Safety-I

1. Satellite Communications for Large Scale Disasters—Lessons learnt from the Great Earthquake and Tsunami Disasters over Eastern Japan in March, 2011—  
○Osamu Ichiyoshi (HNB21C) · Yasuto Tanaka (IPSTAR)
2. Lessons learned from “The Great East Japan Earthquake” as a satellite service provider  
○Tasuku Nagoya · Mitsuru Sasanuma · Hiroshi Uchiyama (SKP JSAT)
3. A Frequency Compatibility Assessment Between Global Navigation Satellite Systems and Mobile Satellite System in 1.5 GHz Band  
○Namho Jeong · Dae-Sub Oh · Bon-Jun Ku (ETRI)
4. GIS based Implementation of the Communication Networks Disaster Management Systems for Solar Maximum  
Jongwoo Oh (Namsseoul Univ.)

#### Disaster Recovery Operations and Utilization Safety-II

5. Small Satellite Earth Stations for Disaster Recovery Operations  
○Takashi Hirose · Yoshinori Suzuki · Yutaka Imaizumi (NTT)
6. GPS Jamming Monitoring System Prototype  
○Jeom-hoon Lee · Inone Joo · Seongkyun Jeong · Sanguk Lee (ETRI)
7. A Study on Distributed Storage System based on Erasure Coding over Satellite Networks  
○Katsuya Suto · Hiroki Nishiyama · Nei Kato (Tohoku Univ.)
8. The method of spoofing detection and spoofing mitigation  
○Cheon Sig Sin · Tae-Hee Kim · Sanguk Lee (ETRI)

#### Closing Session

9. Closing Remarks-1 form Japan (Incl. JC-SAT 2013 intro.)  
Naoto Kadowaki
10. Closing Remarks-2 form Korea  
Jong Won Eun
- ◆Korea Society of Space Technology, Korea (KOSST) 連催,

KARI (Korea Aerospace Research Institute), ETRI (Electronics and Telecommunications Research Institute), KT (Korea Telecom), SKT (SK Telecom), Institute of Information Technology Assessment

◎通常の国内で開催される研究会とは異なり、聴講参加される場合には予約の有無に係わらず有償にてJC-SAT2012の予稿集を購入頂く必要があります(参加費は無料、予稿集の値段は後日案内)。

◎24日研究会終了後、懇親会(無料)を予定していますので御参加下さい。

#### 【問合先】

SAT 研究会幹事

E-mail : sat\_ac-sec@mail.ieice.org

吉村直子 (NICT)

TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123

廣瀬貴史 (NTT)

TEL [046] 859-3343, FAX [046] 855-1752

### —今後の予定—

#### ★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫  
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

☆PRMU 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月23日(水) 24日(木) 京大 [11月2日(金)]

テーマ：実時間処理・実空間センシングと環境理解

1月のPRMU研究会は、情報処理学会 CVIM 研究会、電子情報通信学会 MVE 研究会、日本バーチャルリアリティ学会 SIG-MR 研究会と連催で、テーマセッション「実時間処理・実空間センシングと環境理解」を企画致しました。画像センシングをベースとした実環境センシング技術として、従来から様々な対象に対する画像認識手法、三次元計測手法、運動解析手法が研究されてきましたが、これら個々の要素技術の発展と融合により、実際の三次元環境と空間内に存在する人や物体の存在や状態等を理解しながら、様々なタスクの自動化やユーザの操作支援を行う技術の重要性が高まっています。また、近年実用化されつつある自動車の運転支援システムに代表される移動体の自動操縦・操縦支援などの分野においては、上記の実空間センシング・環境理解を頑健に行うだけでなく、実時間処理を行うことも求められます。このような背景から、本テーマセッションでは、「実時間処理・実空間センシングと環境理解」をテーマとして、これらに関わる各種要素技術、及び応用分野の研究発表を広く募集致します。

また、PRMUでは、画像・パターンの効率的な表現手法としても注目を集めているスパースコーディング技術について、「スパースコーディングに基づくパターン認識」と題したテーマセッションを設け、スパースコーディングの要素技術及びその応用に関する発表も募集致します。

なお、テーマセッションに加えて一般セッションも開催します。研究会の枠を越えた活発な御議論の場として御活用下さいませよう、こちらにも積極的な御投稿をよろしくお願い致します。

#### 【発表申込先】

下記研究会発表申込システムからお申し込み下さい。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=PRMU>

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●平成 24 年度第 2 回医療情報通信技術研究会

委員長 井家上哲史 (明大)

期日 平成 24 年 10 月 11 日 (木)

会場 名古屋工業大学 6 号館 11 階電気情報大会議室 (<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>)

テーマ 医療情報通信技術一般

参加費 一般 3,000 円 (講演資料代を含む), 学生無料 (講演資料代は別途 2,000 円)

プログラム <http://www.ieice.org/~mict/>に掲載されます。

参加方法 事前参加登録は不要です。御参加を希望される方は、当日、会場受付にお越し下さい。

【問合先】 幹事

金 ミンソク (東工大), 前山利幸 (拓殖大)

E-mail: [mict-sec@mail.ieice.org](mailto:mict-sec@mail.ieice.org)

主催 医療情報通信技術時限研究専門委員会

●再生可能集積システム時限研究会

委員長 松本 智 副委員長 上原 稔・中尾健彦

日時 平成 24 年 10 月 13 日 (土) 13:00~17:00

会場 山形大学工学部米沢キャンパス 4 号館セミナー室 (米沢市城南 4-3-16, 米沢駅からバス約 10 分。 <http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/access/>)

議題

- 3 次元積層型浮動小数点加算器の設計および評価  
斎藤琢哉・多田十兵衛 (山形大)
- パイプライン化演算器の 3 次元積層に関する研究  
浦山謙太・多田十兵衛 (山形大)
- 〔招待講演〕 リコンフィギュラブル HPC のための密結合 FPGA クラスタの開発—並列格子ボルツマン計算による試作クラスタの評価—  
佐野健太郎 (東北大)
- 大規模仮想ディスクにおける 2P-3D 直交 RAID  
上原 稔 (東洋大)
- マイクロシステムのためのオンチップ太陽電池を用いた電源回路システム  
中野誠彦 (慶大)
- 再生可能集積システムの研究動向—WReCS2012 会議報告—  
森 秀樹 (東洋大)

◎参加資格: 特に制限はありません。

参加費: 1,000 円 学生無料 (会場でお支払い下さい)

〔懇親会〕 19:30~21:30 白布温泉東屋 18,000 円  
(山形大工学部 18:00 発 白布温泉東屋 18:30 着)

【発表申込先】

<http://www.am.ics.keio.ac.jp/reconf/ris/>

【問合先】

多田十兵衛 (山形大)

TEL [0238] 26-3005 (ex. 3576), FAX [0238] 26-3400

E-mail: [jubee@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:jubee@yz.yamagata-u.ac.jp)

主催 再生可能集積システム時限研究専門委員会

●短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 原田博司・加藤正文

日時 平成 24 年 10 月 15 日 (月) 10:20~17:15

会場 情報通信研究機構本部 (小金井市貫井北町 4-2-1, <http://www.nict.go.jp/about/hq.html> TEL [046] 847-5097 Lan Zhou)

議題 WLAN 関連技術, 一般

- 〔招待講演〕 次世代インフラシステムに向けた低電力センシングノード構成技術 門 勇一 (京都工繊大)
- 〔招待講演〕 920 MHz 帯 ZigBee の動向 福永 茂 (OKI) 午後
- 近接ミリ波通信システムにおける PHY 部の IC 開発  
○堀川征一郎・谷口健太郎・古川剛志・坂 耕一郎・笠見英男 (東芝)
- ミリ波 (IEEE802.15.3c) デバイスシミュレータプロトコルテスト手法の検討 ○八木隆介・山本浩之 (日立 JTE)・羽生 広 (日立)
- 60 GHz 帯ミリ波通信標準規格準拠の物理層評価に用いる高精度周波数変換装置 ○日下 洋・太田貴之・鈴江秀規・四分一浩二 (島田理化)・雅樂隆基 (日立)
- IEEE802.11ad LDPC 符号器・復号器実装設計に関する一検討  
○船田龍平・原田博司 (NICT)
- モデルベースデザインによる IEEE802.11ad LDPC 符号器・復号器の設計と実装 ○船田龍平・原田博司 (NICT)
- ホワイトスペース利用のための周波数マネジメントに関する一検討 佐々木重信・石井将司・木村長夫 (新潟大)
- 〔パネルディスカッション〕 短距離無線通信のセンサへの応用 司会: 加藤修三 (東北大)・門 勇一 (京都工繊大)・福永 茂 (OKI)

その他短距離無線に携わる方々をパネリストに招待し、議論する  
参加費 一般 2,500 円, 学生 1,500 円

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12 月 10 日 (月) 富士通研 [10 月 15 日 (月)] テーマ: Network, MAC, Adhoc 関連技術, 一般

2 月 28 日 (木) 早大 [12 月 10 日 (月)] テーマ: WLAN, WPAN 関連, 一般

【発表申込・問合先】

沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail: [sawahiro@riec.tohoku.ac.jp](mailto:sawahiro@riec.tohoku.ac.jp)

◎最新情報は、SRW 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~srw/>

主催 短距離無線通信時限研究専門委員会

●第 49 回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣 (関西大)

期日 平成 24 年 10 月 19 日 (金)

会場 東洋大学川越キャンパス 4 号館 4 階第二会議室 (川越市鯨井 2100, [http://www.toyo.ac.jp/access/kawagoe\\_j.html](http://www.toyo.ac.jp/access/kawagoe_j.html))

本研究会は、ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現

在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコンウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、IC チップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールトトレラント手法などが挙げられます。また、IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては、IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

次の第 49 回機能集積情報システム研究会は、東洋大学 (川崎市) で開催致します。皆様奮って御参加下さい。

#### プログラム

1. HEMS 向け安全なセンサーネットワークの提案  
○松本勝慶・高部優一郎・山際 基・上原 稔・森 秀樹 (東洋大)
2. 指文字認識システムの特徴抽出回路のハードウェア設計  
○戒田圭司・肥川宏臣 (関西大)
3. 学習ピクセル入力のランダム化による速度改善を行ったハードウェア SOM を用いた色量子化システム  
○田原大樹・肥川宏臣 (関西大)
4. 積層型 Chain 構造 PRAM  
○加藤 翔・渡辺重佳 (湘南工大)
5. 可変クロックを用いた高速オンチップ遅延測定のための非同期データ転送可能スキャン設計法  
加藤健太郎 (鶴岡高専)
6. 異種混在マルチ GPU システムにおける演算ユニット特性を考慮したスケジューリング手法  
○渡邊祥太郎・難波一輝・北神正人 (千葉大)
7. 教育用マルチコアプロセッサにおける動的負荷分散の試み  
丸山玄道・○津田伸生 (金沢工大)
8. 周波数領域によるセグメント分割伝送線の設計と評価  
○井上栄史・安永守利 (筑波大)

◎最新の情報は Web ページ (<http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/>) を御覧下さい。研究会終了後に懇親会 (会費 5,000 円程度) を予定しております。御参加を希望される方は、下記問合せ先まで御連絡下さい。

参加資格 特に制限はありません

参加費 1,000 円 (会場でお支払い下さい。学生は無料です。)

#### 【問合せ先】

金子晴彦 (東工大大学院情報理工学研究所)

E-mail: [hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp](mailto:hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp)

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

## ●第 3 回通信行動工学研究会

委員長 竹市博臣 副委員長 原田悦子・中村 元

通信行動工学時限研究専門委員会は、人間の通信行動に関する、生理的、心理的、社会的な各種要素を含めた多様な分野の研究成果を持ち寄り、今後の通信技術の研究開発に大きく貢献するとともに、各専門分野の活動領域の拡張をもたらすことを目的に発足しました。

第 3 回通信行動工学研究会では、通信行動データの工学応用に関わる研究発表が予定されています。今回は、モバイル学会の研究会との併催を予定しております。IEICE 会員のみならず、関連する研究を推進されている方々にも積極的に御参加頂き、異分野交流により通信行動に関する研究の進展が加速されることを期待しております。

日時 平成 24 年 10 月 20 日 (土) 11:00~18:00

会場 大阪大学吹田キャンパス

テーマ: 通信行動データの工学応用に向けて

1. 委員長挨拶
2. ワイヤレスエージェントの強化学習によるユーザ満足度を考慮した通信資源分配に関する検討  
笹田直利 (阪大)・東野武史 (奈良先端大)・塚本勝俊 (阪工大)・小牧省三 (マレーシア工科大)
3. 現実のソーシャルネットワークにおけるリンク重みの量子化がノードの中心性指標に与える影響  
石野正典・津川 翔・大崎博之 (阪大)

#### 午後

4. モバイル学会 (基調講演)  
赤松先生 (産総研) の講演と 2~3 名登壇による学会の紹介
5. 対面での交流関係を表現したソーシャルネットワークにおけるリンク予測手法の評価  
津川 翔・大崎博之・今瀬 真 (阪大)
6. CMC における楽曲共有・配信サイト上でのコメント解析  
石先広海・Susan C. Herring・服部 元・小野智弘
7. サービスへの参加を促す多次元階層型集合でのランキング提示手法  
川崎仁史・山本 淳・倉沢 央・佐藤浩史・中村元紀・松村 一 (NTT)
8. ラウンドテーブルディスカッション: コメンテータのプレゼン・質疑応答

◎18:00~20:00 に懇親会を開催します。

◎ウェブサイトにも関連情報を掲示します。

<http://www.ieice.org/~cbe/index.html>

#### 【問合せ先】

E-mail: [cbe-info@mail.ieice.org](mailto:cbe-info@mail.ieice.org)

主催 通信行動工学時限研究専門委員会

## ●第 24 回電気・電子機器の EMC ワークショップ

委員長 桑原伸夫 (九工大)

昨年は、東日本大震災、タイの水害、ヨーロッパの経済危機、円高、電気系大企業の赤字と、日本を取り巻く環境は厳しくなり、長期景気低迷からの脱出どころか、ますます混迷を深めている状況です。

原子力の問題からエネルギー問題がクローズアップされ、スマートグリッド関連技術として、再生エネルギーの活用、省エネ技術等がますます注目を浴びています。

このような中、LED 照明が EMC 規制の対象となったり、太

陽光発電システム、自動車充電システムにおける EMC 問題が注目を浴びて、規制化が検討されたり、EMC の位置付けは更になくなっており、将来への迅速な対応が求められています。

そこで、今回の「電気・電子機器の EMC ワークショップ」では、エネルギー関連の EMC や今後の展望を考えるということで、「EMC の最新動向と展望」(仮題)をテーマに開催させていただきます。

本ワークショップでは、産、官、学の第一線で御活躍されている講師の方々をお迎えし、行政の立場からの日本の方針・動向をベースに、生体関連の EMC 技術について御講演頂き、パネル討論会において様々な切り口から討論頂きます。特別講演は、上先生の御業績紹介と産学連携の活動についてお話し頂き、また、技術セッションとして静電気放電ノイズ関係の発表、及び EMC 標準化動向等を御紹介頂きます。

本ワークショップは今年で第 24 回目を迎えますが、例年どおり、大学・官公庁・企業の研究者、技術者など、EMC に関心をお持ちの方が一堂に会し、活発な意見交換や情報共有を行いながら、相互の親睦と連携を深める場にしたいと思えます。多くの皆様に奮って御参加頂きますようよろしくお願い致します。

日時 平成 24 年 11 月 1 日 (木) 13:00~2 日 (金) 15:00

会場 ホテル双葉 (南魚沼郡湯沢町大字湯沢 419。JR 越後湯沢駅から徒歩約 5 分。http://www.hotel-futaba.com/ TEL [025] 784-3357)

テーマ:「EMC の最新動向と展望」(仮題)

1 日

委員長挨拶 桑原伸夫 (九工大/EMCJ 研究専門委員会委員長)

[基調講演] 国の方針、規格国内外動向 (仮題)

丹代 武 (総務省)

[セッション 1] (講演及びパネル討論)

「無線技術の進展と生体電磁環境」

1. ばく露評価法の標準化動向 大西輝夫 (NTT ドコモ)

2. ワイヤレス給電と生体電磁環境 和氣加奈子 (NICT)

3. 植込み型ペースメーカー等との両立性 豊島 健 (USCI ホルディングス)

[パネル討論]

パネリスト:多氣昌生 (首都大東京; コーディネータ)・  
大西輝夫 (NTT ドコモ)・和氣加奈子 (NICT)・  
豊島 健 (USCI ホルディングス)

2 日

[特別講演] EMC 研究を振り返り将来を展望する (仮題)

上 芳夫 (元電通大)

[セッション 2] (技術 1)

「放電ノイズに EMC のメスを入れる」(仮題)

1. 放電に伴う広帯域電磁ノイズの脅威 (仮題) 川又 憲 (八戸工大)

2. 放電インパルス性ノイズのタイムドメイン測定法 (仮題) 石上 忍 (NICT)

3. ESD イミュニティ試験とその課題 (仮題) 石田武志 (ノイズ研)

[セッション 3] (技術 2)

「EMC 標準化について」(講演者交渉中)

1. CISPR の動向
2. 自動車の充電規制動向
3. ANSI C62.4 に関する検討

閉会の挨拶、連絡事項

【参加費】(講演会費、懇親会費、宿泊代、朝食/2 日目の昼食代

を含む) 一般 25,000 円、学生会員 18,000 円

・宿泊については、ワークショップ会場と同じホテル双葉を御用意致します。

・ホテルでの宿泊は、他の参加者との相部屋になりますことを御了承下さい。

※一人部屋御希望の方は、近隣の宿泊施設等を御利用下さい。

・1 日目夕方に懇親会を予定しております。

【参加申込み】10 月 24 日 (水) までにお申し込み下さい。

【問合先】ワークショップ事務局 EMCJ 幹事

内海邦昭 (KEC 関西電子工業振興センター)

〒619-0237 相楽郡精華町光台 3-2-2

TEL [0774] 29-9041, FAX [0774] 93-4564

E-mail : emcj-emc\_2012ws@mail.ieice.org

◎本ワークショップは、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター公益的調査研究・研究集会助成の支援を受けております。

主催 環境電磁工学研究専門委員会

## ●第 10 回 QoS ワークショップ

委員長 山崎達也 (NICT) 副委員長 高橋 玲 (NTT)

日時 平成 24 年 11 月 2 日 (金) 12:30~18:10

会場 東京工業大学大岡山キャンパス東工大蔵前会館 (目黒区)

テーマ ビッグデータ時代の情報通信サービスとクオリティ

趣旨

有線・無線ネットワークの高速化、広域化やスマートフォンの高機能化に伴い、ソーシャルメディアや広範囲に配置されたセンサから得られるデータをネットワークを通して収集することが可能になっています。更に、このような大量のデータの中から価値のある情報を選別して、私たちの身近にある多種・多様な情報通信サービスの品質を改善したり、新たな情報通信サービスを創出するといった要求が高まっています。この要求を満たし、より豊かなサービスを実現するには、データの収集・解析から選別された情報がサービスの品質に与える影響の分析まで、従来の情報通信の枠にとらわれない幅広い技術が重要となってきます。

コミュニケーションクオリティ研究専門委員会では、情報インフラ化したインターネット、高品質でセキュアな次世代ネットワーク、更なる先を見据えた新世代ネットワークにおいて、ユーザ・アプリケーションが要求する多様な品質を提供する方法を、従来の技術にとらわれず、かつ学術的・学際的な観点から議論することを目的とし、2004 年より 9 回の QoS ワークショップを開催してきました。

本年度は、高速化、広域化が進むネットワークによって得られるデータと情報通信サービスの品質のかかわりについて議論するため、第 10 回 QoS ワークショップを開催します。特に、広域センサネットワーク上で効率的にデータを収集するためのネットワーク技術、膨大なデータを解析するための機械学習技術、ソーシャルメディアがサービスに与える効果分析に関する手法などについて、第一線の研究者による実践的なチュートリアル講演を行います。

更に、若手研究者を対象にして、種々のサービス、システム、ネットワークにおける QoS/QoE のあり方、QoS/QoE の評価、設計、制御、運用などの観点から幅広く深い議論を行うポスターセッションを開催します。

内容

1. 開会挨拶

2. [招待講演1] データに潜む本質のパターンを見出す機械学習技術 澤田 宏 (NTT)
3. ポスターショートプレゼンテーション (前半)
4. ポスターセッション (前半), デモセッション
5. [招待講演2] 高度な情報収集・解析を可能とする広域センサーネットワークの実現 (仮) 寺西裕一 (NICT)
6. ポスターショートプレゼンテーション (後半)
7. ポスターセッション (後半), デモセッション
8. [招待講演3] ソーシャル VOD サービス “teleda” における視聴行動分析 浜口斉周 (NHK)
9. 表彰式, 閉会挨拶

#### 【参加申込】

締切日 10月22日(月)

参加費 一般6,000円, 学生1,000円

◎詳細については, 下記の本ワークショップのホームページを御覧下さい。

[http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/qos\\_workshop10/index.html](http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/qos_workshop10/index.html)

#### 【問合先】

引地謙治 (富士通研), 中村信之 (OKI)

E-mail : cq\_ac-qos-ws@mail.ieice.org

主催 コミュニケーションクオリティ研究専門委員会

### ●第25回情報伝送と信号処理ワークショップ

実行委員長 笹瀬 巖 (慶大)

テーマ 「メディアとネットワークの最前線」

年に一度の本ワークショップも今年で25回目を迎えます。今回は、「メディアとネットワークの最前線」をテーマとし、第一線で御活躍中の技術者・研究者をお招きして、情報通信ネットワーク、信号処理、アプリケーションの最新技術について9件の御講演を企画致しました。また、ICTの新たな可能性を示す3件の特別講演とフェロー講演をお願い致しました。雄大な景色の中、リラックスした雰囲気、ICTの将来について議論をお楽しみ頂くとともに、親交を深めて頂ければ幸いです。併催の通信方式研究会とともに、多数の皆様の御参加をお待ちしております。(詳細は<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>)

期日 平成24年11月20日(火)~22日(木)

会場 湯元名水亭 (伊達市大滝区北湯沢温泉 <http://www.meisuitei.com/> TEL [0142] 68-6677)

講演 テーマ「メディアとネットワークの最前線」

以下のセッションを計画しています。なお、スケジュール等は変更になる場合があります。最新情報は学会ホームページ (<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>) にて御確認下さい。

20日 (13:00~18:30)

オープニング 笹瀬 巖 (慶大)

[第1セッション]

1. 超解像を利用した高画質化および画像符号化技術 影山昌広 (日立)
2. スーパーハイビジョンによるロンドン五輪のパブリックビューイング 鹿嶋善明 (NHK)
3. VHF-High 帯マルチメディア放送 NODTV のサービスと技術 大矢智之 (mmbi)
4. Media HUB 香取啓志 (メディアプラットフォームラボ)
5. 将棋プロ棋士の直観力を脳科学で探る一応用と計算理論構築に向けて一 山川 宏 (富士通研)

[特別講演]

第二種研究会開催案内

6. 植物工場=植物の科学的生産法—データにもとづく科学的思考と判断— 池田英男 (千葉大)
7. 日本を変える—分離の科学技術から非分離の科学技術へ— 矢野雅文 (東北大)

夕食・懇親会 (19:00~)

21日 (9:00~12:00) CS研究会 第一部

21日 (13:00~17:50)

[第2セッション]

1. 情報理論と情報スペクトル 韓 太舜 (NICT)
2. Compressed Sensing and its Applications in Wireless Communication 李 斗煥 (東大)
3. 将来ネットワークに向けた ICT 統合マネジメント 山田一久 (NTT)
4. NTT の一研究者が眺めてきた IPv6 の昔から今まで 宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)

[特別講演]

5. 注目される二つの周波数割り当て要求 (携帯だけがワイヤレスではない!) 伊藤泰彦 (KDDI 研)

[フェロー講演]

6. 伝達ネットワークの発展と今後の課題 佐藤健一 (名大) フェローと講師を囲んで (交流会) (20:30~)

22日 (9:00~12:00) CS研究会 第二部

【参加申込】

参加申込締切 11月9日(金)

参加費 (予稿集込):

学会員 25,000円, 非会員 30,000円, 学生 10,000円

宿泊費: 16,000円 (2泊/全参加者共通), 予稿集: 4,000円

参加申込手続き: 学会ホームページ (<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>) の CS ワークショップ参加申し込みフォームにてお申し込み下さい。宿泊、及び航空券手配につきましては CSWS パックを御用意しておりますので、同フォームよりお申し込み下さい。会場案内等の詳細は上記学会ホームページを御覧下さい。

【参加費の銀行振込先】

振込先: みずほ銀行 (銀行コード: 0001)

金沢文庫支店 (店番号: 899) 口座番号: 1146610

CSWS 実行委員会 (シーエスダブルエスジツコウエイインカイ)

なお、振込通知 (金額内訳を明記) を下記まで E-mail, FAX 等で行って下さい。

会計幹事 樽林亮介

FAX [046] 855-1284

E-mail : kurebayashi.ryosuke@lab.ntt.co.jp

【問合先】

山垣則夫 E-mail : n-yamagaki@cj.jp.nec.com

主催 情報伝送と信号処理ワークショップ実行委員会  
通信方式研究専門委員会

### ●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (第45回)—やさしいマルチユーザ MIMO—

実行委員長 庄木裕樹 (東芝)

アンテナ・伝播研究専門委員会では、関連する研究専門委員会と連携して、1994年度から第二種研究会として「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を開催して参りました。これは、アンテナ・伝播研究者や技術者を主たる対象に、設計・解析力の向上を図ることを目的とするもので、これまでに

告 37

モーメント法及びFDTD法によるアンテナ解析, アレーアンテナ, OFDMアレー信号処理及び高分解能到来波推定法, 移動通信における多重波伝搬理論, 人体ファントムとアンテナ評価技術, 無線タグ用アンテナ設計, メタマテリアルの基礎などをテーマに, 44回のワークショップを企画し好評を頂いております。

今回の第45回ワークショップでは, 現在開発が進められているLTE-AdvancedやIEEE802.11acで導入が予定されているマルチユーザMIMO(MU-MIMO)の基礎をテーマとします。本講義は, MU-MIMOの基礎となるMIMOの原理に始まり, MU-MIMOの基礎概念と基本特性を詳細に解説することで, これらの基礎を習得することを目的とします。

講師 西森健太郎(新潟大)

講義内容 以下の内容に沿って講習を進める予定です。

- (1) MU-MIMO導入のための基礎(MIMOの基礎)
- (2) MU-MIMOの概要
- (3) MU-MIMOにおける送信指向性制御法
- (4) MU-MIMOの基本特性
- (5) 実環境での測定結果例と今後の展開

上記の講習内容は, 若干変更することもございますので御了承下さい。なお, テキストは受講者に約3週間前に配布され, 予習して頂くことを前提としています。

日時 平成24年12月12日(水) 9:30~17:00

会場 東京工業大学田町キャンパスキャンパス・イノベーションセンター国際会議室(港区芝浦3-3-6, JR山手線/京浜東北線田町駅徒歩1分。http://www.titech.ac.jp/about/campus/t.html)

受講定員 100名

受講料(テキスト代金含む)

一般/会員 15,000円, 非会員 25,000円

学生/会員 5,000円, 非会員 10,000円

申し込み受け付け後, 事務局から受講受付番号と受講料振り込み案内をお送りしますので, それに従って受講料をお支払い下さい。なお, 会員価格での受講を希望される方は, 受講申込書に会員番号の記載が必要になりますので, 御注意下さい。また, 学会への入会手続き中の方は, 学会へ提出した入会申込書のコピー等, 入会を確認できる資料の提出をお願いします。会員/非会員の受講料の差額は, 一般の方については電子情報通信学会年会費の3/4に相当し, 学生の方については年会費を上まわっております。非会員の方には, この機会に, 電子情報通信学会への入会をお勧め致します。入会に関する情報は下記のURLを御参照下さい。電子情報通信学会入会案内

http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

受講申込期間 10月1日(月)~11月16日(金)

(先着順:満員になり次第締め切ります。期日前の申し込みは無効です。)

受講申込方法

下記(申し込みフォーム)からお申し込み下さい(郵送, 電話, FAXは不可)。なお受講申込後1週間以内に事務局からの回答がない場合には事務局へ申込受付確認の連絡をお願い致します。

http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/ws45

【受講申込先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第45回実行委員会 事務局 長尾圭子(東工大大学院電気電子工学専攻安藤研究室気付)

E-mail: workshop@antenna.ee.titech.ac.jp

【問合せ】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第45回実行委員会総務担当幹事

堀 智(小島7plus)

TEL [0561] 33-0380, FAX [0561] 33-0390

E-mail: hori@kojima-tns.co.jp

主催 アンテナ・伝播研究専門委員会

協賛 無線通信システム研究専門委員会, ソフトウェア無線研究専門委員会, IEEE AP-S Japan Chapter

## ●第26回光通信システムシンポジウム

「人間とICTの新しいかかわりを求めて—光通信がつなぐもの—」

実行委員長 石田 修(NEL)

実行副委員長 水落隆司(三菱電機)

日時 平成24年12月13日(木) 12:30~20:40

14日(金) 9:00~16:40

会場 東レ総合研修センター(三島市末広町21-9, JR線:三島駅北口より徒歩12分またはタクシー2分。http://www.toray.co.jp/location/loc\_401.html)

概要

光通信技術が支えるグローバルな情報通信ネットワークを基盤に, クラウドに代表される様々な新サービスの登場やスマートフォンに代表される新しい高機能端末の浸透が急速に進展しています。このようなサービスやアプリケーションの多様化に加え, その関連市場も大きく広がりつつあります。一方で光通信技術はポスト100Gに向けた動きが活発化しています。今年26回を迎える光通信シンポジウムでは, 「人間とICTのかかわり方」という俯瞰的観点からサービスやアプリケーションを捉えなおし, これからの光通信に求められるもの, 果たすべき役割について, 光通信技術をベースに展望します。今回は, 近年花開いている様々なサービスやアプリケーション, そしてそれを支える技術等について広く網羅する基調講演, 招待講演, ワークショップ, ランプセッションを企画しています。更に将来の担い手となる若手の方を対象としたポスターセッション, 光通信用部品・計測機器等の光通信関連製品の展示会, 及び公的ファンドの委託研究等の最新研究成果を紹介する展示会も併設して開催致します。関係者多数の御参加をお待ちしております。

[基調講演] SDNによるキャリア・サービス基盤の変革と今後への期待(仮) 伊藤幸夫(NTTコミュニケーションズ)

その他 招待講演, ワークショップ, ランプセッション, OCS表彰式を実施。(詳細はプログラム参照)

展示会 例年同様, 講演会場前ロビーにて展示会を実施します。

参加資格 特に制限はありません

参加費 学会員8,000円, 非会員11,000円, 学生1,000円

宿泊費 15,000円(全参加者共通)(1泊2日, 懇親会費込, 2日目の朝食食付)

懇親会 13日夕刻に開催

参加申込締切日 11月2日(金)(10月初旬参加申し込み受付開始予定(OCSホームページhttp://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/より))

【講演内容問合せ先】

平野 章(NTT)

TEL [046] 859-8554, FAX [046] 859-5541

E-mail: hirano.akira-ocs@lab.ntt.co.jp

【参加申込問合せ先】

斎藤恒聡(古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail : ocs@furukawa.co.jp

主催 光通信システム研究専門委員会

協賛 IEEE Photonics Society Japan Chapter, 超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会, フォトニックネットワーク研究専門委員会, 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

◎第26回光通信システムシンポジウムポスター発表募集

今回もポスターセッションを公募します。発表者は原則30歳未満の方を対象とします。下記の分野に関係する学術的内容に限ります。

[カテゴリ1: 光ファイバ伝送路]

光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ

[カテゴリ2: 光通信方式]

光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技術, 非線形・偏波問題, アナログ光伝送, 空間・可視光伝送, 量子通信

[カテゴリ3: 光通信網・規格]

コア・メトロシステム, 海底伝送システム, 光アクセスシステム・次世代PON, イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, 伝送監視制御, 光伝送システム設計・ツール

[カテゴリ4: 光通信機器]

光中継装置, 光クロスコネクタ(OXC), 光分岐挿入多重(OADM), 光送受信機・光端局装置, 光通信用デジタル信号処理, 誤り訂正, 光多重・分離装置, 光通信計測

[カテゴリ5: デバイスのシステム応用]

分散補償デバイス, 光信号処理, 合分波器, 光ファイバ型デバイス, 発光・受光素子, 光スイッチ素子, 光測定器, 光通信用LSI

発表申込締切 10月12日(金) 17:00

予稿提出締切 11月16日(金) 17:00

ポスター発表 12月13日(木) 14:00~15:15

予稿: A4縦1ページ, 日本語または英語, 書式は信学会大会の一般講演予稿と同様(様式はOCSページに掲載)  
ポスター: サイズ: A0縦(横84cm×縦119cm)以内  
日本語または英語, 書式は自由, 印刷物を当日持参

【発表申込先】

平野 章 (NTT)

TEL [046] 859-8554, FAX [046] 859-5541

E-mail : ocs-poster@mail.ieice.org

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●テラヘルツ応用システム研究会

委員長 久々津直哉 (NTT)

テラヘルツ帯電磁波領域は光と電波の狭間にあつて、発生・検出が容易でなかったため、あまり利用されてきませんでした。近年のフェムト秒レーザー技術の進歩やエレクトロニクス素子の高周波化に伴い、未利用周波数帯であるテラヘルツ帯を積極的に利用しようとするテラヘルツ波応用技術分野の研究が内外で活発になってきています。当該技術分野を開拓するための発表・討論の場として、以下のとおり研究会を開催致します。

下記要領で一般発表を募集致しますので、多数のお申し込みをお待ちしております。

期日 平成25年1月17日(木)

会場 NTT武蔵野研究開発センタ(東京都内の他の会場に変更の可能性もあり)

参加費(予定) 一般:5,000円, 学生:無料

一般発表申込締切 11月16日(金)

発表を希望される方は、発表題目、発表者(著者全員分)、所属(著者全員分)、発表概要(100~200文字程度)、連絡先を下記幹事補佐までお知らせ下さい。

当日、機器展示ブースの設置を検討しております。展示の御希望がある場合は、下記幹事補佐までお知らせ下さい。

展示申込締切 11月16日(金)

【申込・問合せ先】

矢板 信 (NTT)

E-mail : yaita.makoto@lab.ntt.co.jp

◎詳しくはテラヘルツ応用システム研究会ホームページを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/es/thz/>

主催 テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

# ●…………… 支 部 大 会 ……………●

## ——平成 24 年電気関係学会関西連合大会——

期 日 平成 24 年 12 月 8 日 (土), 9 日 (日)  
会 場 関西大学千里山キャンパス 100 周年記念会館 (吹田市山手町 3-3-35, 阪急電鉄千里線「関大前」駅下車, 南改札口から徒歩約 5 分)

ポスターシンポジウム 「関西からはばたく最新技術」

期日: 12 月 8 日 (土) 11:20~13:20 (ディスカッションタイム)

会場: 100 周年記念会館ホール 2

・平成 23 年度奨励賞・優秀論文発表賞受賞のテーマを中心に開催します。

一般講演 期日: 12 月 8 日 (土) 午前

12 月 9 日 (日) 午前・午後

会場: 100 周年記念会館ホール 1・2, 特別会議室, 第 1 会議室, 展示ロビー, ロビー

- 題 目 G1. 電気理論・電気物理・レーザ応用  
G2. 計測・センサ・マイクロマシン  
G3. 制御・システム  
G4. 電気機器・産業応用/パワーエレクトロニクス  
G5. 電力・エネルギー  
G6. 電気電子材料・デバイス  
G7. 電磁波・アンテナ・伝搬・無線通信システム・無線通信ネットワーク  
G8. 光エレクトロニクス・光通信システム・光通信ネットワーク  
G9. 電子回路・集積回路・ハードウェア設計  
G10. 情報基礎・通信基礎・アルゴリズム  
G11. 情報処理システム  
G12. 照明  
G13. 画像処理技術  
G14. 映像メディア関連技術  
G15. 電気設備

学会の垣根を越えた活発な討論のために全ての一般講演をポスターセッション (2 分間の概要発表付) にて行います。

特別講演

期日: 12 月 8 日 (土) 13:30~15:20

会場: 100 周年記念会館ホール 1

題目: ①京都千年の地下水脈 楠見晴重 (関西大)

②環境とエレクトロニクス

—エネルギーの自立分散化に向けて—

太田賢司 (シャープ)

パネルディスカッション

テーマ: 住宅・自治体等における分散電源と電力の効率的利用技術

日時: 12 月 8 日 (土) 15:30~17:30

会場: 関西大学 100 周年記念会館ホール 1

司会: 舟木 剛 (阪大)

パネリスト 品川幹夫 (パナソニック), 鈴木浪平 (三菱電機), 吉田謙吾 (大阪府環境局)

ブース出展 学生と企業・大学との交流を目的として企業及び大学からのブース出展が行われます。

大会参加費 事前登録: 正会員 4,000 円, 准員・学生員・留学生 3,000 円, 非会員 6,000 円

当日登録: 正会員 6,000 円, 学生 4,000 円, 非会員 8,000 円

(大会参加費にはプログラム・講演論文集 (CD) の代金が含まれます)。

大会 HP から 11 月 14 日 (水) までに参加申込み・登録をして下さい。期間内に大会参加費の払込みも済まされますと、事前登録の割引料金が適用されます。また、申込み時に発行される登録 ID 及びパスワードを用いて、11 月 26 日 (月) から大会 HP 経由で事前に論文を閲覧することもできます。お支払いは、郵便局備付けの青色振込用紙 (加入者名: 電気関係学会関西連合大会実行委員会 口座番号: 00990-8-107220) に、申込み時に発行される登録 ID と参加者 (登録者) 氏名を必ず明記した上で、送金して下さい。詳しくは、大会 HP を御覧下さい。大会参加費を事前に送金していない方は、入場の際、総合受付で当日登録料金をお支払い下さい。従来どおりの当日参加も受け付けます。

懇親会 日時: 12 月 8 日 (土) 18:00~19:30

会場: 100 周年記念会館レストラン「紫紺」

会費: 一般, 学生 5,000 円 (事前登録), 6,000 円 (当日参加)

プログラム・講演論文集 (CD)

プログラム・講演論文集 (CD) の代金は、大会参加費に含まれています。プログラム・講演論文集 (CD), 大会参加章及び領収書等は、大会当日、受付にてお渡します。

奨励賞表彰

会員の育成と当学会の発展を目的として、優秀な講演発表を行った新進の研究者・技術者に下記の賞を贈呈します。

- (1) 連合大会奨励賞
- (2) 電気学会優秀論文発表賞
- (3) 電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞
- (4) 映像情報メディア学会関西支部優秀論文発表賞
- (5) 照明学会関西支部優秀論文発表賞

なお、(1)については全一般講演部門を対象とし、(2)~(5)については各学会関係の一般講演部門を対象とします。また(1), (2), (5)については、講演発表時に 35 歳未満の方を対象とします。各賞の詳細については大会 HP を御覧下さい。

問合先 info2012@kjciece.org

HP <http://kjciece.org/kjciece2012>

主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会・電気設備学会各関西支部

協 賛 IEEE Kansai Section



●… 講演会・講習会・学術研究集会等 …●

東京支部

●講演会「情報圧縮符号化技術の歴史と最新動向を探る」

日時 平成24年10月26日(金) 15:00~17:00

会場 機械振興会館地下2階ホール(東京都港区芝公園3-5-8  
地下鉄日比谷線神谷町駅下車徒歩8分)

司会 上原一浩(日本電信電話株式会社)

題目 「情報圧縮符号化技術の歴史と最新動向を探る」

①「音声・オーディオ圧縮符号化技術と国際標準化動向」

講師 守谷健弘(日本電信電話株式会社 NTT フェ  
ロー)

②「圧縮センシング技術の基礎と応用」

講師 李斗煥(東京大学) ※日本語による講演

概要 現代のICTを支えるキー技術の一つに情報圧縮符号化  
技術があります。携帯電話、デジタルカメラ、携帯音  
楽プレーヤ、DVDやブルーレイディスク、地デジや衛  
星放送、等々、身の回りの製品やサービスにおいて必要  
不可欠の技術であり、動画・音声・画像・マルチメ  
ディアコンテンツ等、様々なメディアに対し、様々な情報  
圧縮符号化技術が用いられています。本講演会では特に、  
携帯電話でも必須の音声・オーディオ圧縮符号化技術の  
歴史と最新の国際標準化動向、及び、画像処理・天文  
学・MRI・地震分析・無線通信・センサネットワーク等  
の広範囲な分野で応用されつつある圧縮センシング技術  
の基礎と最新動向を紹介します。

定員 200名(先着順で定員になり次第締切)

申込締切日 開催日当日まで受け付けます。

参加費 無料 ※非会員の方も無料で御参加頂けます。

申込方法 E-mailまたはFAXで、a. 開催月日、b. 講演会題  
目、c. 氏名、d. 会員種別、e. 会員番号、f. 勤務先、  
g. 勤務先TELまたはFAX番号を御記入の上、下記東  
京支部までお申込み下さい。 ※a~d、fは入力必須項  
目となりますのでよろしくお願い致します。

お申込み後にE-mailまたはFAXで「参加番号」をお  
知らせ致します。

申込先 E-mail kouen@tokyo.ieice.org, FAX [03] 3433-6659

その他 講演題目、講師等は都合により変更になる場合がございます。

主催 電子情報通信学会東京支部、TEL [03] 3433-6691

協賛 IEEE 東京支部

関西支部

●電気四学会関西支部専門講習会

「LEDと照明—その生体への影響—」

光源の世代交代の時代を迎え、従来の蛍光灯や白熱電球から  
LEDなどの次世代光源に切り替わりつつあります。また同時に、  
LEDや照明・光が生体に与える影響に関する研究が進んでいます。  
照明学会関西支部では、これらのLEDや照明、光が生体に与え  
る影響や、サーカディアンについての専門講習会を開催致しま  
す。是非御参加をお願い致します。

日時 平成24年10月29日(月) 13:30~17:00

会場 大学コンソーシアム大阪D・Eルーム(大阪市北区梅田  
1-2-2-400 大阪駅前第二ビル4階キャンパスポート大  
阪内 TEL [06] 6344-9560 [\[osaka.gr.jp/\]\(http://osaka.gr.jp/\)\)](http://www.consortium-</a></p></div><div data-bbox=)

題目と講師: 司会 椎葉隆代(竹中工務店)

(1) 開講の挨拶 照明学会関西支部支部長

(2) メラトニンと体温リズムへの光の影響—誰が、いつ、ど  
のような光を、どの程度受けたか—

森田 健(福岡女子大)

(3) LED時代のサーカディアン照明—その生物学的基礎—

高雄元晴(東海大)

(4) 閉講の挨拶 照明学会関西支部庶務幹事

聴講料 主催・共催・協賛学会: 正員4,000円, 准員・学生員  
1,000円

会員外(一般)6,000円, 会員外(学生)1,000円, 照  
明基礎講座(50名まで)3,000円 \*全て税込価格

定員 100名(定員になり次第、締め切らせて頂きます)

申込方法 講習会題目、開催日、会員種別、照明基礎講座受講者  
番号、氏名、連絡先(会社・学校名、所属、郵便番号、  
所在地、電話番号)をFAX、E-mailで下記の申込先  
にお申込み下さい。当日、受付にて聴講料をお支払い頂く  
際に領収書を御用意させて頂きます。

申込先 照明学会関西支部事務局 加藤敏躬  
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-22-38 三洋ビル4F  
あゆみコーポレーション内  
TEL [06] 6441-5539, FAX [06] 6441-2055  
[iej-kansai@a-youme.jp](mailto:iej-kansai@a-youme.jp)

主催 電子情報通信学会・照明学会・電気学会・映像情報メ  
ディア学会各関西支部

協賛 電気設備学会・日本色彩学会・日本人間工学会各関西支  
部、海上交通システム研究会

●電気四学会関西支部一般見学会

今回は、西日本電信電話株式会社大阪支店オープンハウス、及  
び、ものづくりビジネスセンタ大阪MOBIOを見学します。西  
日本電信電話株式会社大阪支店オープンハウスでは、「安心・信  
頼」「電話のつながる仕組み・歴史」「技術力」等を学ぶために、  
情報通信サービスを支える「交換機、伝送設備、電力設備、洞  
道」を見学させて頂きます。

また、ものづくりビジネスセンタ大阪MOBIOでは、情報通  
信という枠にとどまらず、他業種との連携、産官学連携などの考  
え方も含めた、幅広い取組みを紹介して頂くとともに航空宇宙関  
連、繊維衣料関連、ロボット産業機械関連、ナノテクノロジー関  
連他など様々な業種の大阪が誇る約200社ものオンリーワン・  
トップシェア企業の優れた技術や製品を見学させて頂きます。  
奮って御参加下さい。

日時 平成24年11月9日(金) 9:40~16:20

集合時間 9:40(時間厳守、晴雨不問)

集合場所 西日本電信電話株式会社大阪支店南側入り口前(大阪  
中央ビル所在地: [http://www.ntt-west.co.jp/osaka/ac  
cess/index.html](http://www.ntt-west.co.jp/osaka/access/index.html))

行程

9:40 集合

10:00~12:00 西日本電信電話大阪支店オープンハウス(大  
阪市)

<http://www.ntt-west.co.jp/osaka/access/index.html>

12:00~14:00 バスで移動(昼食含)

14:00~15:30 ものづくりビジネスセンタ大阪MOBIO見  
学(東大阪市)

<http://www.m-osaka.com/jp/>

15:30~16:20 ミーティング後、大阪駅にて解散

参加人数 35名(申込先着順, 定員になり次第, 締め切らせて頂きます)

参加費 2,000円(昼食代を含む)

申込方法 参加希望者は, 氏名・年令・所属・電話番号を電子情報通信学会関西支部のHP (<http://www.ieice.org/kanasai/>) からお申込み下さい。なお, E-mail, FAX, はがきでも受け付けますので下記にお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25  
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部, 電子情報通信学会関西支部学生会

## 九州支部

### ●平成24年度九州支部専門講習会

「酸化半導体の最前線—基礎と応用—」

多くの物質は大気中で酸化されるため, 酸化半導体はこれまでの化合物半導体と比較して, 大気中での安定性が高く, また安価に形成できる可能性を有しています。更に現時点で, 様々な機能を有する優れた酸化物が開発研究されており, 元素戦略や省エネ化に適した材料であることが明らかになりつつあります。今回, 世界の最先端で酸化半導体を研究している方々を講師としてお招きし専門講習会を実施します。

日時 平成24年10月12日(金) 13:00~17:30

会場 熊本大学百周年記念館

講師 神谷利夫(東工大)・藤田静雄(京大)・天明二郎(静岡大)・川崎雅司(東大)

※演題は未定(下記支部サイトで御確認下さい)

受講料 無料

対象 大学学部, 大学院生, 一般(学会会員以外も参加可能)

申込先 九州支部サイト設置のメールフォームよりお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/kyushu/koushu/koushu.html>

開催担当 熊本大学大学院自然科学研究科 中村有水

問合せ先 電子情報通信学会九州支部事務局  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-2-28 南館 8F  
TEL [092] 714-8094, FAX [092] 483-3562  
shibu@kyushu.ieice.org

主催 電子情報通信学会, 電子情報通信学会九州支部

協賛 熊本大学工学部

### ●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (WSR16) —OFDM 伝送と受信用アレー信号処理の基礎—

電子情報通信学会アンテナ・伝播研究専門委員会では, 関連する研究専門委員会と連携して, 1994年度から第二種研究会として標記のワークショップを開催してきました。これは, アンテナ・伝搬研究者や技術者を主たる対象に, 設計・解析の実力向上を図ることを目的とするもので, これまでに第44回までのワークショップを実施し好評を頂いています。

今回, 九州支部管内での再開催の御要望にお応えするため, アンテナ・伝播研究専門委員会と九州支部の共同主催にて, 標記ワークショップ第42回「OFDM 伝送と受信用アレー信号処理の基礎」の内容を, WSR16として九州・福岡にて開催致します。

本講義は, 主に基礎の習得を目的とします。奮って御参加下さい。

開催内容 本講義では, 以下の項目に沿って講習を進めます。

- (1) OFDM 伝送の基礎
- (2) 多重波環境における OFDM 伝送とその課題
- (3) アダプティブアレーの基礎
- (4) OFDM 受信用アレーの基本構成と動作
- (5) 実際の応用例

※テキストは受講者に開催前に配布し, 予習を前提と致します。

日時 平成24年11月22日(金) 9:30~17:00

会場 電気ビル本館地下2階7号会議室(福岡市中央区渡辺通 2-1-82, [http://www.kyumen.co.jp/rental/denki\\_access.html](http://www.kyumen.co.jp/rental/denki_access.html))

講師 藤元美俊(福井大)

受講定員 50名(※先着順)

受講料 学会員 正員 3,000円/学生会員 2,000円  
非会員 一般 25,000円/学生 10,000円

※九州支部賛助会会員企業に御所属の方は別途受講料指定がございますので詳しくは申込 URL 先にて御確認下さい。

※受講料はテキスト代込みです。

受講申込 平成24年10月1日(月)~26日(金)(※満員になり次第締め切ります)

申込方法 電子情報通信学会九州支部 Web サイトよりお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/kyushu/koushu/apws.html>

問合せ先 WSR16 幹事 福迫 武(熊本大)  
fukusako@cs.kumamoto-u.ac.jp  
電子情報通信学会九州支部事務局  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-2-28 南館 8F

TEL [092] 714-8094, shibu@kyushu.ieice.org

主催 電子情報通信学会アンテナ・伝播研究専門委員会, 電子情報通信学会九州支部

協賛 IEEE AP-S Fukuoka Chapter

## ——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012 「多チャンネルオーディオの可能性」

期日 平成24年10月9日(火)~11日(木)

会場 せんだいメディアテーク(仙台市)

問合せ先 AES 日本支部コンファレンス係  
TEL [03] 5358-7320, FAX [03] 5358-7328  
conf2012-office@aes-japan.org

センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2012 次世代センサ総合シンポジウム “ニーズとシーズの出会い”

期日 平成24年10月10日(水)~12日(金)

会場 東京ビッグサイト(東京都江東区)

問合せ先 次世代センサ協議会事務局  
TEL [03] 5294-2333, FAX [03] 5294-0909  
sensor@cnt-inc.co.jp  
<http://www.cnt-inc.co.jp/jisedai/>

短期集中セミナー「高度なIT人材の育成を加速するために: 求められる人材像とその評価」

期日 平成24年10月11日(木)

会場 国立情報学研究所(東京都千代田区)

問合先 情報処理学会事業部門  
TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375  
jigyo@ipsj.or.jp

#### 組込みシステムシンポジウム 2012 (※)

期 日 平成 24 年 10 月 16 日 (火)~19 日 (金)  
会 場 オリピック記念青少年センター (東京都渋谷区)  
問合先 sig@ipsj.or.jp

#### 第 41 回 薄膜・表面物理基礎講座(2012)「簡単に使えるようになります! 実験補完ツールとしての材料シミュレーション入門」

期 日 平成 24 年 10 月 17 日 (水), 18 日 (木)  
会 場 東京工業大学大岡山キャンパス (東京都目黒区)  
問合先 応用物理学会事務局 分科会担当 上村  
TEL [03] 5802-0863, FAX [03] 5802-6250  
kamimura@jsap.or.jp

#### Women in Engineering 2012 「女性が拓く未来のテクノロジー」

期 日 平成 24 年 10 月 20 日 (土)  
会 場 機械振興会館 (東京都港区)  
問合先 東京大学生産技術研究所 中野美由紀  
TEL [03] 5452-6256, FAX [03] 5452-6457  
miyuki@tkl.iis.u-tokyo.ac.jp

#### Optics & Photonics Japan 2012 (※)

期 日 平成 24 年 10 月 23 日 (火)~25 日 (木)  
会 場 タワーホール船堀 (東京都江戸川区)  
問合先 OPJ2012 事務局 (アドスリー内)  
TEL [03] 5925-2840, FAX [03] 5925-2913  
opj@opt-j.com <http://www.opt-j.com/opj2012/>

#### 計測展 2012 OSAKA

期 日 平成 24 年 10 月 31 日 (水)~11 月 2 日 (金)  
会 場 グランキューブ大阪 (大阪市)  
問合先 日本電気計測器工業会広報・展示部 富山  
TEL [03] 3662-8184, FAX [03] 3662-8180  
jemima-showosaka@jemima.or.jp

#### NII 湘南会議記念シンポジウム

期 日 平成 24 年 11 月 1 日 (木)  
会 場 学会会館 (東京都千代田区)  
問合先 国立情報学研究所企画課国際・教育支援チーム  
小林雅幸  
TEL [03] 4212-2165, FAX [03] 4212-2150  
international@nii.ac.jp

#### 第 21 回ポリマー材料フォーラム

期 日 平成 24 年 11 月 1 日 (木), 2 日 (金)  
会 場 北九州国際会議場・西日本総合展示場 (北九州市)  
問合先 高分子学会 神宮司  
TEL [03] 5540-3771, FAX [03] 5540-3737  
21pmf@spsj.or.jp

#### 第 25 回秋季信頼性シンポジウム

期 日 平成 24 年 11 月 2 日 (金)  
会 場 日本科学技術連盟千駄ヶ谷本部ビル (東京都渋谷区)  
問合先 日本信頼性学会事務局 (日本科学技術連盟 東高円寺ビル内)  
TEL [03] 5378-9853, FAX [03] 5378-9844  
reaj@juse.or.jp

#### 第 6 回 KAST システムバイオロジー講座 (全般篇)「生命のシステム探索のための手引き」

期 日 平成 24 年 11 月 2 日 (金)  
会 場 かながわサイエンスパーク (川崎市)  
問合先 神奈川科学技術アカデミー教育研修グループ  
担当 石川  
TEL [044] 819-2033, FAX [044] 819-2097

#### 平成 24 年度材料科学基礎講座「電気系エンジニアのための材料科学」(※)

期 日 平成 24 年 11 月 2 日 (金)  
会 場 住化分析センター (東京都文京区)  
問合先 日本材料科学会 (裳華房内)  
TEL [03] 3262-9166, FAX [03] 3262-7257  
mssj@shokabo.co.jp <http://www.mssj.gr.jp>

#### 第 186 回研究会: ナノ磁気制御及び検出技術の最先端技術動向 (※)

期 日 平成 24 年 11 月 2 日 (金)  
会 場 中央大学駿河台記念館 (東京都千代田区)  
問合先 日本磁気学会事務局  
TEL [03] 5281-0106  
<http://www.magnetics.jp/seminar/topical/186.html>

#### 薄膜材料デバイス研究会 第 9 回研究集会「薄膜デバイスの未来」

期 日 平成 24 年 11 月 2 日 (金), 3 日 (土)  
会 場 なら 100 年会館 (奈良市)  
問合先 同研究会事務局代表 古田 守 (高知工科大学環境理工学群)  
TEL [0887] 57-2771, FAX [0887] 57-2714  
furuta.mamoru@kochi-tech.ac.jp

#### シンポジウム「情報学による未来社会のデザイン」—健全でスマートな社会システムに向けて—第 1 回大量データにもとづく未来社会のデザイン

期 日 平成 24 年 11 月 8 日 (木)  
会 場 学術総合センター—橋講堂 (東京都千代田区)  
問合先 godosympo@info.ist.go.jp  
<http://www.info.jst.go.jp/event/godosympo/>

#### 第 7 回 超分子研究会講座「省エネ環境デバイスを支える超分子」(※)

期 日 平成 24 年 11 月 9 日 (金)  
会 場 上智大学 (東京都千代田区)  
問合先 高分子学会同講座係  
TEL [03] 5540-3770, FAX [03] 5540-3737

第 28 回 (2012) 京都賞記念ワークショップ 先端技術部門「コンピュータグラフィックスとバーチャルリアリティ～その原点から、未来展開を考える～」

期 日 平成 24 年 11 月 12 日 (月)  
会 場 国立京都国際会館 (京都市)  
問合先 稲盛財団学術部 今  
TEL [075] 353-7272, FAX [075] 353-7270  
research@inamori-f.or.jp <http://www.inamori-f.or.jp/>

第 74 回ロボット工学セミナー「サービスロボットの安全規格と開発プロセス」(※)

期 日 平成 24 年 11 月 12 日 (月)  
会 場 東京大学本郷キャンパス工学部 (東京都文京区)  
問合先 日本ロボット学会事務局 担当 水谷  
TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628  
soumu@rsj.or.jp

有機分子・バイオエレクトロニクス分科会講習会「有機半導体分析技術の基礎」(※)

期 日 平成 24 年 11 月 12 日 (月)  
会 場 CIVI 新大阪研修センター (大阪市)  
問合先 応用物理学会分科会担当 上村  
divisions@jsap.or.jp

第 23 回プラズマエレクトロニクス講習会—プラズマプロセスの基礎と新しい応用に向けて—(※)

期 日 平成 24 年 11 月 14 日 (水)  
会 場 東京大学武田先端知ビル (東京都文京区)  
問合先 応用物理学会 上村  
TEL [03] 5802-0863, FAX [03] 5802-6250  
kamimura@jsap.or.jp

「色彩工学—その基礎と実用的応用」技術講座 (※)

期 日 平成 24 年 11 月 16 日 (金)  
会 場 機械振興会館 (東京都港区)  
問合先 日本オプトメカトロニクス協会  
TEL [03] 3435-9321, FAX [03] 3435-9567  
info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

学術フォーラム「ICT を生かした社会デザインと人材育成」

期 日 平成 24 年 11 月 16 日 (金)  
会 場 日本学術会議講堂 (東京都港区)  
問合先 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当  
TEL [03] 3403-6295, FAX [03] 3403-1260  
<http://www.scj.go.jp/>

第 32 回表面科学学術講演会 (※)

期 日 平成 24 年 11 月 20 日 (火)～22 日 (木)  
会 場 東北大学さくらホール (仙台市)  
問合先 日本表面科学会事務局同講演会係  
TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897  
taikail2@sss.org <http://www.sssj.org>

第 20 回カメラ技術セミナー (※)

期 日 平成 24 年 11 月 22 日 (木)  
会 場 オリピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)  
問合先 日本写真学会事務局  
TEL [03] 3373-0724, FAX [03] 3299-5887  
spstj@pht.t-kougei.ac.jp  
[http://spstj.org/event/nissya\\_e\\_syosai\\_91.html](http://spstj.org/event/nissya_e_syosai_91.html)

第 20 回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS 2012)

期 日 平成 24 年 12 月 6 日 (木)～8 日 (土)  
会 場 古牧温泉青森屋 (三沢市)  
問合先 WISS 2012 プログラム委員 中野倫靖 (産業技術総合研究所情報技術研究部門)  
TEL [029] 861-5925, FAX [029] 861-3313  
t.nakano@aist.go.jp

HAI シンポジウム 2012 (HAI-2012)

期 日 平成 24 年 12 月 7 日 (金)～9 日 (日)  
会 場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館 (京都市)  
問合先 静岡大学創造科学技術大学院 竹内勇剛  
TEL & FAX [053] 478-1455  
takeuchi@inf.shizuoka.ac.jp

アドホックネットワークプラットフォームに関するコンソーシアム記念シンポジウム

期 日 平成 24 年 12 月 12 日 (水)  
会 場 笹川記念会館 (東京都港区)  
問合先 [adhoc\\_info@adhoc-nwk-consortium.jp](mailto:adhoc_info@adhoc-nwk-consortium.jp)

薄膜・表面物理分科会特別研究会「走査型プローブ顕微鏡 (26) & ICSPM20」(※)

期 日 平成 24 年 12 月 17 日 (月)～19 日 (水)  
会 場 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ (那覇市)  
問合先 応用物理学会 上村  
TEL [03] 5802-0863, FAX [03] 5802-6250  
kamimura@jsap.or.jp

シンポジウム「モバイル'13」(※)

期 日 平成 25 年 3 月 7 日 (木), 8 日 (金)  
会 場 青山学院大学青山キャンパス (東京都渋谷区)  
問合先 モバイル学会事務局 (神戸女子大学内)  
TEL & FAX [078] 737-2349  
[mgo@mobilergo.com](mailto:mgo@mobilergo.com) <http://www.mobilergo.com/>

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第11回国際フェライト会議 ICF11

期 日 2013年4月15日(月)~19日(金)  
会 場 沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)  
問合先 ICF11 事務局長 松下伸広(東京工業大学応用セラミックス研究所)  
TEL [045] 924-5310, FAX [045] 924-5358  
ICF11@msl.titech.ac.jp

OPTICS & PHOTONICS International Exhibition 2013 (OPIE'13)

期 日 2013年4月24日(水)~26日(金)  
会 場 パシフィコ横浜(横浜市)  
問合先 オプトロニクス社事業推進室 宇津野  
TEL [03] 3269-3550, FAX [03] 3269-2551  
utsuno@optronics.co.jp <http://www.optronics.co.jp>

The 13th IAPR International Conference on Machine Vision Applications (MVA2013)

期 日 2013年5月21日(火)~23日(木)  
会 場 立命館大学朱雀キャンパス(京都市)  
問合先 MVA 組織委員会 東京大学生産技術研究所気付  
TEL [03] 5452-6242, FAX [03] 5452-6244  
mva2013-sec@mva-org.jp  
<http://www.mva-org.jp/MVA2013/>

The 12<sup>th</sup> International Symposium on Sputtering and Plasma Processes (ISSP 2013)

期 日 2013年7月10日(水)~12日(金)  
会 場 京都市サーチパーク(京都市)  
問合先 ISSP2013 事務局 担当 堀 則子(金沢工業大学高度材料科学研究開発センター内)  
TEL [076] 274-9250, FAX [076] 274-9251  
sec@issp2013.org <http://issp2013.org/>

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)  
<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication  
Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.  
Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.  
Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)  
Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)  
Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

——平成 24 年度論文賞候補論文推薦について（通信ソサイエティ）——

\*\*\*\*\* Nomination guidelines for the 2012 Best Paper Awards of IEICE (Communications Society) \*\*\*\*\*

通信ソサイエティから、ソサイエティ会員（正員）の皆様へ平成 24 年度論文賞候補論文推薦のお願いです。論文賞は、各ソサイエティ論文誌に掲載された論文から、特に優秀なものを毎年各 3 編選出し表彰するものです。通信ソサイエティ会員（正員）の皆様には積極的な御推薦をお願い致します。

なお、論文賞候補に推薦された論文は、通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます。通信ソサイエティ論文賞は、通信ソサイエティが 2006 年度に創設し、Best Paper Award, Best Tutorial Paper Award, Best Letter Award のようにカテゴリー別に優れた論文を年間 11 編まで選定し表彰するものです。

論文賞候補の推薦にあたっては、下記の事項に御注意下さい。

◎ 論文賞推薦条件及び規程

1. 推薦対象

論文賞候補となる論文は、平成 23 年 10 月から平成 24 年 9 月までの間に本会通信ソサイエティの論文誌に発表された論文とする。ただし、招待・解説論文は通信ソサイエティ論文賞の候補にはなるが、論文賞の候補とはならない。

2. 推薦用紙

通信ソサイエティ正員は、推薦用紙若しくは通信ソサイエティ HP 上 (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>) の所定の様式により論文賞候補論文 1 編を推薦する。なお、推薦用紙を用いた場合は、本会総務部宛て郵送のこと。

3. 推薦資格及び推薦件数

通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編

4. 推薦期日

平成 24 年 11 月 1 日（木）（必着）

5. 選奨規程下記参照

- .....
1. The candidate papers must be selected from the IEICE Transactions on Communications published between October 2011 and September 2012. Note that Invited Papers shall be the candidates only for the Best Tutorial Paper Award of the IEICE Communications Society.
  2. Any regular member of the IEICE Communications Society can nominate one paper for the award candidates either via the prescribed nomination form or via the Web page of the IEICE Communications Society. (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>)
  3. The nomination deadline is November 1, 2012.
  4. For detailed provisions of the Best Paper Award of IEICE, see <http://www.ieice.org/eng/awards/provisions.html#03>

◎ 論文賞規程

第 4 章 論文賞

第 11 条 論文賞は、本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に発表された論文のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

第 12 条 表彰する論文は、各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごとに毎年各 3 編、計 12 編とする。なお、編数は事情により変更することができる。

第 13 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。

第 14 条 表彰する論文が共著の場合は、著者全員を表彰する。

第 15 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。

◎ 各ソサイエティ論文賞候補論文選定方法規程

<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/societysentei.html#B> を参照。

◎ 通信ソサイエティ論文賞規程

<http://www.ieice.org/cs/jpn/cs-edit/files/best-paper.html> を参照。

《通信ソサイエティ》平成 24 年度論文賞候補論文推薦用紙  
Nomination for the 2012 Best Paper Award of IEICE (Communications Society)

論文種別 Type of article	<input type="checkbox"/> 論文 (Paper) <input type="checkbox"/> 招待・解説論文 (Invited Paper) <input type="checkbox"/> サーベイ論文 (Survey Paper) <input type="checkbox"/> レター (Letter)
論文名 Title	
著者名 Author(s)	
分冊 Edition published in parts	<input type="checkbox"/> 和文論文誌 B (IEICE Trans. Commun. (Japanese Edition)) <input type="checkbox"/> 英文論文誌 B (IEICE Trans. Commun.)
掲載年月号 Published date	掲載号 (Published date) :                      年 (Year)                      月号 (Month)
推薦理由 Reason for nomination	
推薦者 Nominator 通信ソサイエティ正員 Regular member of Communications Society	氏名    (会員番号 :    ) Name    Membership number  勤務先・所属名 Affiliation

※論文賞候補の推薦は本用紙に限ります。(コピーしたものは受け付けません.)  
This is an official form for the award nomination. Copied form is not accepted.

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。  
Reason for nomination must be provided. Each regular member of the Communications Society is allowed to nominate one article.

※本推薦により、上記論文は通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます。  
The paper nominated here is also registered as the award candidate of the Best Paper Award of the Communications Society.

※招待・解説論文は、論文賞の候補となりませんので御注意下さい。  
Invited Papers shall not be nominated for the Best Paper Award of IEICE.

提出先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 電子情報通信学会総務部  
Mail to: Finance and Administration Department, IEICE Headquarters Office  
Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 Japan

——情報・システムソサイエティ論文賞 候補論文推薦依頼——

情報・システムソサイエティ論文賞選定委員会  
委員長 井宮 淳

情報・システムソサイエティでは1999年度より、本部論文賞とは別に、情報・システムソサイエティ論文賞（以下ソサイエティ論文賞と略記）を新設致しております。情報・システムソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。ソサイエティ論文賞は和・英論文誌Dに掲載された論文を対象とし、以下の3種類のうちから原則1件、特に優秀な論文を選び、その著者に贈呈します。

1. [サーベイ論文] 2011年10月から2012年9月の1年間に掲載された和・英のサーベイ論文のうち、特に優秀なもの。
2. [先見論文] 2007年10月から2011年9月の4年間に掲載された和・英の論文のうち、新たに価値が認識された特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。
3. [連作論文] 2007年10月から2012年9月の5年間に掲載された和・英の論文のうち、同一著者による複数件の論文が連作として優れていると認められるもの。ただし連作の論文の一つが既に本部論文賞あるいはソサイエティ論文賞を受賞している場合は対象としません。

正員が推薦できる論文は1編です。ただし、連作論文の場合は複数の論文からなる連作1件です。下記に記入の上、学会事務局（〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館 電子情報通信学会大会・研究会部 ISS担当）宛てに12月3日（月）までに郵送して下さい。本ページを切り取って使用して下さい。複写したものは受け付けません。

なお、ソサイエティ論文賞の詳細につきましては、電子情報通信学会誌 vol. 82, no. 10, pp. 1072-1073, “情報・システムソサイエティ論文賞の創設”（1999年10月）または、情報・システムソサイエティ誌 第4巻第3号 “ソサイエティ活性化の新しい試み”（1999年10月 <http://www.ieice.org/~iss-mag/pdf/Vol4No3.pdf>）を御覧下さい。

情報・システムソサイエティ論文賞 2012年度候補論文推薦用紙

論文種別（[サーベイ論文] [先見論文] [連作論文]）いずれか一つに○印をつける	
推薦論文（論文名、著者、掲載年月号、論文誌種別を明記 [連作論文] の場合はすべてを挙げること）	
推薦理由	
推薦者 (情報・システムソサイエティ正員氏名)	勤務先・所属
	勤務先住所・電話・電子メール
会員番号	

(本部論文賞の推薦用紙は会誌11月号会告欄に掲載致します。お間違えのないよう御注意下さい)



——平成 24 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙——

今年度の学術奨励賞は、2012 年総合大会（岡山大学）及び、2012 年ソサイエティ大会〔基礎・境界、通信、エレクトロニクスの 3 ソサイエティになります〕（富山大学）の講演者を対象に選定致します。受賞者は、上記 2 大会における各座長、各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します。

つきましては、今回は 2012 年ソサイエティ大会の講演者を対象として募集致しますので、下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方が御推薦下さるようお願い致します。

- <被推薦者の条件>
1. 本会会員であること
  2. 2012 年ソサイエティ大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演、シンポジウム講演）であること。
  3. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳未満の者であること。ただし翌年 1 月 1 日が誕生日の者は対象とする。
  4. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること。

<推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙>

本会正員に限る。前記被推薦者の条件 1.～4. 項に該当し、適格と認められる者 1 名を推薦。下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し、電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること。

<締切期日> 平成 24 年 10 月 12 日（金）必着（以後の到着は無効となります）

..... 切 取 線 .....

平成 24 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 (条件 2) 所属	会員番号： (条件 1)	年齢： (条件 3)
発表大会名	2012 年ソサイエティ大会(富山大学)	
(講演番号)	( )	
題 名		
推 薦 理 由		
推 薦 者 氏 名	正 員 (会員番号： )	

(注) ・推薦理由は、必ず記入して下さい。  
 ・御推薦の講演者の中には同姓同名の方がいらっしゃいますので、お分かりでしたら会員番号を御記入頂きますようお願い申し上げます。(氏名、会員番号等は個人情報ですのでお取扱いには御注意下さい。)

——平成 25 年度笹川科学研究助成——

〈学術研究部門〉

研究対象領域

- A 〔一般科学研究〕 人文・社会科学及び自然科学（医学を除く）に関する研究
- B 〔海洋・船舶科学研究〕 「海洋学及び海洋関連科学」並びに「船舶及び船舶関連科学」の研究で、その成果が海洋・船舶関係に直結する研究（人文・社会科学を含む）
- C 〔実践研究〕 博物館や学校、NPO などに所属している者が、その活動において直面している社会的諸問題を解決するために行う研究

募集対象者

- A 〔一般科学研究〕 平成 25 年 4 月 1 日現在、大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する者であって、35 歳以下の者
- B 〔海洋・船舶科学研究〕 平成 25 年 4 月 1 日現在、大学院生あるいは所属機関等で研究活動に従事する（常勤・非常勤は問わず）者であって、35 歳以下の者
- C 〔実践研究〕 教員、学芸員、図書館司書、スクールカウンセラー、指導員等の専門的立場にある者、あるいは問題解決に取り組んでいる当事者などで、特に常勤・非常勤は問わない。

募集期間 A・B：平成 24 年 10 月 1 日（月）～15 日（月）必着

C：平成 24 年 11 月 1 日（木）～15 日（木）必着

問合せ先 日本科学協会 笹川科学研究助成係

TEL〔03〕6229-5365, FAX〔03〕6229-5369

josei@jss.or.jp http://www.jss.or.jp

——第 5 回（平成 24 年度）宇宙科学奨励賞——

趣 旨 宇宙理学（地上観測を除く）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者個人を顕彰する。

候補者 上記分野で優れた業績を上げた 37 歳以下（当該年度の 4 月 1 日現在）の若手研究者個人。

賞の内容 宇宙理学関係 1 名、宇宙工学関係 1 名。

本賞（表彰状と表彰楯）及び副賞（20 万円）。

推薦締切日 平成 24 年 10 月 31 日（水）必着

推薦方法 推薦に当たっては当財団の HP（<http://www.spss.or.jp>）より推薦用書式をダウンロードし、必要事項を記入の上、必要な添付書類とともに期日までに当財団事務局宛てに電子メールにて提出のこと。

問合せ先 宇宙科学振興会 事務局 TEL〔042〕751-1126

FAX〔042〕751-2165, admin@spss.or.jp

——各種証明、閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明、閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL〔03〕3433-6691 ※は、TEL〔03〕3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊（綴）ごととします。

（注）会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●首都大学東京

公募人員 大学院システムデザイン研究科情報通信システム学域  
教授または准教授1名

専門分野 情報セキュリティ、機械学習、自然言語処理

応募資格 博士の学位を持ち、専門分野で研究業績があり、大学院博士後期課程の教育と研究指導の担当が可能な方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年10月15日(月)必着

問合せ先 情報通信システム学域長 阿保 真

TEL [042] 585-8415, abo@tmu.ac.jp

詳細 [www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/tmu.html](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html)

●首都大学東京

公募人員 システムデザイン学部・研究科  
経営システムデザインコース・学域 助教1名

専門分野 情報ネットワーク工学または経営工学

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年11月9日(金)必着

問合せ先 総務部人事課人事制度係

TEL [042] 677-1111 (内線 1028)

kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp

詳細 [http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/tmu.html](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html)

●首都大学東京

公募人員 大学院システムデザイン研究科情報通信システム学域  
助教1名

専門分野 情報通信工学、計算機工学、データ工学、情報セキュリティ、機械学習、自然言語処理

応募資格 博士の学位を持つ方(取得見込み含む)

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年11月30日(金)必着

問合せ先 情報通信システム学域長 阿保 真

TEL [042] 585-8415, abo@tmu.ac.jp

詳細 [www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/tmu.html](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html)

●防衛大学校

公募人員 電気情報学群通信工学科 教授1名

専門分野 通信ネットワーク(伝送システム、光アクセスシステム、ネットワーク理論等)

応募資格 博士の学位を有し博士課程を担当する資格を持つ者

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年10月15日(月)必着

問合せ先 電気情報学群通信工学科 小野寺紀明

TEL [046] 841-3810(内線 3371), noriaki@nda.ac.jp

詳細 下記のホームページを御参照下さい

<http://www.mod.go.jp/nda/>

●防衛大学校

公募人員 電気情報学群電気電子工学科 助教1名

専門分野 レーザ応用工学

応募資格 博士の学位を有するまたは着任までに取得見込みの方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年10月19日(金)必着

問合せ先 電気情報学群電気電子工学科 大越昌幸

TEL [046] 841-3810(内線 3337), okoshi@nda.ac.jp

詳細 下記のホームページを御参照下さい

<http://www.mod.go.jp/nda/>

●大阪府立大学

公募人員 電気・情報系専攻情報通信システム講座 准教授1名

専門分野 次世代ネットワーク技術を支える光通信技術分野。例えば、光デバイス関連技術、広帯域通信システム技術など

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年10月26日(金)必着

問合せ先 電気情報システム工学分野主任教授 石亀篤司

ishigame@eis.osakafu-u.ac.jp

詳細 <http://www.osakafu-u.ac.jp/staff>

●愛媛大学

公募人員 理工学研究科電子情報工学専攻情報工学講座 教授1名

専門分野 知能情報工学(知識工学、人工知能、ニューラルネットワーク、パターン認識、画像処理など)

応募資格 上記専門分野での教育と研究に熱意と実績があり、博士あるいはPh.Dの学位を有する方

着任時期 平成25年4月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年10月31日(水)当日消印有効

問合せ先 電子情報工学専攻情報工学コース長 高橋 寛

TEL [089] 927-9957, takahashi@cs.ehime-u.ac.jp

詳細 <http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html>

●愛媛大学

公募人員 教授1名

専門分野 通信システム工学

応募資格 博士の学位を有し、大学院の教育・研究担当可能な方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年10月31日(水)必着

問合せ先 大学院理工学研究科電子情報工学専攻

電気電子工学コース長 津田光一

TEL [089] 927-9778, FAX [089] 927-9791

chair@ee.ehime-u.ac.jp

詳細 <http://www.eng.ehime-u.ac.jp/>の「教員公募」

●神奈川大学

公募人員 情報科学科 特別助手(任期あり)1名

担当科目 プログラミングに関する基礎科目など

応募資格 博士の学位を有する方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年10月31日(水)当日消印有効

提出先 〒259-1293 平塚市土屋 2946

神奈川大学理学部長 齊藤光實  
 照会先 情報科学科 後藤智範, gotout01@kanagawa-u.ac.jp  
 詳細 [http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/h12\\_2.pdf](http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/h12_2.pdf)

### ●九州大学

公募人員 助教(年俸制)1名  
 所属 情報エレクトロニクス部門集積電子システム講座  
 専門分野 シリコン系半導体のデバイス・プロセス・回路  
 応募資格 博士の学位を有する方(取得見込みを含む)  
 着任時期 決定後できるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年10月31日(水)必着  
 問合せ先 情報エレクトロニクス部門 浅野種正  
 TEL [092] 802-3741, asano@ed.kyushu-u.ac.jp  
 詳細 <http://portal.isee.kyushu-u.ac.jp/education/recruit.html>

### ●熊本大学

公募人員 教授1名  
 所属 大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻  
 専門分野 システムソフトウェア分野  
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野において優れた研究業績がある方、教育・研究に熱意がある方  
 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年10月31日(水)必着  
 問合せ先 情報電気電子工学専攻 末吉敏則  
 TEL [096] 342-3629, sueyoshi@cs.kumamoto-u.ac.jp  
 詳細 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>

### ●電気通信大学

公募人員 教授または准教授1名(常勤 任期なし)  
 専門分野 組込み系システム, ハードウェア及びシステムソフトウェア  
 応募資格 博士の学位を有し大学院生の指導が可能な方、専門分野で実績があり、同分野の発展に貢献できる方  
 着任時期 平成25年4月1日以降のできるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年10月31日(水)17時必着  
 問合せ先 情報理工学研究科情報・通信工学専攻 小花貞夫  
 TEL [042] 443-5335, obana@cs.uec.ac.jp  
 詳細 本学HP(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)参照

### ●電気通信大学

公募人員 助教1名(任期付テニュアトラック助教)  
 専門分野 最適化計算(例えば数値的最適化とその応用, オペレーションズリサーチ, 最適化ソフトウェア, 大域的最適化など)  
 応募締切 平成24年11月12日(月)必着  
 問合せ先 情報・通信工学専攻教授 村松正和  
 詳細 応募資格, 応募方法などは下記のURLから得られる「最適化計算分野」のファイル(pdf)を参照して下さい。  
<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

### ●電気通信大学

公募人員 大学院情報システム学研究科情報システム基盤学専攻情報システム基礎学講座 教授1名(任期なし)  
 専門分野 応用を指向したコンピュータ科学  
 アルゴリズムや数理工学に基づいた応用分野

着任時期 平成25年4月1日以後なるべく早い時期  
 応募締切 平成24年11月22日(木)必着  
 問合せ先 大森 匡, omori@is.uec.ac.jp  
 詳細 募集分野詳細等は <http://www.is.uec.ac.jp/>の教員公募欄に掲載中の公募文書を参照

### ●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員 情報科学研究科 助教1名(任期付・再任制度あり)  
 専門分野及び関連する主な職務 情報セキュリティ及び暗号理論(セキュアなソフトウェア/センサネットワーク, モデリング, プライバシー等の情報セキュリティの研究分野. 安全性解析, 代数・数論アルゴリズム, 暗号プロトコル・方式, 認証等の暗号理論の研究分野) 学生の指導, 理論情報科学領域の講義の一部を担当  
 応募締切 平成24年10月31日(水)当日消印有効  
 問合せ先 情報科学研究科担当, t-asano@jaist.ac.jp  
 詳細 <http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.htm>

### ●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員 准教授(テニュアトラック)1名  
 所属 ナノマテリアルテクノロジーセンター  
 専門分野 量子デバイス科学のうち特にナノ加工・低温強磁場を用いる教育・研究分野  
 着任時期 平成25年1月1日以降のなるべく早い時期  
 応募締切 平成24年10月31日(水)必着  
 問合せ・送付先 〒923-1292 能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学ナノマテリアルテクノロジーセンター長 山田省二, shooji@jaist.ac.jp  
 詳細 <http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.htm>

### ●日本大学

公募人員 工学部情報工学科(A)教授1名, (B)教授1名  
 専門分野 (A) 計算機アーキテクチャ, (B) 計算機システム・ソフトウェア  
 応募資格 博士の学位を有し, 当該分野の研究・教育を担当できること  
 着任時期 平成25年4月1日  
 応募締切 平成24年11月5日(月)必着  
 問合せ先 工学部情報工学科主任 西園敏弘  
 TEL [024] 956-8822, nishizono@cs.ce.nihon-u.ac.jp  
 詳細 <http://www.ce.nihon-u.ac.jp/joho/index.html>

### ●名古屋大学

公募人員 工学研究科電子情報システム専攻 准教授1名  
 専門分野 三次元・自由視点映像処理を中心とした画像情報処理及び符号化  
 担当講義 電気電子工学及び専門に関する科目  
 応募資格 博士の学位を有すること  
 着任時期 平成25年4月1日以降のできるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年11月12日(月)必着  
 問合せ先 工学研究科電子情報システム専攻 藤井俊彰  
 TEL [052] 789-3628, fujii@nuee.nagoya-u.ac.jp  
 詳細 <http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/>

●埼玉工業大学

公募人員 工学部情報システム学科 専任講師 1名  
 専門分野 スマートグリッド, 電気機器, 電動機応用, 電気自動車, 電力工学, パワーエレクトロニクスなど  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日  
 応募締切 平成 24 年 11 月 20 日 (火) 必着  
 問合先 情報システム学科教授 吉澤浩和  
 yoshiz\_h@sit.ac.jp  
 詳細 http://www.sit.ac.jp/general/recruit/120808.html

●石川工業高等専門学校

公募人員 電子情報工学科 助教 1名  
 専門分野 電子情報工学分野  
 応募締切 平成 24 年 11 月 30 日 (金) 必着  
 問合先 電子情報工学科主任 竹下哲義  
 TEL [076] 288-8150, FAX [076] 288-8146  
 詳細 http://www.ishikawa-nct.ac.jp/guide/inct/offering.html

●久留米工業高等専門学校

公募人員 准教授または助教 1名  
 所属学科 電気電子工学科  
 専門分野 通信工学 (通信工学, コンピュータネットワーク)  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日  
 応募締切 平成 24 年 11 月 30 日 (金) 必着  
 問合先 電気電子工学科長 池田 隆  
 TEL [0942] 35-9385, FAX [0942] 35-9307  
 ikeda@kurume-nct.ac.jp  
 公募詳細 http://www.kurume-nct.ac.jp「教職員公募」を参照

●静岡理工科大学

募集人員 講師または准教授 1名  
 所属 総合情報学部コンピュータシステム学科  
 専門分野 システムセキュリティに関連する分野  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 11 月 30 日 (金) 必着  
 問合先 コンピュータシステム学科長, 教授 鈴木千里  
 TEL [0538] 45-0205 (直通)  
 suzuki@cs.sist.ac.jp  
 詳細 http://www.sist.ac.jp/を参照下さい

●室蘭工業大学

公募人員 助教 1名  
 専門分野 薄膜電子材料または電子デバイスプロセス分野に関する実験を主体とする研究  
 応募締切 平成 24 年 11 月 30 日 (金) 当日必着  
 問合先 大学院工学研究科もの創造系領域 (情報電子工学系学科) 教授 鏡 慎  
 TEL [0143] 46-5524, kagami@mmm.muroran-it.ac.jp  
 詳細 http://www.muroran-it.ac.jp/syomu/koubo/kyouin/koubo24.8.9shikumi.pdf

●室蘭工業大学

公募人員 准教授 1名  
 専門分野 計測・制御工学分野にまたがる実験を主体とした研究  
 応募締切 平成 24 年 11 月 30 日 (金) 当日必着  
 問合先 大学院工学研究科もの創造系領域 (情報電子工学系学科) 教授 鏡 慎  
 TEL [0143] 46-5524, kagami@mmm.muroran-it.ac.jp  
 詳細 http://www.muroran-it.ac.jp/syomu/koubo/kyouin/koubo24.8.9mono.pdf

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukou/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 12月号掲載分 平成 24 年 10 月 25 日 (木) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——シニア会員申請登録は

10月1日から開始しています！——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ、本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は将来、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成24年10月1日から平成25年1月31日まで
- ・推薦基準：本会が関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として在籍累計5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。
- ・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要
- ・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員とするが、平成25年のシニア会員称号の贈呈までは、本会会員として在籍累計10年以上の正員を推薦者として認める。

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。

会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧め下さいますようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

——「平成25年度代議員選挙」の

立候補申請について——

「代議員の選出に関する規程」に基づき、平成25年度代議員選挙の立候補を受け付けます。

(立候補者)

- ・代議員の立候補候補者は本年9月1日現在、正員として5年以上在籍する会員で、正員等の推薦者5名を付して代議員となることを申し出た者とする。

(立候補の締切り)

- ・平成24年10月31日 本会事務局必着とします。

(立候補届)

- ・以下の立候補届に所定の内容を記入し、下記まで郵送下さい。

☆立候補届用紙は下記のURLにあります。

<http://www.ieice.org/jpn/25daigiinrikkouho.pdf>

(郵送先)

〒105-0011 港区芝公園3-5-8

機械振興会館101号室

電子情報通信学会 事務局

——御登録情報の変更・確認はマイページを

御利用下さい——

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記のURLからパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用できる内容

- (1) 登録情報の確認/変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでのWeb決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満60歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
  - (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX/郵送して頂く形式をとっております。

——平成24年10月号及び11月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

10月号 [英文] Signal Processing for Practical Applications and Implementations

11月号 [英文] \*Signal Design and its Applications in Communications

\*Smart Multimedia & Communication Systems

(通信ソサイエティ)

10月号 [和文] 多様な社会要請に適応可能なインターネットアーキテクチャ

10月号 [英文] Medical Information Communication Technology for Disaster Recovery and Human Health Care Support

11月号 [和文] ユビキタス・センサネットワークを支えるシステム開発論文

11月号 [英文] Satellite Communication Technologies in Conjunction with Main Topics of JC-SAT2011

(エレクトロニクスソサイエティ)

10月号 [英文] Recent Progress in Microwave and Millimeter-Wave Technologies

11月号 [和文] 高密度実装を牽引する材料技術とヘテロインテグレーション

11月号 [英文] Electronic Displays

## ●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

### ——情報理論とその応用小特集

#### (英文論文誌 A) 論文募集——

##### 情報理論とその応用小特集編集委員会

基礎・境界ソサイエティでは、英文論文誌、IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciencesにおいて、情報理論とその応用小特集“Special Section on Information Theory and Its Applications”を平成25年12月号に掲載する予定で企画しております。

本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集致します。特に、2012年10月28日(日)~10月31日(水)にハワイ・ホノルルで開催される「2012 International Symposium on Information Theory and its Applications (ISITA2012)」及び、2012年12月11日(火)~14日(金)に大分県別府市で開催される「第35回情報理論とその応用シンポジウム」(SITA2012)における発表論文の積極的な御寄稿を期待しております。

なお、同名同目的の小特集は、1991年より毎年1回掲載されており、近年では、2010、2011年の各11月号、2012年12月号(予定)に掲載されております。

#### 1. 対象分野

情報理論に関する分野、特に新しく発展しつつある研究分野並びに応用分野

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは2ページ程度とします。査読後の再提出(条件付採録)の場合は、論文修正の期間が通常の60日以内よりも短縮される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

#### 3. 論文投稿締切日 平成25年2月8日(金)(必着)

#### 4. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい

手順1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(Word/TeX)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で[Special-EA] Information Theory and Its Applicationsを選択して下さい。[Regular-EA]を決して選択しないで下さい。

手順2: 印刷した投稿者チェックリスト及びコピーライトトランスファフォームにサインをしたものを論文投稿締切日である、平成25年2月8日(金)までに下記送付先へ郵送・FAX・メール添付のいずれかで送付して下さい。締切日までにこれらの書類が届かない場合、投稿が取り下げになることがあります。

#### 5. 小特集編集委員会

委員長 和田山 正(名工大)

幹事 野村 亮(専修大)

委員 岩田賢一(福井大)、岩本 貢(電通大)、白田 毅(愛知県立大)、内川浩典(東芝)、岡本英二(名工大)、落合秀樹(横浜国大)、笠井健太(東工大)、楯勇一(奈良先端大)、桑門秀典(神戸大)、小嶋徹也(東京高専)、斎藤秀俊(工学院大)、渋谷智治(上智

大)、西新幹彦(信州大)、野上保之(岡山大)、松井一(豊田工大)、三村和史(広島市大)、三宅茂樹(NTT)、村松 純(NTT)、八木秀樹(電通大)、渡辺 峻(徳島大)

#### 6. 投稿書類送付先及び問合せ先

野村 亮 専修大学ネットワーク情報学部

〒214-8580 川崎市多摩区東三田2-1-1

E-mail: [nomu@senshu-u.jp](mailto:nomu@senshu-u.jp)

TEL [044] 911-1261, FAX [044] 900-7813

#### 7. 付記

\*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員である必要があります。入会の案内は<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>を御覧下さい。

\*採録された場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。著者には50部の別刷りが配布されます。

\*採択件数が多い場合、平成26年1月号に掲載となる場合があります。

### ——VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集

#### (英文論文誌 A) 論文募集——

##### VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集編集委員会

最近のVLSI技術の目覚ましい発展によって、西暦2025年にはDRAMハーフピッチが8nmに迫り、数十兆個のトランジスタが1チップに搭載されるといわれています。これに伴い、VLSIチップの設計はますます複雑化、大規模化し、VLSI設計における諸問題に総合的に取り組むことが不可欠となっています。また、今後のシステムLSIを設計する上で、デジタル・アナログ混載技術など様々な技術の融合が不可欠です。VLSI応用としての並列・分散アルゴリズムをはじめ、VLSI設計のための方法論、機能設計からレイアウト設計に至る各種CAD手法、更に、それらを支える基本アルゴリズム及びデータ構造を対象分野とする質の高い論文を小特集として出版し、今後のVLSI関連分野の研究の更なる発展を図るべく、本小特集を企画致しました。本小特集(平成25年12月号)では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。特に、ASP-DAC 2013での発表論文の積極的な御投稿を期待しております。

#### 1. 対象分野

VLSI設計方法論、VLSIアーキテクチャ、コデザイン、機能合成、論理合成、低消費電力設計、シミュレーション(機能、論理、回路、プロセス、デバイスなど)、形式検証、レイアウト検証、テストパターン生成、テスト容易化設計、フロアプラン、配置、概略配線、詳細配線、アナログ回路設計、セル/モジュール設計、システムレベル設計、その他VLSI設計とCADアルゴリズムに関連する分野

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは刷り上がり2ページ程度とします。詳細はInformation for Authors([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html))を御参照下さい。著者のうち少なくとも1名は本会会員である必要があります。本小特集の投稿にあたっては、次の点にも御注意下さい。

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は[https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx)で行えます。なお、登録の際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”について

ては“[Special-EA] VLSI Design and CAD Algorithms”を選択して下さい。間違って“[Regular-EA]”を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement (要サイン)”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を論文投稿締切日までに下記送付先(編集幹事)まで郵便, FAX, 電子メール等でお送り下さい。必ず電子投稿時に振られた Temporary ID を明記願います。

- ・初期投稿時に, 編集可能な論文本体 (Word/TeX), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。
- ・条件付採録の場合, 再提出期間が6週間程度と短いことをあらかじめ御了承下さい。
- ・採録論文数が多くなった場合には, 一部次号に掲載される可能性があります。

### 3. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 14 日 (木) 必着 (電子投稿, copyright transfer, confirmation sheet 全て)

#### 4. 書類送付先及び問合せ先

瀬戸謙修 東京都市大学工学部電気電子工学科  
〒158-8557 世田谷区玉堤 1-28-1  
TEL [03] 5707-0104 (2801), FAX [03] 5707-1229  
E-mail : kseto@tcu.ac.jp

#### 5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ 宇佐美公良 (芝浦工大)  
幹事 樋上喜信 (愛媛大), 瀬戸謙修 (東京都市大)  
委員 尼崎太樹 (熊本大), 池田 誠 (東大), 石原 亨 (京大), 伊藤和人 (埼玉大), 岡田健一 (東工大), 梶原誠司 (九工大), 金子峰雄 (北陸先端大), 川口 博 (神戸大), 木村晋二 (早大), 黒川 敦 (弘前大), 小林和淑 (京都工繊大), 柴田裕一郎 (長崎大), 瀧谷利行 (富士通研), 宋 天 (徳島大), 高木一義 (京大), 高島康裕 (北九州市大), 高橋篤司 (東工大), 竹中崇 (NEC), 戸川 望 (早大), 富山宏之 (立命館大), 中武繁寿 (北九州市大), 中村祐一 (NEC), 橋本昌宜 (阪大), 浜口清治 (島根大), 樋口博之 (富士通研), 廣瀬哲也 (神戸大), 松本剛史 (東大), 三浦幸也 (首都大東京), 湊 真一 (北大), 南 文裕 (STARC), 山下 茂 (立命館大), 山田晃久 (シャープ), 弓仲康史 (群馬大), 吉川雅弥 (名城大), 渡邊貴之 (静岡県立大)

## ——ISAP2012 関連最先端アンテナ・伝搬技術 小特集 (英文論文誌 B) 論文募集——

### ISAP2012 関連最先端アンテナ・伝搬技術小特集 編集委員会

近年, MIMO, LTE, Body Area Network, メタマテリアル, 無線電力伝送などに関して, アンテナ・伝搬分野の新しいテーマの研究が多岐にわたって進展しています。これらを背景にし, 2012 年 10 月に名古屋市にて開催される本会通信ソサイエティ主催のアンテナ伝播国際シンポジウム (International Symposium on Antennas and Propagation) ISAP2012 で発表された優秀論文の投稿を期待するとともに, アンテナ・伝搬関連分野の最先端技術に関する一般投稿の募集も同時に広く行い, この分野の更なる発展・活性化を図るため, 英文論文誌 B 分冊において本小特集 (2013 年 10 月号掲載) を企画致します。

#### 1. 対象分野

この小特集では, MIMO, LTE, PAN/BAN や無線電力伝送などの近年の進展の目覚ましいアンテナ・伝搬技術, 及び, その関連分野を対象とします。近年注目されているメタマテリアル等を含めた電磁界理論関連テーマや, それらのアンテナ応用も対象とします。

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は, 原則として, 刷り上がり 8 ページを標準とします。標準ページ数を超えると, 掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。また, レターは受け付けません。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

#### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に, 編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で “[Special-EB] Recent Progress in Antennas and Propagation in Conjunction with Main Topics of ISAP2012” を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2 : 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を, 論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合, 投稿が取下げになることがあります。

#### 4. 論文投稿締切日 2013 年 1 月 21 日 (月) 必着

#### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

広川二郎  
東京工業大学大学院電気電子工学専攻  
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-S3-20  
TEL [03] 5734-2567, FAX [03] 5734-2901  
E-mail : ap\_ac-isap2012ss@mail.ieice.org

#### 6. 小特集編集委員会

委員 長 新井宏之 (横浜国大)  
幹事 広川二郎 (東工大), 高橋 徹 (三菱電機)  
編集委員 岩井誠人 (同志社大), 高橋応明 (千葉大), 今井哲朗 (NTT ドコモ), 稲沢良夫 (三菱電機), 石井望 (新潟大), 大館紀章 (東芝), 西森健太郎 (新潟大), 辻 宏之 (NICT), 榊原久二男 (名工大), 本間尚樹 (岩手大)

#### 7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- \* 投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>



## ——機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012)

### 小特集 (英文論文誌 C) 論文募集——

#### 機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012)

小特集編集委員会

エレクトロニクスソサイエティでは、英文論文誌 C 分冊において「機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012)」小特集「Special Section on Recent Development of Electro-Mechanical Devices—Papers selected from International Session on Electro-Mechanical Devices 2012 (IS-EMD2012) and other recent research results—」を平成 25 年 9 月号に発行する予定です。

最近の電子機器はデジタル化、小形化、高速化などの点で目覚ましい発展を遂げていますが、それらは、その基盤技術としての電気・光信号の接触・接続技術の着実な進歩によって裏付けられています。更に、最近では、MEMS などのマイクロエレクトロニクスからナノスケールエレクトロニクスへの技術の進展に伴う超小形機構デバイスでの接触現象が重要な研究課題になる一方で、自動車のエレクトロニクス化の進展や直流給電技術の実用化への対応が求められるなど、新しい局面での基礎研究や技術開発も活発となっています。また、環境問題では、鉛フリーのはんだ材料や、カドミウムフリーの接点材料の開発が期待されており、リサイクル (Recycle)、リユース (Reuse)、リデュース (Reduce) の 3R による環境調和技術が要求されています。

このような基盤技術としての機構デバイス分野の大きな変化並びに発展を受けて、電子情報通信学会機構デバイス研究会が中心となり、この分野の情報を世界に発信していく目的で、2001 年に国際セッション (International Session on EMD) を発足させました。今回は平成 24 年 11 月 30 日から開催される第 12 回国際セッション (IS-EMD2012) に合わせて、この小特集を企画しました。

この小特集では主として IS-EMD2012 で発表された論文の投稿を歓迎しますが、そればかりでなく、機構デバイスに関係したあらゆる分野の論文の投稿を広く募集します。

#### 1. 対象分野

機構デバイス、信号の接続に関連する分野：

基礎研究：接触に関する表面科学と技術、アーク放電現象、トライボロジー、実装技術、光接続技術、信頼性、評価計測、マイクロマシーニングと MEMS/NEMS 技術

デバイス：リレー、電気及び光スイッチ、電気及び光コネクタ、開閉接触部品、ヒューマンインタフェースデバイス、アレスタ、フューズ、小形モータ等の電気-機械トランスデューサ及びアクチュエータ

材 料：コンタクト材料、ばね材料、めっき、モールド材料、はんだなど

応 用：環境調和問題、高周波伝送・EMC 問題、Pb・Cd フリー、リサイクル、リユース、リデュース技術など

#### 2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。ただし、論文は刷り上がり 8 ページ以内、ブリーフペーパーは 4 ページ以内とします。詳細は、The Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出 (条件付採録) の場合は通常の 60 日以内よりも短縮される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

#### 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1：[https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) から登録を行って下さい。なお、登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で “[Special-EC] Recent Development of Electro-Mechanical Devices (IS-EMD2012)” を選択して下さい。“[Regular-EC]” を選択しないで下さい。

手順 2：著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送、FAX、または電子メール添付で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

#### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 1 月 4 日 (金) 必着

#### 5. 送付先及び問合せ先

幹事 久我宣裕

横浜国立大学大学院工学研究院電気電子ネットワークコース

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL [045] 339-4279, FAX [045] 339-1157

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

#### 6. 小特集編集委員会

委員長 井上 浩 (秋田大)

幹事 久我宣裕 (横浜国大)

委員 阿部宜輝 (NTT), 上野貴博 (日本工大), 梅村 茂 (千葉工大), 小林達郎 (沖センサデバイス), 澤孝一郎 (日本工大), 関川純哉 (静岡大), 高見幸二 (オムロン), 玉井輝雄 (エルコンテックコンサルティング), 長瀬 亮 (千葉工大), 長谷川 誠 (千歳科技大), 服部康弘 (住友電装), 林 優一 (東北大), 吉田 清 (日本工大)

#### 7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

#### 8. 付記

\* 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

\* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

## ——画像符号化・映像メディア処理レター特集

### (和文論文誌 D) 論文募集——

#### 画像符号化・映像メディア処理レター特集編集委員会

新しい映像符号化方式 HEVC (High Efficiency Video Coding) がいよいよ規格化間近であり、新しい画像符号化技術の研究が活発に行われています。自由視点映像、ライフログ、インターネットの動画共有サイト、物体識別・追跡など映像メディア処理の研究もますます発展し、携帯電話での動画撮影や動画処理、HDTV を超える超高精細映像、超解像技術、3D テレビなど次々と実用化されています。

和文論文誌 D では、画像符号化・映像メディア処理に関するレター特集を平成 19 年度 7 月号で初めて発行し、その後 6 年間にわたり特集を発行しています。次年度も同様のレター特集 (平

成 25 年 9 月号) を企画致しました。PCSJ2012/IMPS2012 で発表された研究のみならず、画像符号化及び映像メディア処理に関連する研究について着想段階の研究アイデアも含めて多くの方々からの積極的な御投稿をお願い致します。

#### 1. 対象分野

##### ・画像符号化分野

符号化基礎／画質評価、静止画像符号化、動画像符号化、標準方式関連技術、動き補償、可変長／エントロピー符号化、領域分割／特徴抽出、オブジェクトベース／モデルベース符号化、ステレオ／多眼／三次元／自由始点映像符号化、インターネットビデオ、ワイヤレスビデオ、符号化ハードウェア／ソフトウェア、新しい符号化、符号量制御、その他

##### ・映像メディア処理分野

映像処理基礎、自由視点映像、三次元画像技術、高精細画像技術、人工現実感、複合現実感、映像データベース、ネットワーク映像技術、映像生成／CG／制作、画像の処理／認識、擬人化エージェント、HCI のための画像／処理／認識、映像処理 VLSI、インテリジェントセンサ、画像再構成／復元、動画像処理、色彩処理、ITS、電子透かし、ライフログ、生活支援、その他

#### 2. 論文の執筆と取扱い

本特集では、レターのみを受け付けます。フルペーパー（論文）の募集は致しません。原則として刷り上がり 2 ページでの投稿をお願いします。また、5 ページ以上の投稿は受け付けられないので御注意下さい。その他の投稿の規程につきましては、「和文論文誌投稿のしおり」[http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html) を御参照下さい。

特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また、採録レター数が特集号の予定を超えた場合は通常のレターとして掲載される場合がありますので御了承下さい。

#### 3. 投稿締切日 平成 24 年 12 月 14 日（金） 必着

#### 4. 投稿方法

##### ・電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) から仮登録をして下さい。電子投稿は PDF のみ受け付けます。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・コピーライトトランスファフォームは投稿締切日までに学会事務局に到着するようにして下さい。

##### 【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

FAX [03] 3433-6616

E-mail: wabun-d1@ieice.org

#### 5. 問合せ先

井口和久 NHK 放送技術研究所

TEL [03] 5494-3352, FAX [03] 5494-3197

E-mail: ie-letter@mail.ieice.org

#### 6. 特集編集委員会

委員長 八島由幸（千葉工大）

幹事 井口和久（NHK）、久保田 彰（中大）

委員 加藤嘉明（三菱電機）、川田亮一（KDDI）、坂東幸浩（NTT-AT）、市ヶ谷敦郎（NHK）、高橋桂太（電通大）、筒口 拳（NTT）、内藤 整（KDDI 研）、浜本隆之（東京理科大）、藤井俊彰（名大）

## ——ソフトウェア基礎・応用特集

### （和文論文誌 D）論文募集——

ソフトウェア基礎・応用特集編集委員会

ソフトウェアに関連する分野は、基礎理論から応用まで活発な研究活動が行われています。本会ソフトウェアサイエンス研究専門委員会では、ソフトウェアに関する話題を幅広く対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っています。これを踏まえ、情報・システムサイエティ和文論文誌にて「ソフトウェア基礎・応用特集」（平成 25 年 11 月号）を企画致しました。ソフトウェアサイエンス研究会で発表された研究内容を更に発展させた論文、あるいはこれに限らず、ソフトウェアに関連した論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さいませよう案内申し上げます。

#### 1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これに限らず広くソフトウェアに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願いします。

##### ・ソフトウェア基礎理論

・数理論理学

・仕様記述と検証

・計算モデル

・並列並行システム

・並列分散処理

・実時間処理

・自動合成・変換

##### ・プログラミング言語

・意味論

・処理系

##### ・ソフトウェア工学

・要求分析・獲得

・設計方法論

・テスト法

・メトリクス

・プログラムコード解析

・プロセスプログラミング

・CASE

・セキュリティ

・分散 OS

・実時間 OS

##### ・理論の実践

##### ・ソフトウェア教育

#### 2. 論文の執筆と取扱い

・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html) を御参照下さい。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

#### 3. 投稿方法

##### (A) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

## (B) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

### 【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

## 4. 投稿締切日 平成 25 年 2 月 7 日 (木) 厳守

### 5. 特集編集委員会

委員長 中島 震 (NII)  
幹事 岡野浩三 (阪大), 高田喜朗 (高知工科大)  
委員 阿萬裕久 (愛媛大), 桑原寛明 (立命館大), 小林隆志 (名大), 関 浩之 (奈良先端大), 中田明夫 (広島市大), 中西恒夫 (九大), 中村匡秀 (神戸大), 肥後芳樹 (阪大), 結縁祥治 (名大), 鷲崎弘宜 (早大)

## 6. 問合せ先

岡野浩三 大阪大学大学院情報科学研究科  
E-mail: okano@ist.osaka-u.ac.jp

## ——ソフトウェアエージェントとその応用特集 (和文論文誌 D) 論文募集——

### ソフトウェアエージェントとその応用特集編集委員会

情報処理の代行やその支援、自律的・協調的な問題解決、インターネット情報検索や統合など広範な分野においてソフトウェアエージェントに関する研究開発が活発に行われています。本会人工知能と知識処理研究専門委員会では、情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、人工知能学会のエージェント関連研究会と共催で「合同エージェントワークショップ&シンポジウム (JAWS)」を開催し、エージェントに関する先進的な研究成果を発表する場を提供しています。これまでその前身となるシンポジウムも加え、9回にわたり連動した論文特集を企画編集してきました。これを踏まえ、平成 23 年に引き続き、情報・システムサイエティ和文論文誌にて「ソフトウェアエージェントとその応用特集」(平成 25 年 12 月号)を企画致しました。合同エージェントワークショップ&シンポジウムで発表された研究内容を更に発展させた論文、あるいはそれに限らずエージェント技術に関連した論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。

### 1. 対象分野

以下のテーマに関する論文投稿を期待していますが、これに限らずソフトウェアエージェント技術に関する幅広い分野の論文を募集します。

ソフトウェアエージェントの応用に関わる概念・技術・事例

- ・情報の収集・統合・流通
- ・モバイル通信支援
- ・コミュニティウェア/ソーシャルウェア
- ・インターネット応用システム
- ・協調作業支援
- ・ネットワーク管理・運用
- ・Web ベースドトレーニング
- ・社会システム/コミュニケーションへの応用
- ・電子商取引
- ・ソフトウェア工学への応用

論文特集原稿募集

など

ソフトウェアエージェントとその応用を支える概念・理論・技術

- ・基礎理論
- ・エージェント間通信プロトコル
- ・エージェントアーキテクチャ
- ・エージェント記述言語
- ・エージェント協調技術
- ・エージェント処理系/フレームワーク

など

## 2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。「投稿のしおり」は下記の URL で閲覧できます。

和文 [http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html)

・下記 URL から登録を行って下さい。本特集では電子投稿のみ受け付けます。仮登録の際に作成される投稿者チェックリスト並びにコピーライトトランスファフォームは、論文投稿締切日である平成 25 年 2 月 10 日 (日) までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

和文 [https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx)

・仮登録完了時点で「Completion of Temporary Registration+仮登録番号」が申込者にメールにて送付されます。本メール内に記載してある URL にアクセスすることにより、論文原稿のアップロードが行えます。投稿締切日までに必ず原稿をアップロードして下さい。締切日までにアップロードされなかったものについては、取下げとみなす場合があります。ただし、学会事務局で投稿者チェックリスト並びにコピーライトトランスファフォーム受領後、本登録作業を完了した場合はアップロードができなくなります。その際には学会事務局 (wabun-d1@ieice.org) まで御連絡下さい。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載する場合があることを御了承下さい。

送付先：一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-d1@ieice.org

## 3. 論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 10 日 (日) 厳守

### 4. 問合せ先

栗原 聡 大阪大学産業科学研究所  
TEL [06] 6879-8427, FAX [06] 6879-8428  
E-mail: kurihara@sanken.osaka-u.ac.jp

### 5. 特集編集委員会

委員長 栗原 聡 (阪大)  
副委員長 松原繁夫 (京大)  
幹事 鳥海不二夫 (東大), 平嶋 宗 (広島大)  
委員 菅原俊治 (早大), 村田剛志 (東工大), 松尾徳朗 (山形大), 平山勝敏 (神戸大), 福田直樹 (静岡大), 森山甲一 (阪大)

# IEICE Electronics Express 投稿ご案内

IEICE Electronics Express 編集委員会

**完全ペーパーレスの査読つき英文論文誌で  
あなたの素晴らしい研究成果を  
すばやく公開しませんか？**

IEICE Electronics Express (ELEX) は、2004年4月に創刊した web を用いたペーパーレス英文論文誌です。論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2012年4月からは随時発行を開始致しました。エレクトロニクス分野の最新の研究成果の優先権確保や、海外も含めての情報発信のために是非 ELEX への投稿をご検討下さい。

## ELEX の特徴

1. 投稿，出版，閲覧ともに，すべてオンライン上で処理。
2. 投稿から論文掲載まで平均 65 日（2011 年度実績），最短 10 日。
3. カラー画像，マルチメディアファイル（動画）に対応。
4. IEEE Xplore, Scitation, ScienceDirect といった海外の様々な電子ジャーナルサイト上に掲載されている論文と相互にリンク。
5. Science Citation Index Expanded (SCIE) にも収録。Impact Factor も取得しています。

詳細は ELEX ホームページ <http://www.elex.ieice.org> をご覧下さい。  
連絡先： [elex@ieice.org](mailto:elex@ieice.org)（編集出版部 ELEX 担当）